SONY

パーソナルコンピューター

# VGN-UX_2 シリーズ
# 取扱説明書

# 付属マニュアル一覧

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

## バイオの画面で見るマニュアル

### ■ バイオ電子マニュアル

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックする。

➡ バイオ使用上、必要な情報を記載しています。

### ■ 重要なお知らせ

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［重要なお知らせ］をクリックする。

➡ バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。

### ■ ヘルプ

各ソフトウェアのヘルプメニューから、それぞれのヘルプを起動する。

➡ 付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

パーソナルコンピューター

# VGN-UX_2 シリーズ

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# はじめにお読みください

本機の主な仕様については、「主な仕様」（285ページ）をご確認ください。

## VGN-UX92S・UX92NSをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

## この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

## 画面のデザインについて

Windows Vistaの画面デザインには、「Windows Aero」や「Windows Vista ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

## ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。この説明書で説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」は、Windows Vista Home PremiumおよびWindows Vista Ultimate搭載モデルにのみ、インストールされています。

## この説明書で表記されている名称について

- 搭載モデル
  この説明書では、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。たとえば「アナログテレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、アナログテレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- 付属モデル
  この説明書では、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。たとえば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- プリインストールモデル
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。

# 目次



## 準備する



## 基本操作



## 活用する



## セキュリティ

# 注意事項





次ページに続く

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」の使いかたについては次ページをご覧ください。

# 電子マニュアルの使いかた

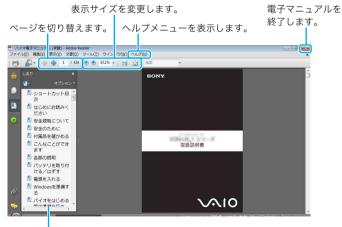
この説明書に記載されている以外のさらに詳しい情報は「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」を見るには、本機の電源が入っている状態で次のように操作します。

## 1 (スタート)－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「Adobe Reader」ソフトウェアが起動し、「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

**ヒント**
「Adobe Reader」ソフトウェアをはじめて起動したときは、使用許諾契約書が表示されるので、画面の指示に従って操作してください。

## 2 見たいページを表示する。

しおりをクリックしたり、ページ切り替えボタンをクリックします。
詳しくは、「Adobe Reader」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

クリックしてページを表示します。

（画面は実際と異なる場合があります。）

## 付属品の確認や各部の説明

### 準備する
本機をご使用になる前の準備（OSのセットアップなど）について記載しています。

### 基本操作
本機を使用するときの基本操作を説明しています。タッチパネルやスティックポインターの設定についても記載しています。

### 活用する
本機をより活用するための各種機能（静止画や動画の撮影、FeliCa、CD/DVDの再生 など）を記載しています。

### セキュリティ
各種パスワードや指紋認証など、本機のセキュリティ機能について記載しています。
指紋認証を使用した便利な機能も紹介しています。

### 記録メディア
“メモリースティック デュオ”やコンパクトフラッシュについて記載しています。

### 各種設定
消費電力の節約やディスプレイ設定など、本機をより快適に使用するための設定について記載しています。

### 拡張／接続
ポートリプリケーターの取り付けかた、ヘッドホンやUSB機器などの接続について記載しています。

### インターネット
インターネット接続やコンピュータウイルスなどについて記載しています。

### ワイヤレス機能
ワイヤレスLANやBluetooth機能での通信、Bluetooth GPS ユニットを使った活用法などを記載しています。

### バックアップ／リカバリ
バックアップ方法やリカバリ方法を記載しています。

### 困ったときは
トラブルシューティングをまとめています。

### サービス・サポート
各種お問い合わせやVAIO カスタマーリンクについて記載しています。

### 注意事項
本機を使用するうえでの注意事項を記載しています。

# 安全規制について

## 電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-1N1N

## 電波法に基づく認証について（ワイヤレスLAN機能／Bluetooth機能搭載モデル）

本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

## 瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。
しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリ未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

## 無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### 本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

## ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN 機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

## ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html
をご覧下さい。

## FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）について（FeliCa機能搭載モデル）

- ポートリプリケーター内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- 本機内蔵のFeliCaポートを分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。
  周囲で複数のリーダー／ライターをご使用の場合、1 m以上間隔をあけてお使いください。
  また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

## 著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

## 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品はエネルギースター規格に基づいて設計されており、次の省電力設定で出荷されています。

- 約15分操作をしないと自動的に液晶ディスプレイの電源を切る。
- 約30分操作をしないと自動的にスリープモードに移行する。

元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押してください。

## 充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

**Li-ion**

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

## 使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

### 使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：(0570)000-369
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。)
携帯電話やPHSでのご利用は：
(03)3447-9100
受付時間：10：00～17：00(土・日・祝日および当社指定の休日を除く)

### 個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

### 事業者のお客様へ

事業で(あるいは、事業者が)ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。

この説明書は、本文に古紙70%以上の再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

## この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載される機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがございます。
  あらかじめご了承ください。

# ⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

## 故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

## 万一異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

⇩

❶ 電源を切る
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす
❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

## データはバックアップをとる

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても、記録内容の補修や修復は致しかねますのでご了承ください。

## 警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号

注意

火災

感電

### 行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

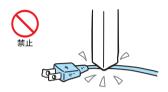
### 行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

**⚠警告** 火災 感電

**下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。**

## 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

## 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

## 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

## 内部をむやみに開けない

本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

## 指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

## 落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、ネットワーク（LAN）ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴りだしたら、本機には触らないでください。

## ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の背面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

## 運転者は走行中に操作しない

本機を車両走行中には使用しないでください。わき見運転により事故の原因となります。
また、歩きながらお使いになるときは、周囲の状況に気を配り、安全にお使いください。

## 本機は日本国内専用です

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機は国内専用です。
  海外などで使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

## LANコネクタに指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しない

付属のディスプレイ/LANアダプタやポートリプリケーター、または別売りのポートリプリケーターのLANコネクタに次のネットワーク(LAN)や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

**⚠警告**

**下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。**

## 満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

## 心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以内で使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

## 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

## 航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

## 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

## 本製品を5 GHzワイヤレス機能で使用する場合は、屋外では使用しない

5 GHz（IEEE 802.11a）ワイヤレス機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

**⚠警告**

**下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。**

## ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

## キーボードやポインティング・デバイスなどを使いすぎない

キーボードやポインティング・デバイスなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやポインティング・デバイスを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

## 大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

## ⚠注意

**下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。**

### ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

### 接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

### 指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

### 電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

### 排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

### 排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

### 通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

## 本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

## 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

## 本機の上に乗らない、重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

## お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

## 移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

## コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。
  ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

## 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

## 液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

## 本機に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

## ストラップを持って持ち運ばない、振り回さない

付属のストラップを持って持ち運んだり、振り回したりしないでください。本体に衝撃を与えたり、落としたりすると故障やけがの原因となります。
本機を手に持って使用する場合は、必ず付属のストラップを取り付けてください。取り付けたストラップは手にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
また、ストラップは首にかけないでください。

## 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、次の注意事項を必ずお守りください。

### ⚠危険

- 本書に記載する又はソニーが別途指定する充電方法以外でバッテリを充電しないでください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属またはソニーが指定する別売りの純正バッテリをご使用ください。
- 以下のバッテリを使用した場合、本機、バッテリまたはACアダプターの発熱や発火等の事故が発生しましてもソニーは責任を一切負いかねます。
  －本機に付属するまたはソニーが指定する別売りの純正バッテリ以外のバッテリを使用した。
  －分解、改造を行ったバッテリを使用した。

### ⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

## 使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

## 本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

# 付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。本機の仕様については「主な仕様」（285ページ）をご覧ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

**VGN-UX92S･UX92NSをご購入のお客様へ**

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

❑ パソコン本体

❑ ACアダプタ

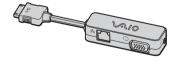
❑ 電源コード

❑ バッテリ

❑ ポートリプリケーター
（ポートリプリケーター付属モデルのみ）

❑ ホルダ
（ポートリプリケーター付属モデルのみ）

ポートリプリケーターをお使いになるときは、ホルダを取り付けてください。（36ページ）

❑ ディスプレイ/LANアダプタ

❑ スタイラス

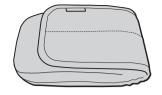
お買い上げ時は本体に取り付けてあります。

❑ 予備用スティックポインターキャップ(2)

❑ ストラップ

本機のストラップホルダーに取り付けます。
(29ページ)

❑ アダプタホルダー

❑ 保護ポーチ

❑ キャリングスタンド
(一部モデルにのみ付属)

本機背面に取り付けて使用します。(40ページ)

## 説明書・その他

❑ 取扱説明書

❑ 保証書

❑ VAIOカルテ

❑ その他パンフレット類
大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(263ページ)をご覧ください。
- 本機はハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
詳しくは「リカバリする」(153ページ)をご覧ください。

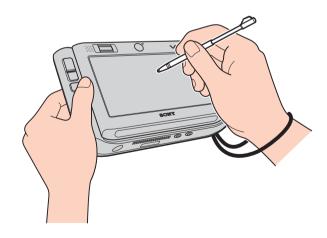
# こんなことができます

本機は目的に応じて横向きでも縦向きでも使用することができます。
本機を手に持って使用する場合、ストラップを本機右側面（29ページ）のストラップホルダーに取り付けてください。

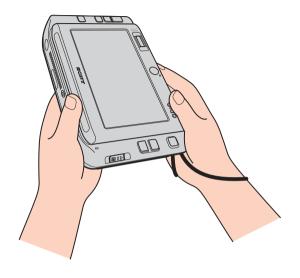
**!ご注意**

- 本機の吸気口や排気口を指などでふさがないようご注意ください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり、低温やけどや火災、故障の原因となります。
- 本機の故障の原因となるため、以下の項目にご注意ください。
  - 通常モードや回転モードで使用するときは、付属のストラップを手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
  - 本機に強い衝撃や振動を与えないようにしてください。
- 使用状況によっては、本機表面やバッテリが熱くなる場合があります。そのまま長時間使用すると、低温やけどの原因となるおそれがありますのでご注意ください。
- 通常モードや回転モードで長時間使いつづけると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。これらのスタイルで使用中に体の一部に不快感や痛みを感じた場合は、本機の使用をやめて休息してください。
- 付属のストラップを首からかけないでください。

### ❑ 通常モード

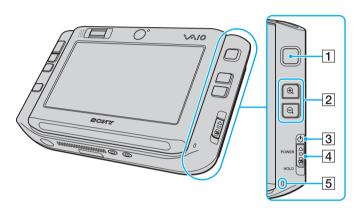
横向きで使用します。

### ❑ 回転モード

縦向きで使用します。
本機を90度回転させることで、本を読んでいるような感覚で操作することができます。

VAIO タッチランチャーを起動し、　をクリックすると画面表示が90度回転します。（82ページ）

**！ご注意**
本機の画面を回転させる場合は、必ずVAIO タッチランチャーから行ってください。

# 各部の説明

ここでは、本機の各部の説明を行います。
詳しい説明については、( )内のページまたは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## 本機正面

**1 スティックポインター(73ページ)**

マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

**2 ズームボタン(80ページ)**

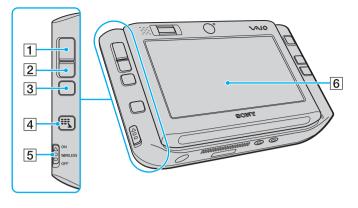
- ⊕ :画面を拡大します。
- ⊖ :画面を縮小します。

ズームボタンには他の機能を割り当てることもできます。(83ページ)

**3 ⏻POWER(パワー)ランプ(47ページ)**

電源が入ると点灯(グリーン)します。
スリープモード時には点滅(オレンジ)します。

**4 ⏻POWER(パワー)スイッチ(47ページ)**

**5 内蔵マイク**

1 **左ボタン（73ページ）**

マウスの左ボタンに相当します。

2 **右ボタン（73ページ）**

マウスの右ボタンに相当します。

3 **センターボタン（73ページ）**

マウスのホイールに相当します。

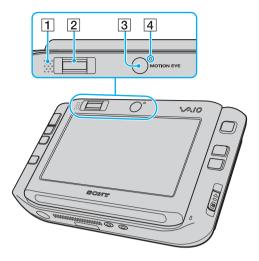
4 **ランチャーボタン**

お買い上げ時の設定では、VAIO タッチランチャーを起動します。（78ページ）
また、ランチャーボタンには他の機能を割り当てることもできます。（83ページ）

5 **WIRELESSスイッチ**

ワイヤレスLANやBluetooth機能をオン／オフします。

6 **タッチパネル式液晶ディスプレイ（64ページ）**

以降、液晶ディスプレイまたはタッチパネルと称します。

1 **内蔵スピーカー**

2 **指紋センサー（124ページ～）**

指紋情報を登録することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。

3 **前面カメラ（MOTION EYE）（85ページ）**

動画や静止画を撮影したり、テレビ電話をするときに映像を映します。

4 **前面カメラ（MOTION EYE）ランプ**

前面カメラ（MOTION EYE）起動中に点灯します。

## 本機右側面

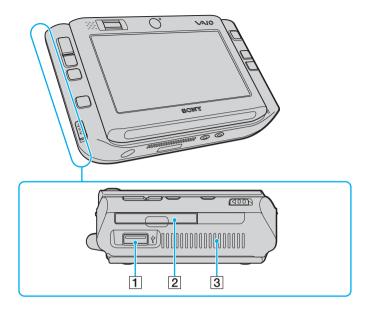
1 ストラップホルダー

付属のストラップを取り付けます。

**! ご注意**

- 本機を手に持って操作するときは、必ず付属のストラップを取り付けてください。取り付けたストラップは手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
- 取り付けた付属のストラップは、首にかけないでください。
- 取り付けた付属のストラップ部分を持って、本機を移動させないでください。衝撃を加えたり、落としたりすると本機の故障の原因となります。

2 バッテリコネクタ

## 本機左側面

1 (USB)コネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

2 CF(コンパクトフラッシュ)スロット

コンパクトフラッシュを挿入します。

3 吸気口

## 本機上面

1 スタイラス
2 3 4 5 6 7
MEMORY STICK DUO
CAPTURE

**1 スタイラス**

画面を直接触って操作するためのペンです。
本体から取り出して使用します。（65ページ）

**2 IDラベル**

**3 排気口**

**4 フォーカス切り替えスイッチ**

背面カメラ（MOTION EYE）のフォーカスを切り替えます。

**5 メモリースティック デュオ スロット**

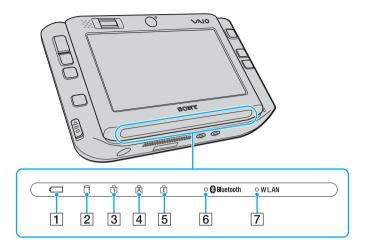
"メモリースティック デュオ"をそのまま挿入します。

**6 メモリースティック デュオ アクセスランプ**

"メモリースティック デュオ"にアクセスしているときに点灯します。

**7 CAPTURE（キャプチャー）ボタン**

動画や静止画を撮影します。

## 本機下面

1 (バッテリ)ランプ

バッテリの動作状態をお知らせします。

2 (ハードディスク)アクセスランプ

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにアクセスしているときに点灯します。

3 (Num Lock)ランプ

num lkキーを有効にすると点灯します。

4 (Caps Lock)ランプ

Capsキーを有効にすると点灯します。

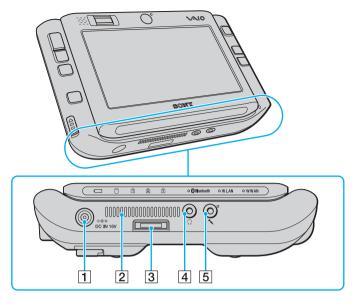
5 (Scroll Lock)ランプ

scr lkキーを有効にすると点灯します。

6 Bluetoothランプ

Bluetooth機能が使える状態のときに点灯します。

7 WLAN(ワイヤレスLAN)ランプ

ワイヤレスLANが使える状態のときに点灯します。

1 ⟐ DC IN 16V **コネクタ**

ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

2 **吸気口**

3 I/O **コネクタ**

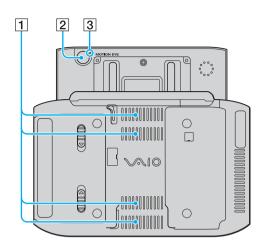
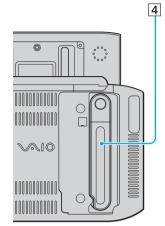
付属のディスプレイ/LANアダプタを使って、外部ディスプレイや液晶プロジェクタ、LANケーブルをつなぎます。
また、付属または別売りのポートリプリケーターを接続します。

4 **(ヘッドホン)コネクタ**

外部スピーカーやヘッドホンをつなぎます。

5 **(マイク)コネクタ**

マイクをつなぎます。
(ヘッドホン)コネクタと区別がしやすいように、(マイク)コネクタの右上に突起がついています。
マイクをお使いになるときは、誤って(ヘッドホン)コネクタに接続しないようご注意ください。

## 本機背面

1 **吸気口**

2 **背面カメラ(MOTION EYE)(85ページ)**
動画や静止画を撮影したり、テレビ電話をするときに映像を映します。

3 **背面カメラ(MOTION EYE)ランプ**
背面カメラ(MOTION EYE)起動中に点灯します。

4 **アンテナ(86ページ)**
(ワンセグチューナー搭載モデルのみ)
「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを使って携帯端末向け地上デジタル放送であるワンセグを視聴・録画・再生することができます。

## 保護ポーチ

液晶ディスプレイ保護のため、本機を持ち運ぶときは付属の保護ポーチに入れてください。

**! ご注意**

- 保護ポーチは本機の傷防止用として作られています。
  そのため、耐衝撃性はありませんので、万一何らかの衝撃が加わった場合は故障の原因となりますのでご注意ください。
- 保護ポーチに入れる際は以下の点にご注意ください。
  – 液晶ディスプレイを上にして、本機左側面から入れてください。
  – 本機からコンパクトフラッシュを取り出してください。

## ポートリプリケーター

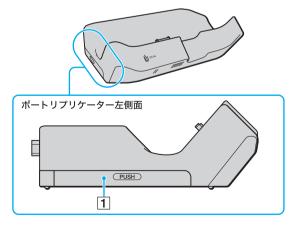
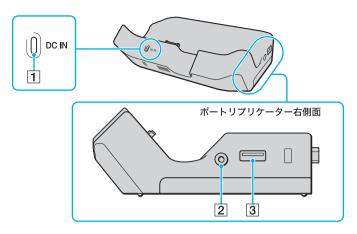
1 S400(i.LINK)コネクタ
i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

2 MONITOR(モニタ)コネクタ
外部ディスプレイや液晶プロジェクタをつなぎます。

3 USBコネクタ
USB規格に対応した機器をつなぎます。

4 I/O コネクタ
本機下面のI/O コネクタとつなぎます。

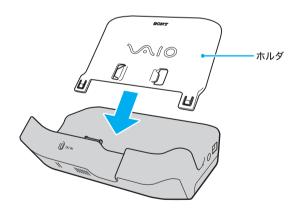
5 LANコネクタ
LANケーブルをつなぎます。
LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

6 DC IN 16V コネクタ
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

1 FeliCaポート(FeliCa対応リーダー/ライター)
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

1 DC INランプ

2 A/V OUTコネクタ
テレビにつなぎます。

3 USBコネクタ
USB規格に対応した機器をつなぎます。

### ホルダを取り付けるには

ポートリプリケーターをご使用になるときは、必ずホルダを取り付けてください。
取り付ける際は、あまり無理な力を加えないようご注意ください。

## ディスプレイ/LANアダプタ

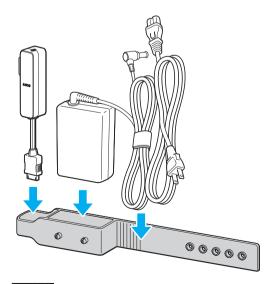
1 **I/O コネクタ**
本機下面のI/O コネクタにつなぎます。

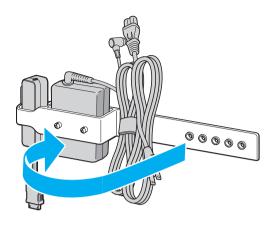
2 **(AV OUT)コネクタ**
テレビにつなぎます。

3 **(モニタ)コネクタ**
外部ディスプレイや液晶プロジェクタをつなぎます。

4 **LANコネクタ**
LANケーブルをつなぎます。
LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

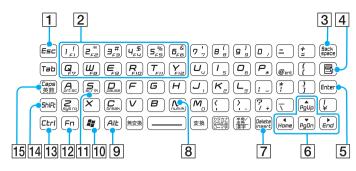
### 付属品をまとめるには

本機にはディスプレイ/LANアダプタ、ACアダプタ、電源コードをまとめるアダプタホルダーが付属します。アダプタホルダーには仕切りがあるので、下記のように別々の仕切りに入れてください。

**！ご注意**
ディスプレイ/LANアダプタは、I/O コネクタの方から入れてください。

仕切りに入れたあとは、コード類をアダプタホルダーで留めます。

## キーボード

### キーボードを使うには

ディスプレイパネルをスライドさせるとキーボードを使用することができます。

**！ご注意**
液晶ディスプレイ部分を触らないようにしてスライドさせてください。

1 **Esc（エスケープ）キー**

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

2 **ファンクションキー**

使用するソフトウェアによって働きが異なります。

3 **Backspace（バックスペース）キー**

カーソルの左側の文字を消します。

4 **アプリケーションキー**

右ボタンを押したときと同じ働きをします。

5 **Enter（エンター）キー**

決定や実行するときなどに押します。

6 **矢印キー**

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

7 **Delete（デリート）キー／Insert（インサート）キー**

- Deleteキーとして使用する

  カーソルの右側の文字を消します。
- Insertキーとして使用する

  FnキーをしながらInsertキーを押すと、文字入力モードを切り替えます。

  文字を入力するとき、このキーを押すごとにカーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。使用するソフトウェアによっては働かない場合があります。

8 **num lk（ナムロック）キー**

テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Fnキーを押しながらnum lkキーを押すと、液晶ディスプレイ下側にある（Num Lock）ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらnum lkキーを押すと、消灯します。

9 **Alt（オルト）キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。オルタネートキーともいいます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

10 **Windows（ウィンドウズ）キー**

Windowsのスタートメニューが表示されます。

他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます（71ページ）。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

### ⑪ scr lk（スクロールロック）キー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。

Fnキーを押しながらscr lkキーを押すと、液晶ディスプレイ下側にある（Scroll Lock）ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらscr lkキーを押すと、消灯します。

（Scroll Lock）ランプが点灯しているときに、指紋センサーを使ってスクロールすることができます。

### ⑫ Fn（エフエヌ）キー

キーボード上青色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。（72ページ）

### ⑬ Ctrl（コントロール）キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
例）Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。
メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。

### ⑭ Shift（シフト）キー

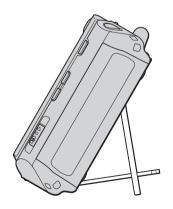
文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

### ⑮ Caps（キャプスロック）キー

Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、液晶ディスプレイ下側にある（Caps Lock）ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

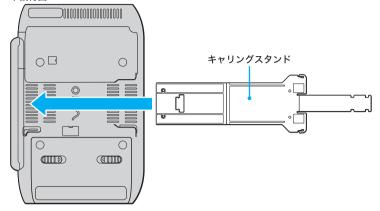
もう一度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、（Caps Lock）ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

## キャリングスタンド

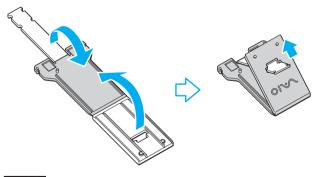
キャリングスタンドを使うと、本機を立てて使用することができます。

ヒント

キャリングスタンドは一部のモデルにのみ付属しています。

## キャリングスタンドを使うには

### 1　本機背面の溝にあわせてキャリングスタンドを差し込む。

**ヒント**
VAIOロゴが本機背面側になるようにして差し込んでください。

### 2　キャリングスタンドを組み立てる。

下図のようにスタンド両端の羽を中央に向かって折り曲げ、ツメをひっかけます。

**! ご注意**
キャリングスタンドを組み立てる際は、あまり無理な力を加えないようご注意ください。

**ヒント**
キャリングスタンドは2段階に調節することができます。

# 準備する

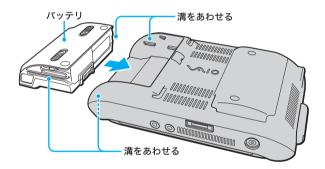
# バッテリを取り付ける／はずす

バッテリを取り付ける／はずす場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
また、あらかじめ「バッテリについてのご注意」(280ページ)をご覧ください。

## バッテリを取り付けるには

本機右側面のバッテリ取り付け部にバッテリを取り付けます。

**1** **本機の電源を切る。**

**2** **バッテリ取り付け部とバッテリ両端の溝をあわせ、「カチッ」と音がするまでバッテリを差し込む。**

**！ご注意**

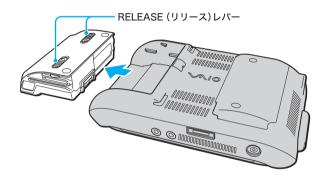
- バッテリがはずれると、作業中のデータが失われたり、バッテリ破損の原因となります。
- 正しくバッテリを取り付けていない場合は、本機を付属または別売りのポートリプリケーターに取り付けることはできません。

## バッテリを取りはずすには

**!ご注意**

AC電源をつながない状態で、本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

**1** **本機の電源を切る。**

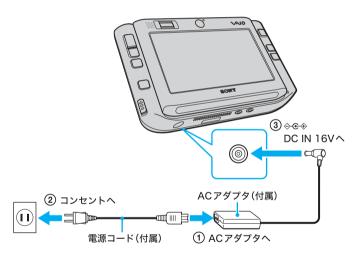
**2** **バッテリの2つのRELEASE(リリース)レバーを内側(▷の方向)にずらしたまま、溝にあわせて引き出す。**

# 電源を入れる

次の手順に従って、本機の電源を入れてください。

**！ご注意**
安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリおよびACアダプタをご使用ください。

## 1 バッテリを取り付ける。（44ページ）

## 2 AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。

① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

③ ACアダプタのプラグを、本機下面の DC IN 16Vコネクタに差し込む。

## 3 ⏻POWER（パワー）スイッチを上側（▷の方向）にずらし、⏻POWER（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

**！ご注意**
4秒以上⏻POWER（パワー）スイッチを上側（▷の方向）にずらしたままにすると、電源が入りません。⏻POWER（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。

**！ご注意**
安全のため、バッテリでご使用中に本機の温度が上がりすぎると、自動的に現在作業中の状態をハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに保存して、本機の電源を切ります（休止状態）。ただし、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中止することができないために、この機能が正しく働かないことがあります。休止状態に移行せずにさらに温度が上昇すると、本機の電源が切れて、作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。保障温度以上の環境になるため、付属の保護ポーチに入れた状態で本機をご使用にならないでください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」（49ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

**！ご注意**
- 「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
  途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 本機を安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や第三者から本機を守るために「バイオ電子マニュアル」に記載されている「セキュリティについて」をご覧ください。

### 2回目以降に電源を入れるときは

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。
  画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

**ヒント**

本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スリープ)。
元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻POWER(パワー)スイッチ*を上側(▷の方向)に一瞬ずらします。
また、バッテリでご使用中に約1時間操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります(休止状態)。元の状態に復帰させるには、⏻POWER(パワー)スイッチ*を上側(▷の方向)に一瞬ずらしてください。

* ⏻POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)に4秒以上ずらすと保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

## 電源を切る

**電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)に4秒以上ずらして電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。**

### 1 (スタート)ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

### 2 ー[シャットダウン]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻POWER(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。

### しばらく作業を中断するときは

移動するときなどしばらく作業を中断するときや、翌日まで本機を使わないときなどは、休止状態を使うと便利です。

**ヒント**

お買い上げ時の状態では、⏻POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)に一瞬ずらすと、スリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリに保持したまま(お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。

## 再起動する

本機の設定を変更したり、ソフトウェアをインストールしたときなどは、本機を再起動する必要があります。

### 1 (スタート)ボタンー ボタンー[再起動]をクリックする。

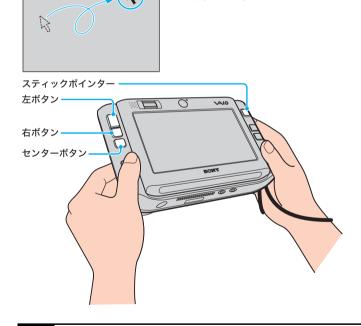
本機が再起動します。

# Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。
Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

**ヒント**

- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、次の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。(44ページ)
- 次の手順で使われている画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

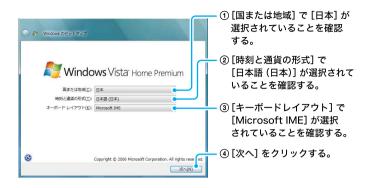
スティックポインターを動かし、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

## 1 電源を入れる。

⏻POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)にずらし、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。(46ページ)

**！ご注意**

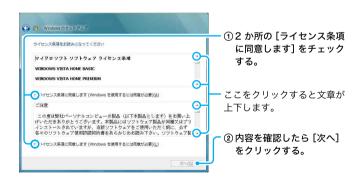
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ～ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

## 2 設定を開始する。

**ヒント**

ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

**！ご注意**

英語キーボードを選択されている場合も、[Microsoft IME]を選択してください。Windowsが起動してから、キーボードの変更を行います。

## 3 「ライセンス条項」の内容を確認する。

**！ご注意**

どちらか一方でもチェックをしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

**ヒント**

画面左上の　ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

# 4 ユーザーアカウントの設定をする。

**!ご注意**
入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。

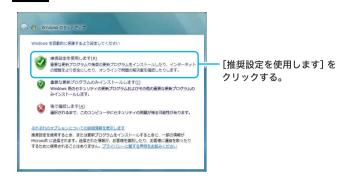
メモ

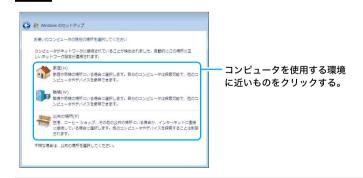
---

**ヒント**
- ユーザー名やパスワードはWindowsのセットアップ完了後に設定することもできます。
- ユーザー名には、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットなどの文字が使用できます（キーボードの半角／全角｜漢字キーで入力を切り換えられます）。
  ユーザー名の例：VAIO太郎

# 5 コンピュータの名前を確認する。

**ヒント**
コンピュータの名前やデスクトップの背景は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

## 6 コンピュータの保護の設定をする。

## 7 日付と時刻の設定を確認する。

## 8 コンピュータを使用する場所を選択する。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

**ヒント**

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピュータを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

## 9　設定を完了する。

[いいえ、後で設定します]を選択して、[開始]をクリックする。

**ヒント**

Windowsのセットアップ完了後に設定することができます。

セットアップが完了すると、「ウェルカムセンター」画面が表示されます。

**ヒント**

「ウェルカムセンター」画面の内容はご使用いただいている機種によって異なることがあります。

| これでWindowsが使えるようになりました。 |
| --- |

**電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切る」（48ページ）をご覧ください。**

引き続き、タッチパネルの補正を行います。

## 10　付属のスタイラスで画面を1回タップする。

**ヒント**

スタイラスで画面をタッチしてすぐに離すことをタップといいます。

## 11　タッチパネルの補正画面が表示されたら、「×」印の中心を正確にタップする。

タップする「×」印は、全部で4か所に表示されます。
タップが終わり、「タッチパネルの補正」画面が表示された場合は[終了]をクリックしてください。

**ヒント**

タッチパネルの補正は、Windowsのセットアップ後にも行えます。

その場合は、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[タッチパネル]－[タッチパネルの補正]をクリックします。

**！ご注意**

- 本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理（有償）が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理（有償）を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理（有償）でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。
- 「ウイルス対策ソフトウェアの状態を確認してください」という警告が表示されることがあります。コンピュータを危険から守るために、Windowsのセットアップが完了したらすぐに「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

## 英語配列キーボードをご使用のお客様へ

本機で英語配列キーボードをお使いの場合、お客様ご自身によるドライバの設定変更が必要です。設定変更の手順については「よくあるトラブルと解決方法」の「文字入力／キーボード」にある「Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。」（193ページ）をご覧ください。

**ヒント**

英語配列キーボードかどうかは半角／全角｜漢字キーの有無で確認できます。英語配列キーボードには、半角／全角｜漢字キーがありません。

# バイオをはじめる前の準備を行う

「バイオをはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。以下の手順に従って、設定を行ってください。

## 1　デスクトップ画面上の[バイオをはじめる前の準備]をダブルクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオをはじめる前の準備」画面が表示されます。

**ヒント**
「バイオをはじめる前の準備」は、一度実行すると次からは表示されません。

## 2　画面の指示に従って操作する。

「VAIO オリジナル機能の設定」が表示される場合は、次の「VAIO オリジナル機能の設定を行う」の項目をご覧ください。
最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

## VAIO オリジナル機能の設定を行う

バイオに取り込んだ音楽、写真やビデオを解析するためにVAIO オリジナル機能の設定を行ってください。
VAIO オリジナル機能の設定は「バイオをはじめる前の準備」から設定します。
「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、以下の手順に従って設定を行ってください。

### 1 [次へ]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定へようこそ」画面が表示されます。

### 2 [次へ]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
設定画面が表示されます。

### 3 表示される各画面で内容を確認し、[利用する]を選択して[次へ]をクリックする。

**ヒント**
設定する項目は、お使いのモデルによって異なります。

### 4 [終了]をクリックする。

VAIO オリジナル機能の設定が完了します。

# カスタマー登録する

## VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様へより充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」をおすすめしています。
ご登録いただくと、「My Sony ID」が発行（あるいは、お持ちの「My Sony ID」に製品の登録情報を追加）され、下記の登録特典が得られます。
登録はこちら（http://www.vaio.sony.co.jp/regist）からお願いいたします。

### ❑ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。
ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードでお客様ご本人の認証に利用できます。また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

**！ご注意**

- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
- 住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.mysony.sony.co.jp/）で行うことができます。

VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」（246ページ）までご連絡ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報をご提供
お客様のバイオに関する重要な情報をご連絡いたします。

② ご登録カスタマー専用のサービス･サポートメニューをご用意
VAIO延長保証などのサービスから、コールバック予約などのサポートまで多彩な専用メニューをご利用いただけます。

③ 優待プログラム「**My VAIO Pass**」（**http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/**）（**257**ページ）をご提供
ソフトウェアの優待販売や期間限定の特別キャンペーンに加え、ソニーグループ内で広く使えるソニーポイントの連動を強化した優待プログラムをご利用いただけます。

④ お客様専用のページをご提供
カスタマー登録の際に発行されるMy Sony IDでログインしていただくと、お客様専用ページをご覧いただけます。

⑤ 電話サポートがよりスムーズに
ご登録いただいたお客様情報に基づき迅速に対応いたします。

⑥ バイオに関する最新情報をご提供
メールニュースなどバイオに関するさまざまな最新情報をお届けします。

## ❑ ご利用いただける有償サービス

- VAIO延長保証サービス
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Service/Guarantee/
  大切なバイオを安心してお使いいただくためのサービスです。
- VAIO Overseas Service（海外現地修理サービス）
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Service/Overseas/
  海外で安心してお使いいただくためのサービスです。
- ソフトウェア･ダウンロード販売サイト、「VAIOソフトウェアセレクション」
  http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Software/

### ❑ ご利用いただけるサポート

お客様ひとりひとりにあわせたサポート情報をご提供する「マイサポーター」をご利用いただけます。マイサポーターでは下記のサポートなどをご提供しています。

- 「テクニカル**Web**サポート」
  https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/
  バイオに関する技術的な質問をインターネット経由で受け付け、電子メールでご返信いたします。
- 「**VAIO**コールバック予約サービス」
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
  ホームページから、電話サポートのご予約をしていただけます。
- 「**VAIO**リモートサービス」
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、使いかたなどのご案内をさせていただきます。
- 「**VAIO Hot Street**（情報交換サイト）」
  http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
  バイオユーザーの皆様どうしでバイオに関する「投稿」、「質問」、「回答」などのやりとりを行う情報交換サイトをご利用いただけます。

※2007年6月現在

ご利用いただける有償サービスやサポートについて詳しくは、258ページ以降をご覧ください。

## VAIOカスタマー登録の方法

VAIOカスタマー登録は、お客様のバイオから2通りの方法で行うことができます。

**！ご注意**

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

## ❑ プログラムから登録

**1** （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

機種によっては「VAIOオンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。次ページの「「My VAIO」から登録」もご覧ください。

**2** 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

**ヒント**
カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

**3** 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

**！ご注意**

- 表示された番号は、メモを取るなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせの際に、「My Sony ID」が必要になる場合があります。

**ヒント**
「My Sony ID」は、登録メールアドレスに送信されます。

### ❑「My VAIO」から登録

## 1　「MyVAIO」(http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO)の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

## 2　以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

**以上でセットアップが終わりました。**

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページをご覧ください。

**❑ リカバリディスクの作成方法を知りたい。**

- 「リカバリディスクを作成する」(135ページ)をご覧ください。

**❑ Windowsの基本操作を知りたい。**

- VAIOカスタマーリンクのホームページの「代表的なサポートメニュー」(237ページ)をご覧ください。

### Windows Updateについて

より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。

# 基本操作

# タッチパネルを使う

本機は、付属のスタイラスを使って文字を入力したり、ソフトウェアを実行できます。

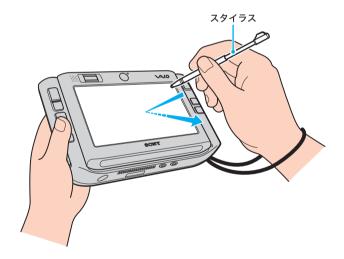
**！ご注意**

- 本機を手に持って使用する場合は、必ず付属のストラップを取り付けてください。取り付けたストラップは手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
- タッチパネルを操作する場合は、必ず付属のスタイラスを使用してください。
ボールペンなどを使用すると、本機の画面が傷つくおそれがあります。

**ヒント**

液晶ディスプレイは乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと感じたら、こまめに拭くようにしてください。

## スタイラスとは？

本機の画面を直接さわって操作するためのペンです。

## タップする

スタイラスで画面をタッチしてすぐに離します。
本機の左ボタンを1回押す動作に相当します。
また、以降タップすることをクリックと称します。

## ダブルタップする

スタイラスで画面を軽く2回続けてタップします。
本機の左ボタンを続けて2回押す動作に相当します。
また、以降ダブルタップすることをダブルクリックと称します。

### ドラッグする

スタイラスを軽く当てたまま画面をなぞります。

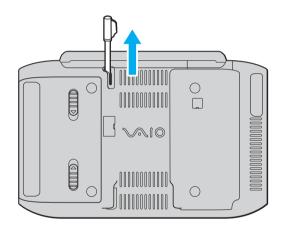
### 右クリック機能

タッチパネルの設定を変更することで、スタイラスで画面を長押しして右クリック機能を有効にすることができます。タッチパネルの設定について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**ヒント**

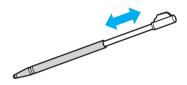
タッチパネルを操作したときに、タッチした位置と実際の動作にずれを感じた場合は、タッチパネルの補正をすることができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## スタイラスを取り出す

本体からスタイラスを取り出します。

**ヒント**

スタイラスは、伸ばしたり縮めたりして使うことができます。

**! ご注意**

スタイラスは紛失してしまわないように、使い終わったら本体に戻してください。

* スタイラスは消耗品です。使いにくくなった場合は、別売りのスタイラスをご購入ください。

## VAIO TOUCH COMMANDを使う

VAIO TOUCH COMMANDを使うと、割り当てたタッチコマンドをタッチパネル上で行うだけで本機を手軽に操作することができます。
タッチパネルを長押しすると、VAIO TOUCH COMMANDが使用できるようになります。その状態でタッチコマンドを入力してください。アクティブになっているソフトウェアに対応した機能を実行します。

**！ご注意**

- VAIO TOUCH COMMANDが使用できる状態のときは、タッチパネルを使用したクリックやドラッグができなくなります。
- VAIO TOUCH COMMANDに対応していないソフトウェアもあります。

VAIO TOUCH COMMANDの設定は、次の手順で行います。

### 1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオの設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

### 2 [キーボード・マウス]ー[タッチパネル]をダブルクリックする。

設定画面が表示されます。

### 3 [設定]をクリックする。

「タッチパネルのプロパティ」画面が表示されます。

### 4 [詳細設定]タブをクリックする。

### 5 「VAIO TOUCH COMMANDを使用する」のラジオボタンが◉になっているか確認する。

◉になっていない場合は、クリックして◉にしてください。

## 6 [VAIO TOUCH COMMAND]をクリックする。

「VAIO TOUCH COMMAND Menu」画面が表示されます。

## 7 それぞれの動作に対する機能をドロップダウンリストから選択する。

各タブごとに機能を割り当てます。

| 「ブラウザ」タブ | Internet Explorerがアクティブになっているときのタッチコマンド動作を設定します。 |
|---|---|
| 「マルチメディア」タブ | 以下のソフトウェアがアクティブになっているときのタッチコマンド動作を設定します。<br>• Windows Media Center<br>• Windows Media Player<br>• SonicStage<br>• WinDVD<br>• VAIO モバイル TV（ワンセグチューナー搭載モデル） |
| 「その他」タブ | その他のソフトウェアがアクティブになっているときのタッチコマンド動作を設定します。 |

## 8 [OK]をクリックする。

「タッチパネルのプロパティ」画面に戻ります。

## 9 [OK]をクリックする。

ヒント

ここでは、タッチコマンドを実行する例として、「コンピュータ」画面を開く方法を紹介します。

① 66ページの手順1～6を行う。

② [その他]タブをクリックする。

③ [←]のドロップダウンリストから[キーコマンドの実行]を選択する。

④ 「コマンドの設定」画面で、[Windows]のチェックボックスをクリックしてチェックを入れる。

⑤ 引き続き、[A - Z]のチェックボックスをクリックしてチェックを入れ、ドロップダウンリストから[E]を選択する。

⑥ [Ok]をクリックする。
「VAIO TOUCH COMMAND Menu」画面に戻ります。

⑦ [OK]をクリックする。
「タッチパネルのプロパティ」画面に戻ります。

⑧ [OK]をクリックする。

⑨ タッチパネルを長押ししてVAIO TOUCH COMMANDを使用できるようにし、スタイラスでタッチパネル上を右から左に水平に動かす。
「コンピュータ」画面が開きます。

！ご注意

「コマンドの設定」画面で「Ctrl」「Alt」「Delete」の3つにチェックを入れても、Windows Vistaの画面を表示することはできません。

ヒント

VAIO TOUCH COMMANDが有効になっていると、デスクトップ画面上部に「VAIO TOUCH COMMAND」という表示が現れます。

ただし、Windows Media Centerを全画面表示している場合は、「VAIO TOUCH COMMAND」の表示はされません。

# タッチパネルで文字を入力する（「NextText」ソフトウェアを使う）

## 「NextText」ソフトウェアでできること

「NextText」ソフトウェアは、文字を入力するためのソフトウェアです。タッチパネルを操作して入力できますので、屋外でも気軽に操作することができます。
詳しくは「NextText」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

**！ご注意**

- 本機の吸気口や排気口を指などでふさがないようご注意ください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり、低温やけどや火災、故障の原因となります。
- 本機の故障の原因となるため、以下の項目にご注意ください。
  - 本機を手に持って使用するときは、付属のストラップを手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
  - 本機に強い衝撃や振動を与えないようにしてください。
- 使用状況によっては、本機表面やバッテリが熱くなる場合があります。そのまま長時間使用すると、低温やけどの原因となるおそれがありますのでご注意ください。
- 本機を手に持って長時間使いつづけると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
  本機を手に持って使用中に体の一部に不快感や痛みを感じた場合は、本機の使用をやめて休息してください。

## 「NextText」ソフトウェアを使う

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[NextText]－[NextText]をクリックします。

### 「NextText」画面

**1 モード切り替えボタン**
「手書き(横)」「手書き(縦)」のどちらかを選択し、文字入力のモードを切り替えます。

**2 ヘルプボタン**
ヘルプを表示します。
「NextText」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。

**3 閉じるボタン**
「NextText」画面を閉じます。

**ヒント**
「NextText」ソフトウェアの常駐機能を解除したい場合は、[アクション]をクリックして表示されるメニューから[設定]を選択し、常駐機能を解除する設定にしてください。

# キーボードを使う

## Windowsキーと組み合わせたショートカットキー一覧

### キー操作の表記

例: ＋F→Windowsキーを押しながらFキーを押す。

| 組み合わせ | 機能 |
|---|---|
| ＋Fn＋F1 | Windowsのヘルプを表示します。 |
| ＋Tab | 表示されているすべての画面を三次元に並べて表示します。（Windows Aero選択時のみ） |
| ＋D | デスクトップを表示します。 |
| ＋E | 「コンピュータ」画面を表示します。 |
| ＋F | 検索画面を表示します。スタートメニューから[検索]を選んだときと同じです。 |
| Ctrl＋ ＋F | コンピュータの検索画面を表示します。 |
| ＋M | 表示されているすべてのウィンドウを最小化します。 |
| ＋Shift＋M | 最小化したウィンドウを元のサイズに戻します。 |
| ＋R | 「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[ファイル名を指定して実行]をクリックしたときと同じです。 |

詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

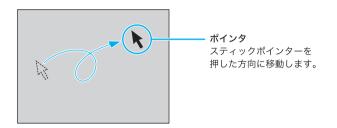
## Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧

キー操作の表記
例：Fn＋pause（ポーズ）→Fnキーを押しながらpause（ポーズ）キーを押す。

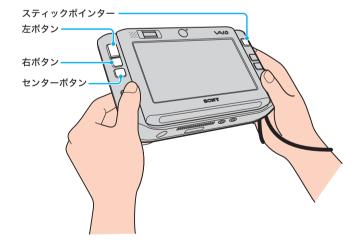
| 組み合わせ | 機能 |
|---|---|
| Fn＋prt sc（プリントスクリーン） | 表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。 |
| Fn＋scr lk（スクロールロック） | • 使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。<br>• 指紋センサーを使ってスクロールすることができます。 |
| Fn＋pause（ポーズ） | 使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。 |
| Fn＋break（ブレイク） | 使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。 |
| Fn＋num lk（ナムロック） | テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Fnキーを押しながらnum lkキーを押すと、本機下面にある（Num Lock）ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらnum lkキーを押すと、消灯します。 |
| Fn＋Insert（インサート） | 文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとにカーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。使用するソフトウェアによっては働かない場合があります。 |
| Fn＋PgUp（ページアップ） | 現在表示している画面の前のページを表示します。 |
| Fn＋End（エンド） | 行またはページの最後にカーソルを移動します。 |
| Fn＋PgDn（ページダウン） | 現在表示している画面の次のページを表示します。 |
| Fn＋Home（ホーム） | 行またはページの先頭にカーソルを移動します。 |

**！ご注意**
Windows起動後でないと作動しないものがあります。

# ポインティングデバイスを使う

スティックポインターを軽く指で押すと、画面上のポインタは押した方向に移動します。
スティックポインターを押す力（圧力）によって動く速度を調整できます。
スティックポインターを強く押すとポインタは速く動きます。

ポインタを目的の位置まで動かして左ボタンまたは右ボタンを押すだけで、メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。

**！ご注意**
ポインタが自然に動くことがまれにありますが、故障ではありません。しばらくスティックポインターから指を離していればポインタは止まります。

## 通常モード時

### 回転モード時

### クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを1回押します。[OK]や[キャンセル]などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。
また、スティックポインターを指で1回軽くたたいても同じ働きをします。

### ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。
ワードプロセッサや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。
また、スティックポインターを指で2回続けて軽くたたいても同じ働きをします。

### 右クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

### ドラッグする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、スティックポインターを押します。
ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。
また、スティックポインターを指で押し込み、そのままスティックポインターを動かしても同じ働きをします。

### ドラッグアンドドロップする

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときなどに使います。
また、スティックポインターを指で押し込み、スティックポインターを動かしてアイコンなどの上で指を離しても同じ働きをします。

### スクロールする

センターボタンを押しながらスティックポインターを指で押します。ソフトウェア上のスクロールバーを上下左右に移動できます。

**ヒント**

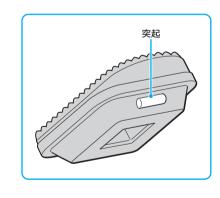
回転モード時は、左ボタンと右ボタンを同時に押すことでセンターボタンと同じ働きをします。

**！ご注意**

スクロール機能を使うには、ソフトウェア側の対応が必要です。対応していないソフトウェアでは、この機能は使えません。

## スティックポインターのキャップを交換するには

スティックポインターの先に付いているキャップは消耗品です。着脱式ですので、使いにくくなった場合は付属の予備用スティックポインターキャップと交換することができます。
予備用スティックポインターキャップには突起がついています。その突起を本機上面側に向けて取り付けます。

突起を本機上面側に向けて取り付ける。

**！ご注意**

キャップははずれないよう、しっかりとはめてください。

**ヒント**

予備用スティックポインターキャップは、「ゴムタイプ」と「植毛タイプ」の2種類が付属されています。お好みのキャップを取り付けてください。

準備する
基本操作
活用する
セキュリティ
バックアップ／リカバリ
困ったときは
サービス・サポート
注意事項

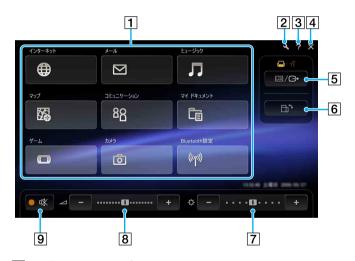
# 活用する

# VAIO タッチランチャーを使う

VAIO タッチランチャーは、ランチャー画面上のボタンを操作してソフトウェアを起動したり、音声やディスプレイの設定を変更したりすることができます。

ランチャーボタンを押すと、VAIO タッチランチャーが起動します。
もう一度ランチャーボタンを押すと、VAIO タッチランチャーを終了します。

**ヒント**
VAIO タッチランチャーを割り当てたボタンで起動することもできます。(83ページ)

ランチャー画面の各ボタンで以下の操作を行うことができます。

**1 アプリケーションボタン**
ソフトウェアを起動したり、フォルダやWEBページを開きます。

**ヒント**
アプリケーションボタンの機能は変更することができます。詳しくは、VAIO タッチランチャーのヘルプをご覧ください。

**2 設定ボタン**
設定画面を表示します。

**3 ヘルプボタン**
ヘルプを表示します。

**4 閉じるボタン**
VAIO タッチランチャーを終了します。

5 LCD/ (外部出力切り替えボタン)

外部ディスプレイなどと本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。

LCD/ を押すたびにボタン上側の表示が切り替わります。

ヒント

本機は外部出力切り替えをせずに、外部ディスプレイなどを接続しただけで画像や動画を表示することができます(プラグアンドディスプレイ)。

!ご注意

は、「コンピュータの管理者」など管理者権限を持つユーザーとしてログオンしたときのみ表示されます。

6 (回転ボタン)

画面表示を90度回転します。

7 輝度調節

+/ーボタンをクリックするか、スライダを動かして輝度を調節します。

8 音量調整

+/ーボタンをクリックするか、スライダを動かして音量を調節します。

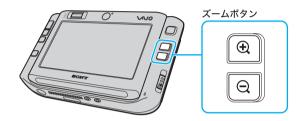
9 (消音ボタン)

消音機能をオン/オフします。消音中は消音ランプがオレンジ色になります。

# 画面を拡大／縮小して表示する

ズームボタンで画面を拡大／縮小して表示することができます。

液晶ディスプレイに表示される文字などが小さい場合には、⊕ボタンを押すことにより、画面を拡大して見やすくすることができます。

また、⊖ボタンを押すことで画面を縮小します。

ズームボタンを押すたびに画面を拡大／縮小します。

⊕：「1倍」→「1.5倍」→「2倍」→「2.5倍」→「3倍」

⊖：「3倍」→「2.5倍」→「2倍」→「1.5倍」→「1倍」

ヒント

⊕ボタンを押すと、メッセージが表示される場合があります。[OK]をクリックしてください。

## カーソルモードを変更する

画面拡大時のカーソルの動きを変更することができます。

| ハンドカーソルモード | ポインタが　になり、画面をつかんで移動できます。このモードでは、クリックやドラッグなどの操作ができなくなります。クリックやドラッグなどの操作を行う場合は、マウスカーソルモードにしてください。 |
|---|---|
| マウスカーソルモード | 通常のマウス操作ができます。 |

お買い上げ時はハンドカーソルモードに設定されています。

カーソルモードは、画面拡大時に表示される　／　をクリックして切り替えます。

## 拡大表示を終了する

画面拡大時に表示される　をクリックすると、拡大表示を終了して1倍表示に戻します。

### 制限事項

- 次の場合は画面を拡大して表示することができません。
  - デスクトップ画面の解像度を1,024 × 600ドットより大きく設定している場合
  - マルチモニタを設定している場合
    マルチモニタの解除については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
  - 動画を再生している場合
  - スクリーンセーバーが起動している場合
- 半透明で表示されているウィンドウなど、一部のウィンドウは画面拡大時には表示されません。
- タスクバーに表示されているボタンやアイコンなどにポインタをあわせたときに表示される説明やヒントは、画面拡大時には表示されません。
- 拡大表示中にスタートメニューやポップアップメニューを表示すると、一瞬だけ1倍表示されますが、すぐに拡大表示に戻ります。
- 画面拡大時に表示される をクリックして表示された設定画面で「マウスカーソルの位置によってデスクトップ画面を自動でスクロールする」の設定にした場合は、ポインタの軌跡を利用するソフトウェア（「ペイント」や手書き文字入力機能など）が画面拡大時に使いづらく感じることがあります。
  その場合は、画面を拡大せずにソフトウェアをご使用ください。

# 画面を回転して表示する

本機は画面を回転させて、縦向きで使用することができます。(25ページ)

ランチャーボタンを押して、VAIO タッチランチャーを表示させて をクリックします。

**！ご注意**
本機の画面を回転させる場合は、必ずVAIO タッチランチャーから行ってください。

### 回転モード時のボタン設定

回転モードにした場合、お買い上げ時のボタン設定は次のようになっています。

1 **ランチャーボタン**
VAIO タッチランチャーを起動します。

2 **回転ボタン**
画面を90度回転します。

3 **ズームボタン( )**

4 **ズームボタン( )**

5 **スティックポインター**

6 **右ボタン**

7 **左ボタン**

# ボタンの機能を変更する

本機のボタンを押したときの機能を変更することができます。

## 通常モード時のボタンの機能を変更するには

### 1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオの設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

### 2 [特殊ボタン]ー[ボタン・キーボード設定]をダブルクリックする。

設定画面が表示されます。

### 3 [ボタン設定(通常モード)]タブをクリックする。

ボタン設定の項目が表示されます。

### 4 各ボタンの設定を変更する。

1〜3のボタン:
各ボタンごとにリストから機能を割り当てます。
音量や画面設定変更に関する機能、よく使用するプログラムなどを割り当てることができます。

### 5 [OK]をクリックする。

## 回転モード時のボタンの機能を変更するには

### 1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオの設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

### 2 [特殊ボタン]ー[ボタン・キーボード設定]をダブルクリックする。

設定画面が表示されます。

### 3 [ボタン設定(回転モード)]タブをクリックする。

ボタン設定の項目が表示されます。

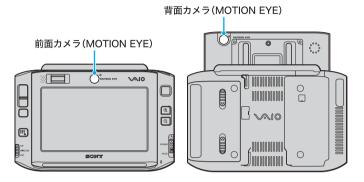
### 4 各ボタンの設定を変更する。

1〜4のボタン:
各ボタンごとにリストから機能を割り当てます。
音量や画面設定変更に関する機能、よく使用するプログラムなどを割り当てることができます。

### 5 [OK]をクリックする。

ヒント
[その他の設定]タブで、画面を回転させたときのボタンの機能説明表示や、キーボードを操作したときのバックライトについて設定することができます。

# 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使う

本機には2つの内蔵カメラ(MOTION EYE)を搭載しています。

### 前面カメラ(MOTION EYE)

本機正面にあり、「Skype」などのソフトウェアを使ってテレビ電話などをするときに使用します。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

### 背面カメラ(MOTION EYE)

本機背面にあり、「VAIO カメラキャプチャーユーティリティ」ソフトウェアを使って、静止画や動画を撮影するときに使用します。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**ヒント**

前面カメラ(MOTION EYE)ランプや背面カメラ(MOTION EYE)ランプは、それぞれのカメラを起動中に点灯します。

**!ご注意**

- 前面カメラ(MOTION EYE)と背面カメラ(MOTION EYE)は、同時に使用することはできません。また、どちらのカメラも回転モード時に使用することはできません。
- 内蔵マイクや内蔵スピーカーがふさがれないようご注意ください。

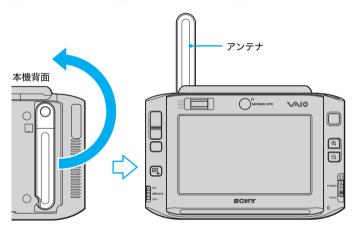
## カメラを切り替える

カメラを使用するソフトウェアを起動したときに表示される「VAIO カメラユーティリティ」ソフトウェアで前面カメラ(MOTION EYE)と背面カメラ(MOTION EYE)を切り替えます。
前面カメラ(MOTION EYE)を使う場合は[前面]、背面カメラ(MOTION EYE)を使う場合は[背面]をクリックしてください。
詳しくは、「VAIO カメラユーティリティ」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

# ワンセグを楽しむ <ワンセグチューナー搭載モデル> (「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを使う)

## こんなことができます

本機では、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを使って携帯端末向け地上デジタル放送であるワンセグを視聴・録画・再生することができます。

本機には、ワンセグを受信するためのアンテナが搭載されています。

**ヒント**

- アンテナは立てた状態でお使いください。
  アンテナをおさえるツメがついているため、アンテナ回転時にツメが引っかかることがあります。
- 液晶ディスプレイをスライドして上に上げた状態では電波が受信しにくい場合があります。液晶ディスプレイを下げた状態で視聴してください。
- ワンセグ視聴後、アンテナを元に戻すときはツメが引っかかるように戻してください。
- キャリングスタンドを使用してワンセグを楽しむことができます。(40ページ)

ワンセグの電波を受信できる場所であれば、どこでも「VAIO モバイル TV」ソフトウェアでワンセグを楽しむことができます。
また、ワンセグの番組を録画したり、見たい番組を録画予約したりすることで、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに保存した番組をどこででも再生して楽しむことや、録画したビデオを "メモリースティック" に転送してワンセグの番組を他の機器で楽しむこともできます。

なお、「Memory Stick Video Player」ソフトウェアを別途購入することで、"メモリースティック デュオ" に転送したワンセグの番組を他のバイオで楽しむことが可能になります。
詳しくは、VAIO ソフトウェアセレクション(http://www.jp.sonystyle.com/Nws/Vss/)をご覧ください。(VAIO ソフトウェアセレクションをご覧いただくには、インターネットに接続しておく必要があります。)

**!ご注意**

- ワンセグのサービスエリア以外では、ワンセグを楽しむことはできません。
  また、放送エリア内であっても、地形や構造物などの周囲環境、本体を置く場所や向き、電波の伝播状況などによっては受信できません。
- ワンセグを視聴・録画しない場合は、必ずアンテナを本体に戻してください。
- ワンセグおよびサービスエリアの詳細については、Dpa（社団法人デジタル放送推進協会）の下記のホームページをご覧ください。
  http://www.dpa.or.jp/
  （サイトをご覧いただくには、インターネットに接続しておく必要があります。）
- ビデオ転送することができるのは、"メモリースティック PRO デュオ"のみです。
  その他の"メモリースティック"には転送できません。

## 基本設定を行う

「VAIO モバイル TV」ソフトウェアでワンセグを視聴するためには、その地域で放送されている放送局（チャンネル）を含んだチャンネルリストを作成する必要があります。
そのため、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを使用する前には、必ずチャンネルリストを作成してセットアップを完了させてください。

### チャンネルリストの作成

あらかじめ用意されているチャンネルリストから選択するか、受信できるチャンネルを自動検出してチャンネルリストを作成するかを選んでください。

#### あらかじめ用意されているチャンネルリストから選択するには

いくつかの地域のチャンネルリストがあらかじめ用意されています。
ご使用になる場所や地域に該当するチャンネルリストを選んでください。該当する場所や地域のチャンネルリストがない場合は、あらたにチャンネルリストを作成してください。

**1** **（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO モバイル TV]をクリックする。**

**2** **VAIO モバイル TV起動時に表示された画面で、[OK]をクリックする。**

「チャンネルリストの作成」画面が表示されます。

**3** **[チャンネルリストの選択]をクリックする。**

「あらかじめ用意されているチャンネルリストから選択」画面が表示されます。

**4** **「チャンネルリスト」ドロップダウンリストから該当する場所や地域を選択する。**

選択された地域のチャンネル一覧が表示されます。

**5** **[選択]をクリックする。**

「チャンネルリストの保存」画面が表示されます。

## 6 「チャンネルリスト名」入力欄に、チャンネルリストの名前を入力する。

ヒント
チャンネルリスト名は、次のような地域や種類が識別できる名前にすると便利です。
（例）

- 東京（会社）
- 大阪の実家

！ご注意
アルファベットの大文字と小文字は区別されません。

## 7 [保存]をクリックする。

チャンネルリストが作成され、セットアップが完了します。

！ご注意
あらかじめ用意されているチャンネルリストから選択しても、場所や地域によっては受信できるはずのチャンネルが表示されない場合があります。また、近隣地域によっても受信できるはずのチャンネルが表示されない場合があります。その場合は、ご使用になる場所や地域でチャンネルリストを新たに作成するか、再検出を行って、お好みのチャンネルリストを作成してください。

### あらたにチャンネルリストを作成するには

ご使用になる場所や地域で受信できるチャンネルリストを自動検出します。

## 1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO モバイル TV]をクリックする。

## 2 VAIO モバイル TV起動時に表示された画面で[OK]をクリックする。

「チャンネルリストの作成」画面が表示されます。

## 3 [自動検出]をクリックする。

「チャンネルの自動検出」画面が表示されます。

## 4 [開始]をクリックする。

受信可能なチャンネルの自動検出を開始します。
検出が完了または検出を中断すると、検出結果の画面が表示されます。

ヒント

- 自動検出が完了するまでには、数分かかる場合があります。
- 期待するチャンネルが検出できなかった場合は、窓際や屋上などの電波が届きやすい場所で再検出を行ってください。
  検出されなかったチャンネルのみ自動検出し、チャンネルを追加します。
- チャンネルの並び順を変更したり、チャンネルを有効／無効にしたりすることで、お好みのチャンネルリストを作成することができます。

## 5 「チャンネルリスト名」入力欄に、チャンネルリストの名前を入力する。

ヒント

チャンネルリスト名は、次のような地域や種類が識別できる名前にすると便利です。
（例）

- 東京（会社）
- 大阪の実家

！ご注意

アルファベットの大文字と小文字は区別されません。

## 6 [作成]をクリックする。

チャンネルリストが作成され、セットアップが完了します。

ヒント

チャンネルが1つも検出されなかった場合は、窓際や屋上などの電波が届きやすい場所で再度チャンネルの自動検出を行ってください。

## VAIO モバイル TVの表示モード

VAIO モバイル TVには、3つの表示モードがあります。

- 固定モード
- フロートモード
- 全画面モード

### ❑ 固定モード

デスクトップ上の左端または右端にサイドバーを表示します。
他の作業をしながらワンセグを楽しむときに便利です。

ヒント

- ［アイコン］をクリックするか、メニューの［固定モード］を選択すると、固定モードに表示が切り替わります。
- メニューの［配置］から［左端］または［右端］を選択すると、サイドバーの配置が切り替わります。
- 映像または字幕表示上にマウスポインタを重ねるかクリックすると、操作パネルが表示されます。
- データ放送表示時は、［テレビ一覧］や［ビデオ一覧］ボタンをクリックすると、それぞれの一覧が表示されます。
- データ放送非表示時は、［テレビ一覧］や［ビデオ一覧］タブを選択すると、一覧の表示が切り替わります。

### ❑ フロートモード

映像・字幕・データ放送を別ウィンドウで表示します。
お好みの位置に配置したり、お好みの大きさでワンセグを楽しむときに便利です。
また、サイドバーにはチャンネル一覧や録画したビデオの一覧が表示され、自動的に隠すよう設定することもできます。設定について詳しくは、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

**ヒント**

- [アイコン] をクリックするか、メニューの[フロートモード]を選択すると、フロートモードに表示が切り替わります。
- メニューの[常に手前に表示]を選択すると、他のウィンドウが重なっても、「VAIO モバイル TV」画面が手前に表示されます。
- 映像・字幕・データ放送のいずれかの表示上にマウスポインタを重ねると、操作パネルが表示されます。
- 隠されているサイドバーを表示するためには、操作パネルの 一覧 をクリックしてください。

### ❑ 全画面モード

映像・字幕・データ放送を全画面で表示します。
ワンセグだけを楽しむときに便利です。

**ヒント**

- [アイコン] をクリックするか、メニューの[全画面モード]を選択すると、全画面モードに表示が切り替わります。
- 映像表示上をクリックすると、操作パネルが表示されます。
- 隠されているサイドバーを表示するためには、操作パネルの 一覧を表示 をクリックしてください。

## 起動と終了

### 起動するには

「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを起動するには、 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO モバイル TV]をクリックします。

ヒント

- 「VAIO モバイル TV」ソフトウェアをはじめて起動した場合は、セットアップの画面が表示されます。(87ページ)
- デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックし、表示されるメニューから[VAIO モバイル TVの起動]を選択しても起動することができます。

### 終了するには

「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを終了するには、サイドバーまたはプレーヤー上部の をクリックします。
この場合、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアは通知領域に常駐し続けます。

ヒント

- デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックし、表示されるメニューから[VAIO モバイル TVの終了]を選択しても終了することができます。
- 常駐している「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを完全に終了するときは、デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックし、表示されるメニューから[VAIO モバイル TVを完全に終了]を選択してください。

！ご注意
「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを完全に終了すると、予約録画は実行されません。

## チャンネルを切り替えるには

サイドバーで[テレビ一覧]ボタンまたは[テレビ一覧]タブをクリックし、表示されたチャンネルの一覧からチャンネルをクリックします。

各チャンネルには、現在放送中の番組名が表示されます。ただし、各チャンネルの番組情報が取得できない場合は、番組名は表示されません。

**ヒント**

- [詳細情報を表示] をクリックすると、視聴中の番組の詳細情報を表示します。
- [番組情報取得] をクリックすると、すべてのチャンネルの番組情報を取得します。ただし、番組情報は放送によって取得できない場合があります。
- 各チャンネルの [i] が表示されている場合、[i] をクリックすると、そのチャンネルの番組リストを表示します。
- フロートモードおよび全画面モードの場合、操作パネルのドロップダウンリストからチャンネルを切り替えることもできます。

## 録画する

番組をハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに録画することができます。

録画したいチャンネルを選局し、[●] をクリックします。

**ヒント**

- 番組をまたいで録画した場合、番組ごとのビデオファイルが保存されます。
- 録画したビデオファイルの容量は、1時間あたり約185 MBです。
  ただし、番組によって異なる場合があります。
- 録画保存先は、セットアップ時に自動的に設定されます。
  録画保存先を変更する場合は、設定画面にて行ってください。設定画面について詳しくは、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

### 録画を停止するには

録画を停止する場合は、[■] をクリックします。

**ヒント**

録画中にVAIO モバイル TVを終了しても、録画は継続されます。

**！ご注意**

録画中に本機をスリープまたは休止状態に移行すると、録画を終了してスリープまたは休止状態に移行します。
スリープまたは休止状態に移行する前に録画が行われているかを確認することをおすすめします。

## 録画した番組を再生する

録画した番組（ビデオ）を再生します。
サイドバーで[ビデオ一覧]ボタンまたは[ビデオ一覧]タブをクリックし、表示されたビデオの一覧から見たい番組をダブルクリックします。

ヒント
- ドロップダウンリストで選択された項目に該当するビデオを表示します。
- 詳細情報を表示 をクリックすると、選択されたビデオの詳細情報を表示します。
- ビデオの一覧からダブルクリックして再生すると、先頭から再生されます。
- 現在録画中の番組も再生することができます。

### ビデオ再生の操作について

ビデオの操作は、プレーヤーの操作ボタンで行います。

- ▶ ／ ❚❚ ：
  再生を開始します。再生中にクリックすると、一時停止します。
- ■ ：
  再生を停止します。▶ をクリックすると、続きから再生されます。
- ◀◀ ／ ▶▶ ：
  早戻し／早送りをします。押すたびに「5倍速」「20倍速」「100倍速」と倍速が変わります。

ヒント
時間バーをスライドさせて、任意の位置から再生することができます。
また、時間バー上をクリックすると、クリックした位置により現在の再生位置から前または後ろに30秒スキップします。CM部分の再生を飛ばすときなどに便利です。

## ビデオを削除する

ビデオ一覧から不要なビデオを削除することができます。

### 1 サイドバーで[ビデオ一覧]または[ビデオ一覧]タブをクリックする。

ビデオ一覧が表示されます。

### 2 削除したいビデオを選択して表示される▼をクリックする。

### 3 表示されたメニューから[削除]を選択する。

確認画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
選択したビデオが削除されます。

**ヒント**

Ctrlキーを押しながら複数のビデオを選択して、一度にまとめて削除することもできます。

**!ご注意**

- 録画中のビデオは削除することができません。録画が終了してから削除してください。
- メモリースティック転送ツールの転送候補に存在するビデオをビデオ一覧から削除すると、転送候補のビデオも削除されます。
  ビデオを削除する場合は、転送候補のビデオに削除しようとしているビデオが存在しないか確かめてから行ってください。
  メモリースティック転送ツールについて詳しくは、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

## 字幕やデータ放送を表示する

字幕やデータ放送を表示することができます。
メニューから、表示させたい項目をクリックしてください。

### ❑ 字幕表示

字幕は映像と重ならない位置に表示されます。

**! ご注意**
字幕が表示されるのは、字幕放送を行っている番組のみです。

### ❑ データ放送表示

番組に連動した情報や天気予報などの情報を楽しむことができます。

**! ご注意**

- データ放送が表示されるのは、データ放送の情報を含む番組のみです。
- ビデオのデータ放送は、録画した番組に連動した情報や天気予報などの情報であり、情報が古い可能性があります。

**ヒント**

- データ放送の種類によっては、インターネットに接続しておくことでさらに楽しめる場合があります。
- データ放送の種類によっては、キーボードで操作できる場合があります。
  ポインティング・デバイスで操作できない場合は、キーボードで操作してください。
  キーの割り当ては下記のとおりです。

| 機能 | キー |
| --- | --- |
| 決定 | Enter |
| 戻る | EscまたはBackspace |
| * | * |
| # | # |
| 0～9の数字 | 0～9 |
| 上下左右 | 矢印（↑↓←→） |

## テレビを高度な使いかたで楽しむ

テレビを視聴中に一時停止して、後から視聴したり、前のシーンにさかのぼって視聴することができます。

「テレビ視聴中はいつでもさかのぼって視聴出来るようにする」の設定によって、楽しみかたが異なります。

**ヒント**
「テレビ視聴中はいつでもさかのぼって視聴出来るようにする」の設定は、設定画面で行います。
① **メニューから[設定]をクリックする。**
② **設定画面で[さかのぼり]タブをクリックする。**
表示された画面で「テレビ視聴中はいつでもさかのぼって視聴出来るようにする」の設定をしてください。

### ❏ 無効の場合

- テレビを視聴中に [II] をクリックすると、テレビの映像が一時停止します。
- 一時停止している状態で [▶] をクリックすると、一時停止した場所からテレビ視聴が再開され、後からテレビを視聴できます。
- 後からテレビを視聴している状態で [■] をクリックすると、現在放送中のテレビ視聴に戻ります。
- 後からテレビを視聴している状態で [●] をクリックすると、視聴中の番組を内蔵記憶装置に録画できます。

**ヒント**
テレビを視聴中に一時停止した場合は、その時点から一時的に録画を開始します。現在放送中のテレビ視聴に戻ったりチャンネルを切り替えた場合は、一時的に録画された番組は自動的に削除されます。

### ❏ 有効の場合

テレビを視聴中に、いつでも前のシーンにさかのぼって視聴することができます。

- テレビを視聴中に [◀◀] をクリックすると、前のシーンに早戻しします。
- 早戻ししている状態で [▶] をクリックすると、クリックした場所からテレビ視聴が再開され、前のシーンにさかのぼってテレビを視聴できます。
- 前のシーンにさかのぼってテレビを視聴している状態で [■] をクリックすると、現在放送中のテレビ視聴に戻ります。
- 前のシーンにさかのぼってテレビを視聴している状態で [●] をクリックすると、視聴中の番組をハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに録画できます。

**ヒント**
- 「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを起動している間、常に一時的に録画します。
- さかのぼることができる番組数を設定できます。設定した番組数より以前の一時的に録画された番組は、自動的に削除されます。
- チャンネルを切り替えると、それ以前に一時的に録画された番組は自動的に削除され、切り替えたチャンネルの番組の一時的な録画を再開します。

## 録画予約する

ワンセグを録画予約することができます。
録画予約には、便利な機能があります。

- 録りきり録画機能
  予約録画の終了時刻時点で放送されている番組が終了するまで録画し続ける機能です。

  ヒント
  録画予約ごとに録りきり録画機能の有効／無効を設定することができます。
- 重複予約機能
  録画予約の時間が重なっていても予約を設定することができる機能です。

  ヒント
  - 録画予約が重なった場合は、予約録画の開始時刻が早いものが優先されます。
  - 予約録画の開始時刻が同じ場合は、先に設定した録画予約が優先されます。

### 録画予約のしかた

録画予約には以下の3つの方法があります。

- 番組詳細情報から録画予約する
  放送から取得した番組詳細情報から録画予約を行います。
  チャンネル一覧から録画したいチャンネルの i をクリックし、番組詳細情報を表示します。
- インターネット番組表から録画予約する
  インターネット番組表から録画予約を行います。
  「予約管理ツール」を起動して、[インターネット番組表]をクリックしてテレビ番組情報サイトを表示します。

  ！ご注意
  - インターネット番組表から録画予約を行う場合は、インターネットに接続しておく必要があります。
  - インターネット番組表は実際の放送内容と異なる場合があります。
- 日時を指定して録画予約する
  「予約管理ツール」を使用して録画予約を行います。
  デスクトップ画面右下の通知領域にある をクリックして表示されたメニューから[予約管理ツールの起動]を選択して「予約管理ツール」を起動します。

録画予約について詳しくは、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ヒント
- 「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを起動していない場合でも、予約録画は実行することができます。
- 番組をまたいで録画予約した場合、番組ごとにビデオファイルが保存されます。

**！ご注意**

- 「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを完全に終了すると、予約録画は実行されません。
- バッテリ駆動時でも予約録画を実行するためには、設定を変更する必要があります。
- 電波が受信しにくい場所では、録画できない可能性があります。予約録画を実行するときには、電波が受信しやすい場所に本機を設置しておくことをおすすめします。
- 予約録画を実行するときに、予約したチャンネルが登録されていない場合は、録画予約できません。チャンネルリストを変更する場合はご注意ください。
- 録画予約を設定していても、予約録画の開始時刻になったときに本機の電源が切れていると予約録画は実行されません。
  予約録画の開始時刻前には本機の電源は切らずに、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを終了してスリープまたは休止状態にしてください。
- 予約録画準備中または予約録画中に本機をスリープに移行すると、予約録画が終了したあとにスリープに移行します。ただし、バッテリ駆動時は予約録画が途中でも予約録画を終了してスリープに移行します。
  予約録画準備中または予約録画中に本機をスリープに移行しないことをおすすめします。
- 予約録画準備中または予約録画中に本機を休止状態に移行しないでください。予約録画が途中でも予約録画を終了して休止状態に移行します。

## 録画したビデオを転送する

ビデオの“メモリースティック デュオ”への転送は、ビデオ一覧から行います。

**！ご注意**

はじめて転送する場合は、あらかじめメモリースティック転送ツールから転送先の選択を必要とすることがあります。転送について詳しくは、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

### 1 サイドバーで[ビデオ一覧]または[ビデオ一覧]タブをクリックする。

ビデオ一覧が表示されます。

### 2 転送したいビデオを選択して表示される▼をクリックする。

## 3 表示されたメニューから[メモリースティックへ転送]を選択する。

ビデオの転送が開始されます。

“メモリースティック デュオ”へのビデオ転送について詳しくは、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

**ヒント**

- Ctrlキーを押しながら複数のビデオを選択して、一度にまとめて転送することもできます。
- 1時間のビデオを転送するのに約200 MBの容量が必要になります。
  “メモリースティック デュオ”に十分な空き容量があることを確認してからビデオを転送してください。
- 選択したビデオは、メモリースティック転送ツールで選択した転送先に転送されます。
  転送先を変更したい場合は、メモリースティック転送ツールで事前に変更してください。

**！ご注意**

- 録画中のビデオは転送することができません。録画が終了してから転送を行ってください。
- 受信状態が悪かったビデオは転送できない場合があります。
- 番組名で使用されている特殊文字は、“メモリースティック デュオ”に転送すると表示できません。
  空白または[天]や[N]などに置換されます。

### 制限事項

- 「VAIO モバイル TV」ソフトウェアの起動中にディスプレイの設定を変更しないでください。
- 録画中に本機をスリープまたは休止状態にすると、録画を終了してスリープまたは休止状態に移行します。
  スリープまたは休止状態に移行する前に録画が行われているか確認することをおすすめします。
- 予約録画準備中または予約録画中に本機をスリープに移行すると、予約録画が終了したあとにスリープに移行します。ただし、バッテリ駆動時は予約録画が途中でも予約録画を終了してスリープに移行します。
  予約録画準備中または予約録画中に本機をスリープに移行しないことをおすすめします。
- 予約録画準備中または予約録画中に本機を休止状態に移行しないでください。予約録画が途中でも予約録画を終了して休止状態に移行します。
- 録画開始後5秒間は、録画中のビデオを再生することはできません。
  テレビ視聴中の一時停止などによる一時的な録画についても同様の制限があります。
- テレビ番組の録画中は、他のソフトウェア（スクリーンセーバーなどの常駐プログラムを含む）を起動するなど、コンピュータのCPUやハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに負荷がかかる操作をしないでください。録画に失敗することがあります。
- 「VAIO モバイル TV」ソフトウェアでテレビ視聴中に本機液晶ディスプレイとテレビに同時表示すると、映像は停止します。
- ワンセグの音声は、Bluetooth機能で通信するスピーカーやヘッドホンなどからは出力できません。

- ビデオを転送することができるのは、“メモリースティック PRO デュオ”のみです。
  その他の“メモリースティック”には転送できません。
- ビデオの転送中に“メモリースティック デュオ”を抜かないでください。
  データが失われる可能性があります。
- ビデオの転送中に本機をスリープや休止状態に移行させたり、本機の電源を切ったりした場合は転送を中止します。
  転送が終了してから、本機をスリープや休止状態にしたり、本機の電源を切ったりしてください。
- 緊急警報放送による自動起動には対応していません。
- Windows起動時や休止状態からの復帰時に、デバイス接続／切断を知らせる効果音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
  次の設定をすることで効果音は鳴らなくなります。ただし、ほかの機器を認識したときも効果音が鳴らなくなりますのでご注意ください。

  1) (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
  2) [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
  3) [システムが出す音の変更]をクリックする。
  4) [サウンド]タブをクリックし、「プログラム イベント」のリストから[デバイスの接続]を選択する。
  5) 「サウンド」のドロップダウンリストから[(なし)]を選択する。
  6) 同様に「プログラム イベント」のリストから[デバイスの切断]を選択し、「サウンド」のドロップダウンリストから[(なし)]を選択する。
  7) [OK]をクリックして、「サウンド」画面を閉じる。

# セキュリティ

# 「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続などによる被害からコンピュータを守るためには、あらかじめきちんと対策しておく必要があります。本機には、「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされており、前述の危険からコンピュータを適切に保護することができます。ただし、「Norton Internet Security」ソフトウェアは初期設定を行うまでは動作しないため、Windowsのセットアップの終了後にあわせて設定を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定は、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Norton Internet Security]－[Norton Internet Security]をクリックし、「Norton Internet Security」画面上部に表示される[続行]をクリックして表示される「Norton Internet Security」設定画面にて行えます。

**ヒント**

- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行う前に、あらかじめインターネットに接続してください。インターネットに接続されていない場合、最新のデータを利用することができません。インターネットの接続については「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行っていない状態で本機の起動回数が2回目以降になると、起動直後に「Norton Internet Security」設定画面が表示されます。

## 1 「Norton Internet Security」の設定をする。

① 「Norton Internet Security」設定画面で[次へ]をクリックする。
使用許諾画面が表示されます。
設定の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

② 内容を確認し、[同意する]をクリックする。

③ [90日の更新サービスを続ける]を選択して、[次へ]をクリックする。
アカウント画面が表示されます。

［90 日の更新サービスを続ける］が表示されず、アクティブ化画面が表示された場合は

- 本機ご購入の際に、15 ヶ月または24 ヶ月版を選択された場合はアクティブ化画面が表示されます。画面の指示に従ってアクティブ化を行ってください。
- アクティブ化をキャンセルして、後で設定することもできます。キャンセルした場合は、手順3に進んでください。
  また、15日以内に「Norton Internet Security」ソフトウェアを起動し、画面上部に表示される［今すぐにアクティブにする］をクリックして、再度アクティブ化を行ってください。

## 2 アカウントを作成する。

① ［Norton アカウントの作成］を選択して必要な情報を入力後、［次へ］をクリックする。

ヒント

- 電子メールアドレスをお持ちでない場合や後で登録したい場合は、何も入力せずに［次へ］を数回クリックしてください。表示された［スキップ］をクリックして次の画面に進みます。
- すでにアカウントをお持ちの場合は、［既存のNorton アカウントにサインインする］を選択し、電子メールアドレスとパスワードを入力してください。

② 表示された内容を確認して、［完了］をクリックする。
更新サービスの残り期限が日数表示されます。

ヒント

本機ご購入の際に、15 ヶ月または24 ヶ月版を選択された場合も、残り期限が日数で表示されます。

設定が終わると、「LiveUpdate」に進みます。

## 3 「LiveUpdate」で最新版に更新する。

インターネットに接続して「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新します。
画面に表示される指示に従って操作してください。

！ご注意

- 「LiveUpdate」によって「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新する場合、インターネットへの接続が必要です。
- インターネットに接続できない場合は、［キャンセル］をクリックしてください。［キャンセル］をクリックした場合、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されないため、新種のコンピュータウイルスなどに対応することができません。

## 「LiveUpdate」でエラー画面が表示される場合

まずは、インターネットに接続しているか確認してください。
「LiveUpdate」を行うには、インターネット接続が必要です。インターネットに接続してから、再度「LiveUpdate」を行ってください。

## 「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後に表示される警告について

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後、いくつか警告が表示されます。警告の意味と対処方法は以下のとおりです。

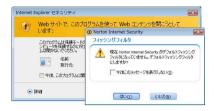
### ❑ 「要注意」画面、「リスクあり」画面

「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新やコンピュータウイルスの詳細な検査が長期間行われていないときや、設定がセキュリティ上不適切なものになっていると表示されます。初期設定時以外で表示されたときは[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

**ヒント**

初期設定時の「LiveUpdate」が終了すると「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面左に表示されるセキュリティの状態が「要注意」または「リスクあり」になっている場合は、[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

### ❏「Internet Explorer セキュリティ」画面、「フィッシングフィルタ」画面

「Norton Internet Security」設定後、インターネットエクスプローラを起動するとメッセージが表示されます。メッセージに許可をし、フィッシング詐欺サイト対策機能を有効にします。

更新サービスの期限が切れてしまった場合は、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されません。そのため、新種のウイルスや脅威から本機を保護することができなくなります。
「Norton Internet Security」ソフトウェアのプロダクトキーを別途購入されることをおすすめします。

**「Norton Internet Security」ソフトウェアについてのお問い合わせは以下となります。**

| シマンテック<br>SONYユーザ様用サービスページ(ユーザー登録・サポート登録・更新方法・技術的なご質問)<br>ホームページ:http://www.symantec.co.jp/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/ |
|---|

# ハードディスク保護機能を設定する

ハードディスク保護機能について設定します。

**!ご注意**
ハードディスク保護機能は、ハードディスクドライブ搭載モデルにのみ機能します。

## 1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオの設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

## 2 [セキュリティ]ー[ハードディスクドライブ保護の設定]をダブルクリックする。

設定画面が表示されます。

## 3 ハードディスクドライブ保護の機能を有効にするか選択する。

- 有効にする場合:チェックボックスをチェックします。
- 無効にする場合:チェックボックスのチェックをはずします。

## 4 ハードディスクドライブ保護機能を有効にした場合は、以下のいずれかから保護レベルを選択する。

- 感度低(動作優先)
- 感度中(標準設定)
- 感度高(保護優先)

**!ご注意**
- ハードディスクドライブ保護機能は、すべての状況においてハードディスクドライブの破損防止やデータ保護を保証するものではありません。
- Windowsが起動するまで、および休止状態やスリープモードへの移行中、復帰中、シャットダウン中は保護機能が働きません。

# パスワードについて

本機では、Windowsパスワード、パワーオン・パスワード（起動時のパスワード）とハードディスク・パスワードを設定することができます。

## Windowsパスワードについて

Windowsのパスワードを設定することで、パスワードを知っているユーザーだけがWindowsにアクセスできるようにすることができます。
本機を複数のユーザーで使用するときなどに便利です。
Windowsパスワードの設定については121ページをご覧ください。

**！ご注意**
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

**ヒント**
- パスワードを忘れてしまったときのために、ヒントを設定したり、パスワードリセットディスクを作成することができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
- Windowsパスワードは、Windowsログオン画面で入力します。
- Windowsパスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## パワーオン・パスワードについて

パワーオン・パスワードを設定することで、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使用するようにできます。
大切なデータを守りたいときなどに便利です。
パワーオン・パスワードには、以下の2種類があります。

- **マシンパスワード（管理者用）**
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  マシンパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面でのすべての設定が可能になります。
- **ユーザーパスワード（管理者以外のユーザー用）**
  本機の管理者以外のユーザー用パスワードです。
  ユーザーパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面での一部の設定が可能になります。
  マシンパスワードが設定されていないと、ユーザーパスワードを設定することはできません。

パワーオン・パスワードの設定手順については112ページをご覧ください。

**！ご注意**

- パワーオン・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- パワーオン・パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
  – ユーザーパスワードを忘れた場合
    マシンパスワードを入力することでBIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  – マシンパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することはできません。
    修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

**ヒント**

- パワーオン・パスワードは、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあとに入力します。
- パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## ハードディスク・パスワードについて

ハードディスク・パスワードは、フラッシュメモリー搭載モデルでも使用することができます。

ハードディスク・パスワードを設定することで、本機以外のパソコンでハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを不正使用することを防止できます。
ハードディスク・パスワードには、以下の2種類があり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを保護するためには、必ず両方のパスワードを設定する必要があります。

- **マスターパスワード（管理者用）**
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  ユーザーパスワードを忘れたときなどに、マスターパスワードでユーザーパスワードの設定を解除することができます。
  このパスワードでは本機を起動することはできません。
- **ユーザーパスワード**
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにロックをかけるためのパスワードです。
  設定を行うと、起動時にユーザーパスワードの入力が必要になります。

ハードディスク・パスワードの設定手順については116ページをご覧ください。

**!ご注意**

- この機能は、企業内など特別にセキュリティが求められる環境での使用を想定しています。
  設定をする場合は、「コンピュータの管理者」などの指示に基づいて行うなど、特にご注意ください。
- ハードディスク・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  ハードディスク・パスワードを忘れると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータが二度と使用できなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
    ユーザーパスワードを再設定しない限りハードディスクやまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを使用できなくなり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをリカバリすることもできません。
    また、本機を起動することもできなくなり、CD／DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
  - マスターパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することができなくなります。
    ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理（有償）が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
  - ハードディスク・パスワードを忘れたことによる不都合については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ハードディスク・パスワードは本機内蔵のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのみに有効です。
  外付けのハードディスクに対しては機能しません。
- ハードディスク・パスワードを設定すると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを本機以外のパソコンに取り付けた際に、データの読み書きができないよう保護機能が働きますが、完璧に保護できるという保証ではありません。

**ヒント**

- ハードディスク・パスワード（ユーザーパスワード）は、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあとに入力します。パワーオン・パスワードを設定している場合は、両方を入力することで本機を使用することができます。
- ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

# パワーオン・パスワードを設定する

BIOSの機能でパワーオン・パスワードを設定します。
本機を起動してVAIOのロゴマークが表示された後に、設定したパスワードを入力することにより、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使えるようにできます。
パワーオン・パスワードには、通常ユーザーが利用するユーザーパスワードと、BIOS設定の変更ができるマシンパスワードの2種類があります。

**！ご注意**

- **パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、本機を起動することができなくなります。**
  パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
- パスワードの入力は、本体キーボードで行ってください。
  「NextText」ソフトウェアではパスワードを入力することはできません。

**ヒント**

パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## パワーオン・パスワードを登録する

### マシンパスワード

**ヒント**

パワーオン・パスワード（ユーザーパスワード）を設定するには、パワーオン・パスワード（マシンパスワード）の設定が必要です。

**1　本機の電源を入れる。**（46ページ）

**2　VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、Fnキーを押しながらF2キーを数回押してください。

**3　←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。**

パスワード入力画面が表示されます。

## 4 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

**ヒント**
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

引き続き、本機を起動したときやBIOSセットアップ画面を表示するときに、パスワードの入力を要求する画面が表示されるように設定を行います。

## 5 「Security」項目の[Password when Power On]を選択する。

スペースキーを押して[Disabled]から[Enabled]に変更します。

## 6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

### ユーザーパスワード

**ヒント**
パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を設定するには、パワーオン・パスワード(マシンパスワード)の設定が必要です。

## 1 本機の電源を入れる。(46ページ)

## 2 VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、Fnキーを押しながらF2キーを数回押してください。

## 3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

## 4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

## 5 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

## 6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

# パワーオン・パスワードを変更する／削除する

### マシンパスワード

## 1 本機の電源を入れる。(46ページ)

## 2 VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、Fnキーを押しながらF2キーを数回押してください。

## 3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

## 4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

## 5 現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

[Enter Current Password]に現在のパスワードを、[Enter New Password]と[Confirm New Password]に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、[Enter New Password]と[Confirm New Password]には何も入力せずにEnterキーを押してください。

**6** ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

### ユーザーパスワード

**1** 本機の電源を入れる。(46ページ)

**2** VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、Fnキーを押しながらF2キーを数回押してください。

**3** 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力する。

**4** ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

**5** 現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

[Enter Current Password] に現在のパスワードを、[Enter New Password]と[Confirm New Password]に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、[Enter New Password]と[Confirm New Password]には何も入力せずにEnterキーを押してください。

**6** ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

# ハードディスク・パスワードを設定する

ハードディスク・パスワードは、内蔵フラッシュメモリー搭載モデルでも使用することができます。

BIOSの機能でハードディスク・パスワードを設定します。
設定したパスワードを入力することにより、本機以外のパソコンでハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを不正使用することを防止できます。

**！ご注意**

- **パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータが使用できなくなります。**
  パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理(有償)が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
- パスワードの入力は、本体キーボードで行ってください。
  「NextText」ソフトウェアではパスワードを入力することはできません。

**ヒント**

- お買い上げ時の状態では、ハードディスク・パスワードは設定されていません。
  「ハードディスク・パスワードについて」(110ページ)をお読みになり、不用意に設定することのないようにしてください。
  また、パスワードを無断で設定・変更・無効化されることのないよう、BIOSセットアップ画面を操作中は本機から離れないでください。
- ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## ハードディスク・パスワードを登録する

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に登録します。

**1　本機の電源を入れる。(46ページ)**

**2　VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、Fnキーを押しながらF2キーを数回押してください。

**ヒント**

パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

## 3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

## 4 [Enter Master and User Passwords]を選択してEnterキーを押す。

警告画面が表示されるので、[Continue]を選択してEnterキーを押してください。

## 5 マスターパスワードを入力してEnterキーを押し、続けてユーザーパスワードを入力してEnterキーを押す。

**!ご注意**
マスターパスワードとユーザーパスワードはそれぞれ2度ずつ入力する必要があります。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

**ヒント**
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

## 6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

## ハードディスク・パスワードを変更する

### マスターパスワード

## 1 本機の電源を入れる。(46ページ)

## 2 VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、Fnキーを押しながらF2キーを数回押してください。

**ヒント**
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

**3** ←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Hard Disk Password］を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

**4** ［Change Master Password］を選択してEnterキーを押す。

**5** 現在のパスワードを入力してEnterキーを押し、新しいパスワードを入力してEnterキーを押す。

**！ご注意**
新しいパスワードは2度入力する必要があります。

［Enter Current Hard Disk Master Password］に現在のパスワードを、［Enter New Hard Disk Master Password］と［Confirm New Hard Disk Master Password］に新しいパスワードを入力します。
「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

**6** Escキーを押してから、←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

### ユーザーパスワード

**1** 本機の電源を入れる。（46ページ）

**2** VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、Fnキーを押しながらF2キーを数回押してください。

**ヒント**
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

**3** ←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Hard Disk Password］を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

## 4 ［Change User Password］を選択してEnterキーを押す。

## 5 現在のパスワードを入力してEnterキーを押し、新しいパスワードを入力してEnterキーを押す。

**！ご注意**
新しいパスワードは2度入力する必要があります。

［Enter Current Hard Disk User Password］に現在のパスワードを、［Enter New Hard Disk User Password］と［Confirm New Hard Disk User Password］に新しいパスワードを入力します。
「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

## 6 Escキーを押してから、←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

### ハードディスク・パスワードを削除する

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に削除します。

## 1 本機の電源を入れる。（46ページ）

## 2 VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、Fnキーを押しながらF2キーを数回押してください。

**ヒント**
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

## 3 ←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Hard Disk Password］を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

## 4 [Enter Master and User Passwords]を選択してEnterキーを押す。

## 5 [Enter Current Hard Disk Master Password]に現在のマスターパスワードを入力し、他の項目は何も入力せずにEnterキーを押す。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

## 6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

# Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
設定したパスワードは、ログオン画面でユーザー名を選択したあとに入力します。
Winsowsパスワードは、本機を複数のユーザーで使用している場合に便利です。

**！ご注意**

- Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- パスワードの入力は、本体キーボードで行ってください。
  「NextText」ソフトウェアではパスワードを入力することはできません。

**ヒント**

- Windowsパスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
- ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

## Windowsパスワードを登録する

**1** （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

**2** [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

**3** [ユーザー アカウント]をクリックする。

**4** [アカウントのパスワードの作成]をクリックする。

**5** 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

**ヒント**
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

**6** [パスワードの作成]をクリックする。

**ヒント**
「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」画面が表示された場合は、用途にあわせて[はい、個人用にします]または[いいえ]をクリックしてください。

**ヒント**
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワード リセット ディスクを作成することができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

## Windowsパスワードを変更する／削除する

### Windowsパスワードを変更するには

**1** (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

**2** [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

**3** [ユーザー アカウント]をクリックする。

**4** [パスワードの変更]をクリックする。

**5** 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

**6**　「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

**ヒント**
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

**7**　[パスワードの変更]をクリックする。

### Windowsパスワードを削除するには

**1**　(スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

**2**　[ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

**3**　[ユーザー アカウント]をクリックする。

**4**　[パスワードの削除]をクリックする。

**5**　「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

**6**　[パスワードの削除]をクリックする。

# 指紋認証を使う

指紋情報を登録することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。また、指紋認証によって、便利な機能を使用することもできます。下記の「指紋認証でできること」をご覧ください。

ヒント
指紋の登録については、「指紋を登録するには」(128ページ)をご覧ください。

！ご注意
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。
  また、データやハードウェアの完全な保護を保証するものではありません。
  本機の指紋センサーを使用されたこと、または使用できなかったことによるいかなる障害・損害についても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋の認証率は、使用状況などにより異なります。また、個人差があります。
- 本機の修理などを行った場合、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化して返却する場合があります。その場合は、登録済みのお客様の指紋情報などを復元することはできませんのであらかじめご了承ください。
- 指紋認証機能に関するデータの保守・運用は、お客様にて行っていただきますようお願いいたします。指紋認証機能に関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 次のような場合は、指紋センサーの故障および破損の原因となることがあります。
  - 指紋センサーの表面を硬いものや先のとがったものなどで傷つけた場合
  - 泥などの汚れがついた指でスキャンするなど、細かい異物などで表面を傷つけた場合
- 冬期など特に乾燥する時期は、金属に触れて体の静電気を逃がしてからスキャンしてください。静電気で指紋センサーが故障するおそれがあります。

## 指紋認証でできること

本機では、指紋認証を使用して便利な機能を使用することができます。

！ご注意
指紋認証を使用するには、あらかじめ指紋を登録しておく必要があります。(128ページ)

### パスワードの解除

- **Windowsにログオンする**
  指紋が登録されているユーザーのアカウントに対して、Windowsログオン時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、Windowsにログオンすることができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

  ！ご注意
  指紋認証を使用してログオンする場合、通常の操作でログオンしてください。(Ctrlキー＋Altキー＋Deleteキーを押すことを促すメッセージを表示しないログオンを使用してください。)

  ヒント
  複数のユーザーで使用している場合でも、指紋が登録されているユーザーのアカウントに自動でログオンします。

- パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンする
  パワーオン・パスワード(112ページ)やハードディスク・パスワード(116ページ)を設定している場合は、システム起動時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、パスワードを解除することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

ヒント
これらのパスワード解除は、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

### パスワードバンク

Webページなどでのアカウントやパスワードなどの入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

ヒント
- パスワードバンクに登録した情報は、エクスポートやインポートすることもできます。
- アカウントやパスワードなどは、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

!ご注意
- パスワードバンクを利用するには、あらかじめ設定しておく必要があります。
- Webページによっては、パスワードバンク機能が正しく動作しない場合があります。

### File Safe

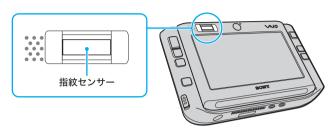
File Safe機能を用いて、ファイルやフォルダを暗号化して、暗号化アーカイブとして保存することができます。
指紋認証または暗号化した時に設定したパスワードを使用することで、暗号化したファイルやフォルダの暗号化を解除したり、暗号化したファイルやフォルダにアクセスできるようになります。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

### アプリケーションランチャー

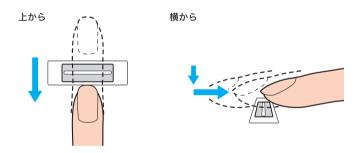
指紋センサーに指をスライドさせることで、関連付けられているアプリケーション(実行可能ファイル)を起動することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## 指紋をスキャンするには

指紋の登録や認証時のスキャンは、以下の手順で行います。

### 1 指の第一関節付近を指紋センサーの上に置く。

ヒント

- 指は指紋センサーの上に平たく置いてください。
- 指は指紋センサーの中央に置いてください。

### 2 指を直線状に手前に向かってスライドする。

！ご注意

- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 指のスライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できない場合があります。
1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

## 指紋をスキャンするときのご注意

### ❑ 指の状態について

指の状態が次のような場合は、指紋の登録／認証が困難になる場合があります。
なお、他の指を使用したり、手を洗うなどして通常状態に戻してから指紋認証を行うことで改善される場合もあります。

- 乾燥している場合
- 汗や脂が多かったり、濡れている場合
- お風呂上りなどで指がふやけている場合
- 手が荒れていたり、指にけが（切り傷など）をしている場合
- 汚れている場合
- 指紋が薄かったり、しわが多い場合　など

### ❑ スキャンについて

スキャンを行うときは、次の点にご注意ください。

- 指を指紋センサーの中央に平たく置いてください。
- 指の第一関節より上部をスキャンしてください。
- 指を指紋センサーに垂直な状態でスライドさせてください。
- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

### ❑ 指紋センサーのお手入れ

指紋センサーの表面の指紋やほこりが原因で、指紋認証率が低下したりする場合があります。

- 普段のお手入れは、柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛で取ってください。

# 指紋を設定する

## 指紋を登録するには

本機は指紋認証を行うことで、パスワードの入力を省略することができます。

**！ご注意**

- けがなどに備えて、複数の指を登録するようにしてください。
- 指紋の状態や使用状況などにより、指紋の登録ができない場合があります。
- 指紋はひとりに対して10個まで登録できます。ただし、パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンできる指紋は最大21個までとなります。また、パワーオンセキュリティで使用する指をあとから指定することもできます。

**ヒント**

指紋を登録する前に、Windowsのパスワードを設定してください。（121ページ）
Windowsパスワードについて詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

### 1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Protector Suite QL］－［コントロールセンター］をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

### 2 ［指紋］をクリックする。

### 3 ［初期化］をクリックする。

「指紋ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。

## 4 「使用許諾契約書」の内容を確認して、[使用許諾契約書に同意します]の◯をクリックして◉にし、[OK]をクリックする。

「ようこそ」画面が表示されます。

## 5 [次へ]をクリックする。

「終了」画面が表示されます。

## 6 「ハードディスクへの登録」が選択されていることを確認して[完了]をクリックする。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

**ヒント**
本機では、[バイオメトリックスデバイスへの登録]は選択できません。

## 7 [次へ]をクリックする。

「パスワード」画面が表示されます。

**ヒント**
Windowsのパスワードを設定していない場合は、メッセージが表示されます。
パスワードを設定してください。
① 「今パスワードを登録しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
② パスワードを2度入力し、[OK]をクリックする。

## 8 Windowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

「登録のヒント」画面が表示されます。

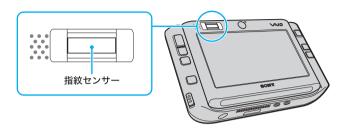
## 9 [対話型チュートリアルを実行する]チェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

「指紋チュートリアル」画面が表示されます。

## 10 内容をよく確認し、[次へ]をクリックする。

**ヒント**
この画面には、指紋スキャン時のヒントを表示しています。表示された内容をよくご確認ください。
また、[ビデオ再生]をクリックすると、動画で詳細を表示します。

## 11 スキャンテストを行う。

スキャンテストは4回行います。
手順10で確認した方法で、指紋センサーに指をスライドさせてください。

スキャンテストを4回行ってもうまくいかなかった場合は、[やり直し]をクリックして再度スキャンを行ってください。

ヒント

- スキャンの方法は「指紋をスキャンするには」(126ページ)でも紹介しています。
- テストは同じ指で行ってください。
- スキャンをやり直したい場合は、[やり直し]をクリックして再度スキャンを行ってください。

## 12 [次へ]をクリックする。

「登録」画面が表示されます。

## 13 登録する指を選択し、指紋を登録する。

① 登録したい指のボタンをクリックする。

② 登録する指の指紋を3回スキャンする。
スキャンを終了すると、「登録」画面に戻ります。

③ [次へ]をクリックする。

**ヒント**
複数の指を登録する場合は、この手順をくり返して行います。2本以上の指を登録することをおすすめします。

## 14 [完了]をクリックする。

## 15 [閉じる]をクリックする。

以上で指紋の登録は完了です。
本機の次回起動後や休止状態から復帰した場合は、パスワード入力の代わりに、登録した指を指紋センサーにスライドさせて認証を行うことができます。

### 指紋を追加登録する／編集するには

## 1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Protector Suite QL]ー[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

## 2 [指紋]をクリックする。

## 3 [指紋の登録、または編集]をクリックする。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

## 4 [次へ]をクリックする。

**5** 「Windowsパスワードを入力」欄にWindowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

ヒント
「指の読み取り」を行う場合は、Windowsのパスワードを入力せずに[次へ]をクリックしたあと、登録した指を指紋センサーにスライドさせてください。

**6** 「指紋を登録するには」の手順9以降の操作を行う。

ヒント
「指紋を登録するには」の手順12で、まだ登録していない指のボタンをクリックすると追加登録ができます。
また、すでに指紋が登録してある指のボタンをクリックすると削除することができます。

## 指紋を削除するには

コンピュータを廃棄あるいは第三者に譲渡するときなどには、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを消去した後、以下の手順に従って指紋センサー内の指紋データも同時に消去することを強くおすすめします。

**1** 本機の電源を入れる。

**2** VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、Fnキーを押しながらF2キーを数回押してください。

**3** ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で↓キーを押して[Clear Fingerprint Data]を選択してEnterキーを押す。

本機が再起動して、指紋センサー内に保存されている指紋データが消去されます。

# バックアップ／リカバリ

# バックアップについて

## バックアップとは

### バックアップの必要性

バックアップとは、コンピュータに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピュータウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

### バックアップの種類

データのバックアップは、「VAIO リカバリセンター」の「Windows バックアップと復元」で行います。（139ページ）
バックアップには用途に応じて以下の種類があります。

- ファイルのバックアップ
  本機に保存したメールや写真などファイルの種類ごとにデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  ファイルのバックアップの操作方法について詳しくは、「ファイルをバックアップするには」（140ページ）をご覧ください。
- **Complete PC** バックアップ（Windows Vista Ultimate／Business搭載モデル）
  コンピュータ全体のバックアップをすることができます。Complete PC バックアップを使ってバックアップしておくとハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。
  Complete PC バックアップの操作方法について詳しくは、「Complete PC バックアップでバックアップするには」（143ページ）をご覧ください。
- 復元ポイント
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。
  そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」（145ページ）をご覧ください。

ヒント
CD／DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD／DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。

**!ご注意**

- 本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- お買い上げ後はすぐにリカバリディスクを作成してください。本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリディスクにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。
  リカバリディスクの作成方法については、下記の「リカバリディスクを作成する」をご覧ください。

## リカバリディスクを作成する

### リカバリディスクについて

本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリには、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」(153ページ)をご覧ください。

**!ご注意**

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域の情報を書き替えてしまい、リカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリセンター」を使用しないでハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。

### リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html

* マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。(57ページ)

**！ご注意**

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータを自由に操作することができます。
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの暗号化機能を使うなどして保護してください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上の空き容量が少ない場合は、リカバリディスクを作成できません。

### リカバリディスクを作成するには

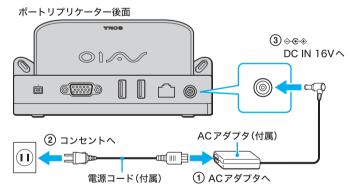
本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

**！ご注意**

リカバリディスクを作成される場合は、別売りの専用DVDスーパーマルチドライブなどが必要です。
本機を取り付けた付属または別売りのポートリプリケーターにドライブを取り付けてからリカバリディスクの作成を行ってください。

### ドライブを取り付けるには

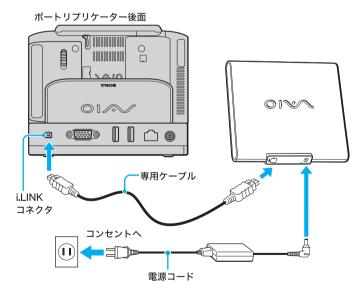
**① 本機および周辺機器の電源を切り、接続したすべての機器を取りはずす。**

**② 付属または別売りのポートリプリケーターをAC電源に接続する。**

**！ご注意**

ポートリプリケーターをご使用になるときは、必ずホルダを取り付けてください。

③ 本機を静かに装着する。

**！ご注意**
本機をポートリプリケーターに無理に押しつけたり、力を加えたりしないでください。故障の原因となります。

④ ドライブに付属の専用ケーブル（i.LINKケーブル）で本機とドライブをつなぐ。

## 1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

**ヒント**
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

## 2 画面左側の[リカバリディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

## 3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

## 4 使用するディスクを選択する。

**！ご注意**

- Blu-ray DiscまたはDVD-RAMはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
- お使いの機種によっては、CD-RまたはCD-RWでリカバリディスクを作成できない場合があります。その場合はDVDをお使いください。

## 5 [次へ]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

## 6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

**!ご注意**

- リカバリディスクの作成状況が表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

## 7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面（データが記録されていない面）に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了すると、リカバリディスク作成が終了したメッセージが表示されます。

## 8 [完了]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

## 「バックアップと復元センター」を使う

### 「バックアップと復元センター」について

「バックアップと復元センター」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。
「バックアップと復元センター」は次の手順で起動します。

## 1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

**ヒント**

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

## 2 画面左側の[Windows バックアップと復元]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

（Windows Vista Ultimate／Business搭載モデルをお使いの場合）

（Windows Vista Home Premium／Home Basic搭載モデルをお使いの場合）

### ファイルをバックアップするには

初めてファイルをバックアップする場合は、下記の手順でバックアップデータの保存先や作成するファイルの種類、スケジュールの設定などを行います。

## 1 「バックアップと復元センター」を起動する。

## 2 [ファイルのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

**ヒント**

「ファイルのバックアップ」画面が表示されない場合は、デスクトップ画面右下の通知領域に表示される[ファイル バックアップを実行中です]というメッセージをクリックしてください。

## 3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

バックアップデータの保存先は、以下の4種類から選択します。

- 外付けハードディスクドライブ(推奨)
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*
- ネットワーク上

* 本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。別のパーティション(D:ドライブなど)に保存する場合は、C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。(163ページ)
ただし、万一ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが故障した場合ドライブのデータは失われるので注意してください。

## 4 バックアップしたいファイルの種類にチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

## 5 [設定を保存しバックアップを開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント

スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。
スケジュールを設定しない場合は、表示された状態のまま[設定を保存しバックアップを開始]をクリックし、次の手順に進んでください。

## 6 「バックアップと復元センター」画面で「ファイルのバックアップ」の下にある[設定の変更]をクリックする。

## 7 「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側にある[無効にする]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と作成するファイルの種類の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元センター」画面で[ファイルのバックアップ]をクリックするだけでバックアップすることができます。

**！ご注意**

- 「SonicStage」ソフトウェアで管理している曲や、画像・情報などのデータは「バックアップと復元センター」ではバックアップできません。「SonicStage バックアップツール」を使ってバックアップしてください。
  「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「Windows Media Center」ソフトウェアで録画したアナログ放送の番組は、「バックアップと復元センター」ではバックアップできません。手動でバックアップしてください。（アナログテレビチューナー搭載モデル）

## バックアップからデータを復元するには

### 1 「バックアップと復元センター」を起動する。

### 2 [ファイルの復元]をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

### 3 [最新バックアップにあるファイル]または[古いバックアップにあるファイル]を選択し、[次へ]をクリックする。

[古いバックアップにあるファイル]を選択した場合は、表示された画面の「日付と時刻」欄から復元したいバックアップファイルの日付を選択して、[次へ]をクリックしてください。

### 4 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

一覧にデータが表示されていない場合は、[ファイルの追加]や[フォルダの追加]をクリックして表示された画面からバックアップデータを選択し、[追加]をクリックしてください。

### 5 復元するバックアップデータの保存先を選択し、[復元の開始]をクリックする。

### 6 「ファイルは正常に復元されました。」と表示されたら、[完了]をクリックする。

### Complete PC バックアップでバックアップするには

Complete PC バックアップはWindows Vista Ultimate／Business搭載モデルのみお使いになれます。
Complete PC バックアップを使うと、コンピュータ全体のバックアップをすることができます。ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。

**1** **「バックアップと復元センター」を起動する。**

**2** **[コンピュータのバックアップ]をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「Windows Complete PC バックアップ」画面が表示されます。

**3** **バックアップの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。**

確認画面が表示されます。

**4** **内容をよく確認してから、[バックアップの開始]をクリックする。**

バックアップが開始されます。

**5** **「バックアップは正常に完了しました。」と表示されたら[閉じる]をクリックする。**

**！ご注意**
Complete PC バックアップはコンピュータ上のすべてのデータをバックアップするため、復元する際にファイルを選択することはできません。
また、Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更したファイルは復元されません。

### Complete PC バックアップからデータを復元するには

Complete PC バックアップはWindows Vista Ultimate／Business搭載モデルのみお使いになれます。

**！ご注意**

- 別売りの専用DVDスーパーマルチドライブなどが必要です。
  本機を取り付けた付属または別売りのポートリプリケーターにドライブを取り付けてから以下の手順を行ってください。（136ページ）
- バックアップデータを外付けハードディスクドライブやCD／DVDに保存した場合は、復元する前に再度外付けドライブを接続してください。
- データを復元する前に、ファイルのバックアップを使って必要なファイルをバックアップしてください。
  システムの復元を行うと、システムファイルの変更が行われるため、ソフトウェアが正常に起動しないなど不具合が生じる可能性があります。

## 1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

再び電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF11キーを押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

**ヒント**

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF8キーを押す。

③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

## 2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

**ヒント**

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

## 3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

## 4 [Windows Complete PC 復元]をクリックする。

「Windows Complete PC 復元」画面が表示されます。
バックアップデータをCDやDVDに保存している場合は、ディスクをドライブに挿入してください。

**5** 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

**6** 表示された内容をよく読んでから、[完了]をクリックする。

**7** 確認画面が表示されるので、復元を実行する場合はチェックボックスにチェックを付け、[OK]をクリックする。

復元が完了すると自動的に再起動し、「システム回復オプション」のキーボード レイアウトの選択画面に戻ります。

## システムの復元ポイントを作成するには

### システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

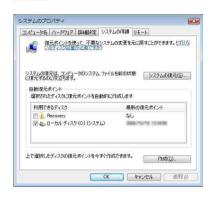
ヒント
復元ポイントは自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

### システムの復元ポイントを手動で作成する

**1** 「バックアップと復元センター」を起動する。

**2** 画面左側の「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

## 3 ［システムの保護］タブをクリックする。

## 4 「自動復元ポイント」で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスにチェックを付け、［作成］をクリックする。

復元ポイントの作成画面が表示されます。

## 5 復元ポイントを識別するための説明を入力し、［作成］をクリックする。

## 6 「復元ポイントは正常に作成されました」と表示されたら、［OK］をクリックする。

「自動復元ポイント」の「最新の復元ポイント」の日時が更新されます。

### システムの復元ポイントから復元するには

**！ご注意**

「SonicStage」ソフトウェアを使用している場合、大切な曲データの消失を防ぐために、システムの復元をする前にあらかじめ「SonicStage バックアップツール」を使って曲データをバックアップしてください。
システムの復元をすると、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいは取り込んだ曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。
システムの復元をしたあとに「SonicStage バックアップツール」で曲データを復元することで、保存した曲データが再生できるようになります。「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

❑ Windowsが起動する場合は

**1** 「バックアップと復元センター」を起動する。

**2** 画面左側の「タスク」から[システムの復元を使ってWindows を修復]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムの復元」画面が表示されます。

**3** [次へ]をクリックする。

**4** 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元するディスクの確認画面が表示されます。

**5** 内容をよく確認して[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

**6** 内容をよく確認して[完了]をクリックする。

**7** 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

**8** 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

### ❑ Windowsが起動しない場合は

**！ご注意**
別売りの専用DVDスーパーマルチドライブなどが必要です。
本機を取り付けた付属または別売りのポートリプリケーターにドライブを取り付けてから以下の手順を行ってください。（136ページ）

## 1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

再び電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF11キーを押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

**ヒント**
以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF8キーを押す。
③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

## 2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

**ヒント**
F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

## 3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

**ヒント**
ファイルのバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIOデータレスキューツールを使ってバックアップしてください。（158ページ）

## 4 [システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。
以降、「Windowsが起動する場合は」の手順3～8に従って操作してください。

## ソフトウェアやドライバを復元するには

本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に動かなくなった場合に、正常な状態に戻すことができます。

**！ご注意**

ソフトウェアやドライバによっては、復元できないものもあります。お使いの環境によっては「ソフトウェアの再インストール」を行っても、正常に動作しない場合があります。
また、再インストールする前に作成したデータが削除されてしまう可能性があります。

### 1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

**ヒント**

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

### 2 画面左側の[ソフトウェアの再インストール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

### 3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」をすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

### 4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

### 5 復元したいソフトウェアまたはドライバのチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

# リカバリ（再セットアップ）

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。

- コンピュータウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

## 本機の調子が悪くなったときは

### Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」をご覧ください。（152ページ）

**手順1**
リカバリディスクを作成していない場合はリカバリディスクを作成する。（**135**ページ）

**手順2**
必要なファイルのバックアップをとる。（**140**ページ）

**手順3**
以下のいずれかを実行してみる。

- システムの復元をする。（146ページ）
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバをアンインストールする。
- 本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に働かなくなった場合は、それらを再インストールする。（149ページ）
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップをしていた場合は、バックアップデータを復元する。（Windows Vista Ultimate／Business搭載モデル）（144ページ）
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。

**手順4**
それでも本機の調子が悪い場合は、リカバリする。（**154**ページ）

**！ご注意**
リカバリすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

## Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

**手順1**

以下のどちらかを実行してみる。

- システムの復元をする。（146ページ）
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップしていた場合は、バックアップデータを復元する。（Windows Vista Ultimate／Business搭載モデル）（144ページ）
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。最後にComplete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更または作成されたファイルについては、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。（158ページ）

**それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリする必要があります。**

**手順2**

**データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。****（158ページ）**

本機の調子が悪くなる前にファイルのバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

**手順3**

**「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。**

「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブまたは内蔵フラッシュメモリー）の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。詳しくは「VAIO ハードウェア診断ツール」をご覧ください。

**手順4**

**リカバリする。****（156ページ）**

**！ご注意**

リカバリすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

## リカバリする

### リカバリとは

本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域からリカバリすることができます。

### リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うために必要なデータがおさめられているハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。
本機は、リカバリディスクを使用してリカバリ領域を削除することができます。（166ページ）

**！ご注意**

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。（135ページ）

### リカバリ前に確認してください

- 本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず最後までリカバリを行ってください。リカバリが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

## Windowsからリカバリするには

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。
Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」（156ページ）をご覧ください。

**ヒント**
パワーオンセキュリティを有効にしている場合は、無効にしてからリカバリを行ってください。
リカバリが完了後、再度パワーオンセキュリティを設定してください。

### 1 （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［VAIO リカバリセンター］ー［VAIO リカバリセンター］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

**ヒント**
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

## 2 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

**ヒント**

- C:ドライブ以外にご自分で新しくドライブを作成している場合など、C:ドライブ以外に保存されているデータは残ります。(163ページ)
- [お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択すると、Windowsがインストールされているハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをすべて消去し、本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーをお買い上げ時の状態に戻します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。

## 3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」などをすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

警告画面が表示されます。

**ヒント**

[お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択した場合は、事前にリカバリディスクを作成しておく必要があります。リカバリディスクを作成していない場合は、画面の指示に従って作成してください。
すでに作成済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

## 4 内容をよく読んでから、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

## 5 [はい]をクリックする。

「Windowsのリカバリ中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

**ヒント**

- リカバリ作業には、お使いの機種によっては数時間かかることがあります。
- Windowsが起動しない状態でリカバリしている場合は、しばらくするとディスクがドライブから自動的に出てきます。
  画面の指示に従って、ディスクの取り出しや入れ替えを行ってください。

## 6 「完了をクリックしてプログラムを終了してください」と表示されたら[完了]をクリックする。

本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

**！ご注意**

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

## 7 「準備する」内「Windowsを準備する」（49ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでリカバリが完了しました。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからデータを復元するには」（142ページ）をご覧ください。

### Windowsが起動しない状態でリカバリするには

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。

**！ご注意**

別売りの専用DVDスーパーマルチドライブなどが必要です。
本機を取り付けた付属または別売りのポートリプリケーターにドライブを取り付けてから以下の手順を行ってください。（136ページ）

## 1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

再び電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF11キーを押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント
リカバリディスクを作成していない場合は、以下の手順で行ってください。

① 本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。

③ 手順5に進む。

## 2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

## 3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

## 4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

## 5 「Windowsからリカバリするには」(154ページ)の手順2以降の操作を行う。

ヒント

- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。(158ページ)
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー)の検査を行うことができます。
詳しくは、「VAIO ハードウェア診断ツール」のヘルプをご覧ください。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。(160ページ)

## VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

### VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD／DVDなどのディスクに保存します。

### VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

### レスキュー(バックアップ)するには

**！ご注意**

- 別売りの専用DVDスーパーマルチドライブなどが必要です。
  本機を取り付けた付属または別売りのポートリプリケーターにドライブを取り付けてから以下の手順を行ってください。(136ページ)
- 外付けハードディスクドライブやCD／DVDでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

**1　本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。**

再び電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF11キーを押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

**ヒント**

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順5に進む。

## 2　キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

## 3　オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

## 4　[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

## 5　画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

**ヒント**

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

**!ご注意**

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
  中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から5の操作を行い、「中断した作業を再開する」チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD／DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- “メモリースティック”やSDメモリーカード、フラッシュメモリなどのメディアにデータを保存する場合、ドライバの読み込みが必要になります。ドライバはリカバリディスクの「VAIO」フォルダに保存されています。データの保存先の選択画面で[ドライバのインストール]をクリックし、ドライバの読み込みを行ってください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD／DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

## 復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

### 1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO データリストアツール]ー[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

### 2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

### 3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

### 4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

**ヒント**
[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダやファイルの一覧を確認することができます。

### 5 復元先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

## 6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

## 7 [開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

## 8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

**!ご注意**
「SonicStage」ソフトウェアで取り込んだ音楽ファイルや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保障はいたしません。

**ヒント**
復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダから移動してお使いください。

### Windows メールをバックアップする／復元するには

ここではVAIO データレスキューツールの使用例として、Windows メールのメールデータのバックアップと復元方法を紹介します。

#### Windows メールのメールデータをバックアップする

## 1 VAIO データレスキューツールを起動させる。(158ページ)

## 2 画面の指示に従って、「レスキューデータの選択」画面まで進む。

**ヒント**
データレスキュー方法は、「カスタムデータレスキュー」を選んでください。

## 3 [Users]－[VAIO(ユーザー名)]－[AppData]－[Local]－[Microsoft]－[Windows Mail]をクリックし、[Local Folders]チェックボックスをクリックしてチェックする。

### 4 [次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従ってバックアップしてください。

## Windows メールのバックアップを復元する

### 1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows メール]をクリックする。

Windows メールが起動します。
メールアカウントの設定をしていない場合は、設定してください。

### 2 [ファイル]－[インポート]－[メッセージ]をクリックする。

「プログラムの選択」画面が表示されます。

### 3 「インポート元の電子メールの形式を選択してください」から、[Microsoft Windows メール 7]を選択し、[次へ]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

### 4 [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ヒント
VAIO データレスキューツールでメールデータをバックアップしていた場合は、[参照]をクリックして[Local Folders]を選択してください。

### 5 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

### 6 [完了]をクリックする。

「Windows メール」画面の左側に「インポートされたフォルダ」が作成されるので、フォルダ内のメールを元の状態に振り分けてください。

## パーティションサイズの変更

### パーティションサイズの変更について

パーティションとはハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが複数台のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション（C:ドライブ）のみになっています。別のパーティション（D:ドライブなど）にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。
本機はリカバリを行わずに、Windows上からの操作で新しくパーティションを作成することができます。
パーティションの作成方法について詳しくは、次の「パーティションを作成する」の項目をご覧ください。

**ヒント**
リカバリディスクから「VAIO リカバリセンター」を起動して、C:ドライブのパーティションサイズを変更することもできます。（165ページ）

### パーティションを作成する

パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

- Windows上の操作で作成する
- リカバリディスクを使って作成する

**ご注意**

- リカバリディスクを使ってパーティションの作成を行うには、本機をリカバリする必要があります。
  リカバリすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。
- リカバリディスクを使ってパーティションの作成を行うには、別売りの専用DVDスーパーマルチドライブなどが必要です。
  本機を取り付けた付属または別売りのポートリプリケーターにドライブを取り付けてから以下の手順を行ってください。（136ページ）

## 1 （スタート）ボタンー[コントロール パネル]ー[システムとメンテナンス]ー「管理ツール」の[ハード ディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスクの管理」画面が表示されます。

## 2 C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

「C: の圧縮 :」画面が表示されます。

## 3 圧縮する領域のサイズを設定して、[圧縮]をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

**ヒント**
本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータが分散しているため「未割り当て」の空き領域が小さくなります。その際は、デフラグすることをおすすめします。（（スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[アクセサリ]ー[システムツール]ー[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。）

## 4 「未割り当て」を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

## 5 画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

### リカバリディスクを使って作成する

**!ご注意**
別売りの専用DVDスーパーマルチドライブなどが必要です。
本機を取り付けた付属または別売りのポートリプリケーターにドライブを取り付けてから以下の手順を行ってください。(136ページ)

## 1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

再び電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF11キーを押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

## 2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

## 3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

## 4 [VAIOリカバリセンター]をクリックする。

「VAIOリカバリセンター」画面が表示されます。

## 5 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

## 6 ［スキップ］を選んでクリックし、［次へ］をクリックする。

表示された画面の指示に従い、パーティションの分割設定画面が表示されるまで進んでください。

**ヒント**
「お買い上げ時のパーティション設定にしますか？」と聞かれた場合は、［パーティション設定を変更］を選んでください。

## 7 ドロップダウンリストから、［数値入力（C ドライブとD ドライブに分割する）］を選択する。

## 8 C:ドライブのサイズを設定して、［次へ］を選択する。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

## リカバリ領域を削除する

本機では、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの一部をリカバリ領域として使用していますが、リカバリ領域を削除して、使用できるハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの容量を増やすことができます。
リカバリ領域を削除するには、リカバリディスクを作成しておく必要があります。（135ページ）

**！ご注意**
- リカバリ領域を削除した後は必ずリカバリが実行されるため、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容はお買い上げ時の状態に戻ります。リカバリ領域を削除すると、それ以降に本機のリカバリを行う際には必ずリカバリディスクが必要となります。
- 別売りの専用DVDスーパーマルチドライブなどが必要です。
  本機を取り付けた付属または別売りのポートリプリケーターにドライブを取り付けてから以下の手順を行ってください。（136ページ）

## 1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

再び電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF11キーを押してください。
「システムの回復オプション」画面が表示されます。

## 2 キーボード レイアウトを選択し、［次へ］をクリックする。

## 3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

## 4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

## 5 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

## 6 [スキップ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

リカバリ領域上の「VAIO リカバリデータ」を残すかどうかの選択画面が表示されます。

## 7 [削除します]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

## データを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータを完全に消去することができます。

**！ご注意**

- 別売りの専用DVDスーパーマルチドライブなどが必要です。
  本機を取り付けた付属または別売りのポートリプリケーターにドライブを取り付けてから以下の手順を行ってください。（136ページ）
- VAIO データ消去ツールはハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリディスクの作成が必要です。
  リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。（135ページ）
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピュータが再起動します。
  データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

## 1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、ファイルのバックアップを使ってバックアップしてください。（140ページ）
- Windowsが起動しない場合は、リカバリディスクからVAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い（158ページ）、バックアップ完了後に［終了］をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

## 2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

再び電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF11キーを押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

## 3 キーボード レイアウトを選択し、［次へ］をクリックする。

## 4 オペレーティング システムを選択し、［次へ］をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

## 5 ［VAIOリカバリセンター］をクリックする。

「VAIOリカバリセンター」画面が表示されます。

## 6 画面左側の［VAIO データ消去ツール］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

## 7 内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

## 8 制限事項や準備の説明内容をよく読んだら、［次へ］をクリックする。

## 9 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

## 10 データの消去方式を選択し、[次へ]をクリックする。

## 11 データ消去するハードディスクを確認し[はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

## 12 再度、[はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[消去開始]をクリックする。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータの消去が開始されます。

## 13 消去終了の確認画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

本機の電源が切れます。

# 困ったときは

# 困ったときはどうすればいいの？

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。
また、メッセージ等が表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

## 1 パソコンが起動しないときは『取扱説明書』（本書）をご覧ください。

パソコンが起動しないときは、本書の「よくあるトラブルと解決方法」の「電源／起動」（174ページ）をご覧ください。
また、起動はするが操作できない場合なども、「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。

## 2 パソコンが動作するときは『電子マニュアル』をご覧ください。

パソコンが動作するときは、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリックするとPDFマニュアルを起動することができます。
「電子マニュアル」が起動したら、「よくあるトラブルと解決方法」内のトラブルなの内容にあった項目をご覧ください。

### ソフトウェアの使いかたについて

ソフトウェアの使いかたや疑問については、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。
また、Windowsに関する使いかたや疑問については、「Windows ヘルプとサポートを見る」（232ページ）をご覧ください。

## 3 最新の情報は『VAIOカスタマーリンク ホームページ』でご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンク ホームページのご利用方法については、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（233ページ）をご覧ください。

## 4 いずれの方法でも解決しない場合はお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク*1
（0466）30-3000
（平日：10時～21時、土、日、祝日：10時～17時）

■バイオについてのお問い合わせ
「VAIOカスタマーリンク」にお問い合わせください。詳しくは、「電話で問い合わせる」（246ページ）をご覧ください。

■本機の付属ソフトウェアについてのお問い合わせ
「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（263ページ）に掲載されているそれぞれのソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。

*1 お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合せ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

### ハードウェアの簡易診断について

ハードウェア診断ツールを使って、ハードウェアをチェックすることもできます。起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIOリカバリセンター］－［VAIOリカバリセンター］－［VAIOハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

# よくあるトラブルと解決方法

よくあるトラブルと解決方法の一部をご紹介します。

**！ご注意**

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」（48ページ）の手順に従い、いったん電源を切ってください。
他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

## 電源／起動

状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

### Q 電源が入らない。（⏻POWER（パワー）ランプ（グリーン）が点灯しないとき）

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

**A バッテリが正しく装着されているか確認してください。（44ページ）**

**A 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。（46ページ）**

**A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。**

ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

**A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露（277ページ）が生じている可能性があります。**

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所（80 ％以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

**A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。**

## Q 電源が入らない、または⏻POWER(パワー)スイッチが効かない。(🔋がすばやく点滅している)

**A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。**

いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。(44ページ)

**A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻POWER(パワー)スイッチが効かない場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。**

バッテリを取りはずしてください。

## Q 電源を入れると、⏻POWER(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが、画面に何も表示されない。

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

**A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。**

VAIO タッチランチャーで表示を切り替えてください。(78ページ)

**A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。**

① 本機の⏻POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにし、⏻POWER(パワー)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにし、⏻POWER(パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

**A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露(277ページ)が生じている可能性があります。**

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

## Q　電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

**A　使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。**

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- AltキーとFnキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
  データが未保存の場合は、「保存しますか？」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。
  「Windows のシャットダウン」画面が表示されるまでAltキーとFnキーを押しながらF4キーを押し、画面上のリストから[シャットダウン]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows Vistaは、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

**A　USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。**

**A　「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作してください。**

① Enterキーを押す。
確認のため、しばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のため、しばらくお待ちください。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタンを押す。
- 本機の⏻POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにする。
- ACアダプタとバッテリをはずす。

## Q 電源が勝手に切れた。

**A バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。**

ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。

**A 本体が熱くなりすぎると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。**

次の方法で本体の温度を下げてください。

- 接続しているUSB機器をはずす。
- 本機を使っていないときは、本機をスリープまたは休止状態にする。

## Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

**A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。**

本機の電源が切れたあと、いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（44ページ）

**A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。**

本機の電源が切れたあと、バッテリを取りはずしてください。

## Q 電源を入れるとWindowsが起動せず、黒い画面が表示される。

**A 通常の操作で電源を切らなかった場合、次回電源を入れた際に「Windows エラー回復処理」画面が表示されます。**

その場合は、「Windowsを通常起動する」が選択された状態でEnterキーを押してWindowsを起動させてください。

## Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

**A 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。**

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

**A 「Operating System not found」と表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。**

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して表示された画面で本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。

**A パワーオン・パスワードまたはハードディスク・パスワードを3回間違えて入力すると、「Enter Onetime Password」または「System Disabled」と表示されWindowsが起動しません。**

本機の⏻POWER（パワー）スイッチを上側（▷の方向）に4秒以上ずらしたままにして、⏻POWER（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

パスワードを入力する際は、🔒1（Num Lock）ランプや🔒A（Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Fnキーを押しながらnum lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCapsキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

**A 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップバッテリが消耗しています。**

ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

① 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、Fnキーを押しながらF2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、Fnキーを押しながらF2キーを数回押してください。

② 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

1) 「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。
例：2007年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2007＋Enterキーの順で入力します。

2) ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。
例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

③ Escキーを押す。

④ ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

⑤ 「Load default configuration now?」と表示されるので、［Yes］を選択して、Enterキーを押す。

⑥ ［Exit Setup］が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。

⑦ 確認画面が表示されるので、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

## Q ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーから起動できない。

**A フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。**

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

## Q 再起動時の音が出ない。

**A Windowsで消音に設定している場合は、再起動時にも音が出ません。**

再起動時音を出すためには、VAIO タッチランチャーで消音設定を解除してください。（78ページ）

# パスワード

## Q パワーオン・パスワードを忘れてしまった。

**A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。**

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

**ヒント**

パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## Q ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。

**A パスワードを忘れると、起動やハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータ使用ができなくなります。**

- ユーザーパスワードの場合
  マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  ユーザーパスワードを再設定しない限り、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを使用できなくなり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをリカバリすることもできません。
  また、本機を起動することもできなくなり、CD／DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
- マスターパスワードの場合
  パスワード設定を解除することができなくなります。
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理（有償）が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

**ヒント**

ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## Q Windows Vistaのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

**A パスワードの大文字と小文字は区別されます。**

確認してから入力し直してください。

**A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー（Administratorsに属するユーザー）が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。**

## Q Windows Vistaのインターネット接続パスワードの文字数が増えている。

**A Windows Vistaでは、セキュリティ機能の強化のため、画面に実際のパスワードを表示せず、「****************」と表示します。**

画面上は、パスワードの文字数が16文字になっていますが、実際には最初に入力したパスワードが保存されています。そのままパスワードを入力してください。

## 省電力動作モード

### Q 休止状態に移行できない。

**A プリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にしてください。**

それでも休止状態に移行できない場合は、次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオの設定]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

② [電源・バッテリ]をダブルクリックする。

③ [電源オプション]をダブルクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。

④ 選択されている電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
「プラン設定の編集」画面が表示されます。

⑤ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。

⑥ 「スリープ」の「ハイブリッド スリープを許可する」が「オフ」になっているか確認する。
「オン」になっている場合は、「オフ」に変更して[OK]をクリックしてください。

### Q バッテリ残量がわずかなのに、休止状態にならない。

**A 使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。**

### Q スリープモードに移行できない。

**A プリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にしてください。**

**A スクリーンセーバーの種類によっては、表示中はスリープモードに移行できないことがあります。**

### Q バッテリで長時間使いたい。

**A 本機をバッテリで使用しているときに、バッテリを長持ちさせる方法については、「バイオ電子マニュアル」の「バッテリを上手に使うには」をご覧ください。**

# 画面／ディスプレイ／タッチパネル

## Q 画面に何も表示されない。

**A 本機の電源が入っているか確認してください。**

**A ディスプレイの電源が切れている場合があります。**

スティックポインターやタッチパネルに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

**A ホールド状態になっている可能性があります。**

⏻ POWER（パワー）スイッチを上側（▷の方向）に一瞬ずらして、ホールドを解除してから操作してください。

**A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている場合があります。**

VAIO タッチランチャーで表示を切り替えてください。（78ページ）

**A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープモード）。**

キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻ POWER（パワー）スイッチ*を上側（▷の方向）に一瞬ずらすと、元の状態に戻ります。

また、バッテリでご使用中に約1時間操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻ POWER（パワー）スイッチを上側（▷の方向）に一瞬ずらしてください。

ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。

* ⏻ POWER（パワー）スイッチを上側（▷の方向）に4秒以上ずらすと保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

## Q 画面が暗い。

**A 液晶ディスプレイの明るさを調節してください。**

VAIO タッチランチャーで輝度を調節することができます。（78ページ）

## Q 画面の明るさ設定が変わってしまう。

**A VAIOタッチランチャーで画面の明るさを調節した場合は、スリープモードや休止状態からの復帰後に、調節前の設定に戻ることがあります。**

画面の明るさ設定を変更するには、「電源オプション」画面の「詳細設定」タブで調節してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## Q 画面が固まって動かない。

**A 次の手順で本機を再起動させてください。**

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、[タスク マネージャの起動]をクリックする。
「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻ POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)にずらして、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻ POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)に4秒以上ずらして電源を切ってください。電源が切れると⏻ POWER(パワー)ランプが消灯します。⏻ POWER(パワー)ランプ(グリーン)が点灯した場合は、いったん手を離し、再度⏻ POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)に4秒以上ずらして電源を切ってください。

**!ご注意**
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

## Q 画面の色合いが変わってしまう。

**A 「画面の設定」で変更した画面の色合いの設定が無効になることがあります。**

以下のような動作後に画面の色合いが変わってしまう場合は、「静止画色補正」を無効にしてから設定を行ってください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

- 再起動後
- スリープモードや休止状態からの復帰後
- ユーザー切り替え後
- ログオフからログオンし直した後

**A 外部ディスプレイや液晶プロジェクタを使用して表示先を切り替えた場合、「静止画色補正」の設定が無効になることがあります。**

いったんスリープや休止状態にしてから通常モードに復帰させてください。

## Q 画面の色がきれいに表示されない。

**A 画面の色数の設定が「最高(32ビット)」になっているか確認してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。**

**A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。**

(スタート)ボタン－ ボタン－[シャットダウン]をクリックして電源を切り、本機の⏻ POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)にずらして起動し直してください。

**A 画像を扱うソフトウェアによっては、画面の色合いの設定を勝手に変更してしまうものがあります。**

「静止画色補正」を無効にするか、ソフトウェアの画面設定の項目を無効にしてください。「静止画色補正」について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## Q 画像が乱れる。

**A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、本機から離してください。**

## Q 動画が表示できない。

**A 画面表示を外部ディスプレイに切り替えたままの状態で外部ディスプレイの接続をはずすと、本機の画面で動画が表示できなくなる場合があります。**

この場合は動画再生を停止し、表示を液晶ディスプレイに切り替えてから動画再生してください。

## Q 動画が再生できない。

**A 画面の解像度を下げてください。**

本機に搭載されているビデオメモリの容量によっては、高解像度で動画を再生できない場合があります。

解像度変更について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## Q デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る。

**A キーを押しながらDキーを2回押してください。**

## Q 画面に輝点・滅点（黒点）がある。

**A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。**

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です。）また、見る角度によってすじ状の色むらや下辺に明るさのむらが見える場合や、液晶画面にある特定の画像を表示した際にまれにちらつきが発生する場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

## Q Windowsの文字サイズを大きくしたい。

**A Windowsのフォントサイズの設定を変更することで、ディスプレイに表示される文字サイズを大きくすることができます。**

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② ［デスクトップのカスタマイズ］－［個人設定］をクリックする。

③ 画面左側の［フォント サイズ（DPI）の調整］をクリックする。
「DPIスケール」画面が表示されます。

④ ［大きなスケール（120 DPI）］をチェックして［OK］をクリックする。

⑤ ［今すぐ再起動する］をクリックする。
再起動後、Windowsのフォントサイズが変更されます。

## Q 外部ディスプレイのつなぎかたがわからない。

**A 外部ディスプレイのつなぎかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。**

## Q 外部ディスプレイまたはテレビに何も表示されない。

**A 正しく接続されているか確認してください。**

**A 表示するディスプレイの設定を確認してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。**

## Q 外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。

**A 外部ディスプレイ側で設定してください。**

詳しくは、外部ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

**A 外部ディスプレイや液晶プロジェクタと本機の画面に同時に表示する場合は、画面表示の設定を変更してお使いください。**

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## Q マルチモニタの方法がわからない。

**A マルチモニタの方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。**

## Q 液晶プロジェクタのつなぎかたがわからない。

**A 液晶プロジェクタのつなぎかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。**

## Q プラグアンドディスプレイ機能が働かない。

**A 外部機器の種類や接続のしかたによっては、プラグアンドディスプレイ機能が働かない場合があります。**

- VAIO タッチランチャーで切り替えてください。（78ページ）
- マルチモニタの設定を解除してください。（マルチモニタ表示を行った場合）
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## Q 画面の切り替え操作を行っても、外部ディスプレイや液晶プロジェクタなどに表示されない。

**A アナログRGB接続の外部ディスプレイを検出する方法を設定してください。**

次の手順で操作してください。

なお、プラグアンドディスプレイの機能を無効にするには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

① （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオの設定]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

② [ディスプレイ]ー[外部ディスプレイ接続検出設定]をダブルクリックする。
「外部ディスプレイ接続検出設定」画面が表示されます。

③ [外部接続検出方法を替える]のチェックボックスをチェックする。

④ [OK]をクリックする。

⑤ VAIO タッチランチャーまたは「画面の設定」を使って設定する。
設定については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## Q タッチパネルの操作ができない。

**A ホールド状態になっている可能性があります。**

ホールド状態になっているときは、タッチパネルの操作ができません。
⏻ POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)に一瞬ずらして、ホールドを解除してください。

**A タッチパネルが無効になっていないか確認してください。**

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオの設定]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

② [キーボード・マウス]ー[タッチパネル]をダブルクリックする。
設定画面が表示されます。

③ [有効にする]がチェックされていることを確認する。
チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

## Q VAIO タッチランチャーで をクリックしても、画面が90度回転して表示しない。

**A 画面を90度回転できるのは、色数が中(16ビット)または最高(32ビット)のときのみです。正しい解像度で表示しているか確認してください。**

解像度の設定や表示するディスプレイの変更については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**A ソフトウェアによっては、ソフトウェア起動中に90度回転できないものがあります。**

また、画面を90度回転させて表示しているときに、ソフトウェアによっては起動しなかったり、不具合が生じることがあります。
このような場合は、通常の画面表示でお使いいただくことをおすすめします。

## Q Windows Aeroで表示されない。

**A デザインの設定を変更してください。**

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② 「デスクトップのカスタマイズ」の[配色の変更]をクリックする。
「デザインの設定」画面が表示されます。

③ 「配色」で[Windows Aero]をクリックする。

④ [OK]をクリックする。

## Q 「Tablet PC 設定」画面や「ペンと入力デバイス」画面で設定した内容が反映されない。

**A 本機に搭載のタッチパネルは、Windows VistaのTablet PCをサポートしていません。**

- タッチコマンドを使用するには → 66ページをご覧ください。
- タッチパネルの調整を行うには → 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
- 画面の向きを変更するには → 82ページをご覧ください。

## Q スタイラスでタスクバーを表示させることができない。

**A タスクバーを自動的に隠す設定にしている場合、画面の一番端をスタイラスでポイントできなくなることがあります。**

タッチパネルの補正によっては、マウスポインタの位置に若干のずれが生じます。
この場合は、再度タッチパネルの補正を行ってください。補正時には、下に表示される2つの「×」印のそれぞれ少し上側をタップするようにしてください。

## Q 動画がスムーズに再生されない。

**A 本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイの両方表示している場合はどちらか片方のみに表示するようにしてください。**

**A Windows Aeroに設定している場合は、デザインの設定を変更してください。**

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② 「デスクトップのカスタマイズ」の[色のカスタマイズ]をクリックする。

③ [詳細な色のオプションを設定するにはクラッシック スタイルの[デザイン]プロパティを開きます]をクリックする。
「デザインの設定」画面が表示されます。

④ 「配色」の設定を[Windows Vista ベーシック]にする。

⑤ [OK]をクリックする。

**A 再生する動画の種類やビットレートによっては本機でスムーズに再生できない場合があります。**

# 音声

## Q スピーカーやヘッドホンなどから音が出ない。

**A 音声出力が「切」になっていないか確認してください。**

VAIO タッチランチャーで消音設定を切り替えてください。(78ページ)

**A 音量設定が最小になっていないか確認してください。**

VAIO タッチランチャーで音量を上げてください。(78ページ)

**A 「電源オプション」画面の「VAIO 省電力設定」タブで、「オーディオ」が電源オフになっていないか確認してください。**

詳しくは、「VAIO 省電力設定」のヘルプをご覧ください。電源オフの場合は、電源オンにしてください。

**A Windowsの音量が「ミュート」または最小になっていないか確認してください。**

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

③ 「サウンド」の[システム音量の調整]をクリックする。
「音量ミキサ」画面が表示されます。

④ 「デバイス」に表示されている設定がミュートまたは最小になっていないか確認する。
(ミュート)になっている場合は、 をクリックして にしてください。音量が最小になっている場合は音量を上げてください。

**A 外部スピーカーやヘッドホンなどを接続している場合は、次の点を確認してください。**

- 外部スピーカーやヘッドホンなどが本機と正しく接続されているか確認する。
接続方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
- 外部スピーカーなどの電源ケーブルが電源コンセントにしっかり接続されているか確認する。
- 外部スピーカーなどの電源が入っているか確認する。
- 外部スピーカーなどの音量設定が最小になっていないか確認する。

**A 本機の内蔵スピーカーから音を出す場合に(ヘッドホン)コネクタにケーブルをつないでいるときは、ケーブルをはずしてください。**

**A 出力先を確認してください。**

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

③ [サウンド]をクリックする。
「サウンド」画面が表示されます。

④ [再生]タブをクリックする。

⑤ 音声を出力したいデバイスのアイコンの右下にチェックがついているか確認する。
チェックがついていない場合には、出力したいデバイスのアイコンを選択して[既定値に設定]をクリックしてください。
デバイスのアイコンが表示されていない場合は、本機とデバイスが正しく接続されているかもう一度ご確認ください。

⑥ [OK]をクリックする。

**A 使用するソフトウェアの再生音量を確認してください。**

---

## Q マイクが使えない。

**A 録音デバイスとしてマイクが有効になっているか確認してください。**

次の手順で操作してください。

ヒント
外付けマイクから録音する場合は、マイクを本機の(マイク)コネクタに接続してください。

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

③ [サウンド]をクリックする。
「サウンド」画面が表示されます。

④ [録音]タブをクリックする。

⑤ 使用したいマイクのアイコンの右下にチェックがついているか確認する。
チェックがついていない場合には、使用したいマイクのアイコンを選択して[既定値に設定]をクリックしてください。
マイクのアイコンが表示されていない場合は、本機とマイクが正しく接続されているかもう一度ご確認ください。

⑥ [OK]をクリックする。

**A 外付けマイクから録音する場合は、プラグインパワー方式に対応したマイクをご使用ください。**

## Q マイクの音が大きい、または、小さい。

**A 次の手順で音量を調節してください。**

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
③ [サウンド]をクリックする。
「サウンド」画面が表示されます。
④ [録音]タブをクリックする。
⑤ マイクのアイコンをダブルクリックする。
「マイクのプロパティ」画面が表示されます。
⑥ [レベル]タブをクリックする。
⑦ [マイク]のスライダを左右に動かして好みの音量に調節する。
スライダを最大にしても音量が足りないときは、[マイク ブースト]のスライダを左右に動かして音量を調節することができます。
⑧ [OK]をクリックする。

**ヒント**
内蔵マイクが搭載されていない機種をお使いの場合、外付けマイクを接続しないとマイクのアイコンが表示されない場合があります。外付けマイクを接続してから調節してください。

## Q 音声を扱うソフトウェアでエラーメッセージが表示された。

**A 音声を扱うソフトウェアを同時に起動しているときは、ご使用になるソフトウェア以外を終了してください。**

## Q 本機に接続したドライブで音楽CDを再生してもスピーカーやヘッドホンから音が出ない。

**A 別売りの専用ドライブをお使いの場合は、本機に接続したポートリプリケーターにドライブをつないだ状態で次の手順で設定を確認してください。**

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
③ [サウンドとオーディオ デバイス]をクリックする。
④ [ハードウェア]タブをクリックし、「デバイス」に表示されたリストからお使いのドライブを選んで[プロパティ]をクリックする。
⑤ [プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]のチェックボックスがチェックされていることを確認する。
チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

## Q Windowsの起動音を消したい。

**A 次の手順で操作してください。**

① (スタート)ボタン-[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

③ [サウンド]をクリックする。
「サウンド」画面が表示されます。

④ 「サウンド」タブをクリックする。

⑤ [Windowsスタートアップのサウンドを再生する]のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。

⑥ [OK]をクリックする。

# 文字入力／キーボード

## Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

**A 入力モードを確認してください。**

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」 に、

英字入力モードのときは「A」 になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

**A (Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。**

(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。Shiftキーを押しながらCapsキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(40ページ)

**A (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。**

U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock(ナムロック)が有効になっている場合があります。点灯している場合は、Fnキーを押しながらnum lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(39ページ)

## Q　キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

**A 次の手順でドライバの設定を変更してください。**

なお、この操作は「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから行ってください。

**!ご注意**

- 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- ソフトウェアによって使用方法などが変わる場合があります。
  これについてはサポートできない場合があります。
- ここに記載する手順は他国語対応のOSやソフトウェアを使用できるようにするものではありません。
- MS-IME 使用上の主なご注意点
  - IMEの起動・終了操作は[Alt]＋[`]となります。
  - ローマ字入力／かな入力の切替えを[Alt]＋[ひらがな]ではできません。
  - ツールバーから設定してください。
  - 無変換キーがありませんので、かな、英数の各トグル変換はできません。
  - 変換キーがありませんので、日本語入力時の変換はスペースキーをご使用ください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]－[デバイス マネージャ]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「デバイス マネージャ」画面が表示されます。

③ [キーボード]をダブルクリックする。

④ [101/102 英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2 キーボード]あるいは[日本語 PS/2 キーボード(106/109 キー)]を右クリックして、[削除]を選択する。

⑤ 「デバイスのアンインストールの確認」画面が表示されるので、[OK]をクリックする。

⑥ 「システム設定の変更」画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
コンピュータが再起動します。

⑦ 再起動後、再起動を促すメッセージが表示された場合は、[今すぐ再起動する]をクリックする。
コンピュータが再起動します。再起動後は、キーボード配列が英語キーボードとなります。

## Q タッチパネルで文字が入力できない。

**A ホールド状態になっている可能性があります。**

ホールド状態になっているときは、タッチパネルの操作ができません。

⏻ POWER（パワー）スイッチを上側（▷の方向）に一瞬ずらしてホールドを解除してください。

**A タッチパネルが無効になっていないか確認してください。**

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオの設定］をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

② ［キーボード・マウス］－［タッチパネル］をダブルクリックする。
設定画面が表示されます。

③ ［有効にする］がチェックされていることを確認する。
チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

## Q IMEの言語バーが表示されない。

**A IMEの言語バーが表示されない場合は、次の手順で操作し言語バーを表示させてください。**

① （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② ［時計、言語、および地域］の［キーボードまたは入力方法の変更］をクリックする。
「地域と言語のオプション」画面が表示されます。

③ ［キーボードと言語］タブをクリックして、［キーボードの変更］をクリックする。
「テキストサービスと入力言語」画面が表示されます。

④ ［言語バー］タブをクリックする。

⑤ ［デスクトップ上でフロート表示する］をチェックして、［OK］をクリックする。

⑥ 「地域と言語のオプション」画面で［OK］をクリックして画面を閉じる。

**ヒント**

言語バー右上の （最小化ボタン）をクリックすると言語バーはタスクバーに収納され、タスクバーに常に表示させておくことができます。

## Q 入力した文字が表示されない。

**A 文字を入力したいソフトウェアの画面を前面に出してください。**

画面のどこかをクリックするか、Altキーと Tabキーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出してください。

## Q 文字入力中に勝手にカーソルが移動する。

**A 次の手順でスティックポインターのプレスセレクト機能を無効にしてください。**

① （スタート）ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② 「ハードウェアとサウンド」の[マウス]をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

③ [スティック]タブをクリックする。

④ [設定]ボタンをクリックする。

⑤ [スティック]タブをクリックする。

⑥ [プレスセレクトを使用する]のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。

⑦ [OK]をクリックする。

## Q ショートカットキーの使いかたがわからない。

**A Windowsキーと組み合わせたショートカットキーについては、「Windowsキーと組み合わせたショートカットキー一覧」（71ページ）をご覧ください。**

**A Fnキーと組み合わせたショートカットキーについては、「Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧」（72ページ）をご覧ください。**

# ポインティング・デバイス

## Q スティックポインターが使えない。

**A スティックポインターが無効になっています。**

スティックポインターの設定を変更し、スティックポインターを有効にしてください。スティックポインターの設定について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

設定を変更してもスティックポインターが有効にならない場合は、本機を再起動してください。

**A スティックポインターのプレスセレクト機能の設定を確認してください。**

プレスセレクト機能について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**A ホールド状態になっている可能性があります。**

ホールド状態になっているときは、タッチパネルの操作ができません。

⏻ POWER（パワー）スイッチを上側（▷の方向）に一瞬ずらして、ホールドを解除してください。

## Q 左／センター／右ボタンが使えない。

**A ホールド状態になっている可能性があります。**

ホールド状態になっているときは、タッチパネルの操作ができません。

⏻ POWER（パワー）スイッチを上側（▷の方向）に一瞬ずらしてホールドを解除してください。

## Q ポインタが動かない。

**A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。**

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックして本機の電源を切ってください。

それでも何も起こらないときは、本機の⏻POWER（パワー）スイッチを上側（▷の方向）に4秒以上ずらしたままにして電源を切ってください。

## Q スティックポインターに触れていないのにポインタが動く。

**A 通常の操作状態でスティックポインターを使っていないにもかかわらず、ポインタが自然に動くことがあります。これは「ドリフト」といい、故障ではありません。**

しばらくスティックポインターから指を離しておけば、ポインタは止まります。ドリフトは以下の場合に起こることがあります。

- 電源を入れた直後
- 省電力モードから通常モードに戻った直後
- スティックポインターを長時間使用し続けたとき
- 温度が急激に変化したとき

## Q 指がスティックポインターに触れただけで、クリックしてしまう。

**A 次の手順でスティックポインターのプレスセレクト機能を無効にしてください。**

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ハードウェアとサウンド]アイコンをクリックする。
③ [マウス]アイコンをクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
④ [スティック]タブをクリックする。
⑤ [設定]ボタンをクリックする。
⑥ [スティック]タブをクリックする。
⑦ [プレスセレクトを使用する]のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。
⑧ [OK]をクリックする。

# ハードディスク／内蔵フラッシュメモリー

## Q ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの空き容量を知りたい。

**A (スタート)ボタン－[コンピュータ]をクリックしてください。**

「コンピュータ」画面が表示され、空き容量が確認できます。

## Q ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの空き容量が少なくなった。

**A ディスククリーンアップを行ってください。**

Windowsでは、処理を速くするために一時ファイルやバックアップファイルが自動的に作成されるため、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの空き容量が減少します。ディスククリーンアップを行うと、一時ファイルなどが削除され、空き容量を増やすことができます。
次の手順でディスククリーンアップを行ってください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システムツール]－[ディスククリーンアップ]をクリックする。
「ディスククリーンアップのオプション」画面が表示されます。
② [自分のファイルのみ]または[このコンピュータの全ユーザーのファイル]を選択して、[OK]をクリックする。
③ [ドライブ]でディスククリーンアップを実行するドライブを選択し、[OK]をクリックする。
④ ファイルの説明をよく読み、削除するファイルにチェックをつける。
⑤ [OK]をクリックする。
「これらのファイルを永久に削除しますか？」というメッセージが表示されます。
⑥ [ファイルの削除]をクリックする。
ディスクのクリーンアップが実行されます。

## Q　誤ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化してしまった。

**A　ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにあったファイルは復元できません。**

本機のリカバリ機能やリカバリディスクを使って本機をリカバリする必要があります。（150ページ）

## Q　ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーから起動できない。

**A　フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。**

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

## Q　ハードディスクから異音がする。（ハードディスクドライブ搭載モデル）

**A　OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。**

これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[アクセサリ]ー[システムツール]ー[ディスクデフラグ]をクリックする。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② [今すぐ最適化]をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

**A　ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。**

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

## Q　ハードディスクの保護が頻繁に行われ、動作が遅くなる。（ハードディスクドライブ搭載モデル）

**A　ハードディスク保護機能の設定を変更してください。**

保護レベルを「感度中（標準設定）」や「感度低（動作優先）」にしてください。（108ページ）

Q　リカバリ領域の容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

① (スタート)ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[管理]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「コンピュータの管理」画面が表示されます。

② 画面左側の「記憶域」の[ディスクの管理]をクリックする。
「ディスク 0」に、リカバリ領域とC:ドライブの容量が表示されます。

ヒント
1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは1 GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

## プロセッサ(CPU)

Q　「コンピュータの基本的な情報の表示」でCPUのクロック周波数が正しく表示されない。

A 「コンピュータの基本的な情報の表示」にはCPUの情報が正確に反映されない場合がありますが、表示上の問題であり、本機のご使用に関して問題はありません。

Q　パフォーマンスが低下した。

A CPUに負荷のかかるソフトウェアなどを起動すると、パフォーマンスが低下する場合があります。

## メモリ

Q　「コンピュータの基本的な情報の表示」でメモリの容量が正しく表示されない。

A 本機はメインメモリとビデオメモリが共用されているため、ビデオメモリ分を差し引いた容量が表示される場合があります。

# “メモリースティック”

## Q “メモリースティック”が使えない。

**A VAIO 省電力設定を確認してください。**

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオの設定]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

② [電源・バッテリ]ー[電源オプション]をダブルクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。

③ 現在使用しているプランの[プラン設定の変更]をクリックする。

④ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。

⑤ [VAIO 省電力設定]タブの「メモリースティックポート」の設定を「電源オン」にする。
「電源オフ」に設定すると、“メモリースティック デュオ”は使えません。
詳しくはVAIO 省電力設定のヘルプをご覧ください。

## Q “メモリースティック デュオ”のフォーマットをしたい。

**A フォーマット方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。**

## Q “メモリースティック デュオ”の使いかたがわからない。

**A 使いかたや“メモリースティック”について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。**

## Q “メモリースティック デュオ”にデータを保存したい。

**A データ保存方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。**

## コンパクトフラッシュ

### Q コンパクトフラッシュが使えない。

**A VAIO 省電力設定を確認してください。**

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオの設定］をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

② ［電源・バッテリ］－［電源オプション］をダブルクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。

③ 現在使用しているプランの［プラン設定の変更］をクリックする。

④ ［詳細な電源設定の変更］をクリックする。

⑤ ［VAIO 省電力設定］タブの「CFカード」の設定を「電源オン」にする。

**ヒント**
「電源オフ」に設定すると、コンパクトフラッシュは使えません。
詳しくはVAIO 省電力設定のヘルプをご覧ください。

## その他の保存メディア

### Q フロッピーディスクから起動できない。

**A 本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF11キーを押してください。**

### Q CDやDVDなどのディスクから起動できない。

**A 本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたらFnキーを押しながらF11キーを押してください。**

**A 別売りの専用ドライブ以外からは、本機を起動できません。**

専用ドライブは付属または別売りのポートリプリケーターに接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。専用ドライブをお使いになるときは、ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## FeliCaポート

### Q FeliCa機能が使えない。

**A 通知領域のアイコンが (オン)になっているか確認してください。**

(オン)になっていない場合は、 (オフ)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オン]を選択ください。

または、 (オフ)をクリックしてもオンにすることができます。

**A FeliCaカードの位置を確認してください。**

付属または別売りのポートリプリケーターの (FeliCaプラットフォームマーク)にあわせて置いてください。

**A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー/ライター)などに不具合がある可能性があります。**

「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

① 通知領域にある (オン)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オフ]を選択する。

② (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[FeliCaポート自己診断]をクリックする。

③ 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。
診断が開始され、結果が表示されます。

FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。

また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCa発行者にお問い合わせください。

# 内蔵カメラ(MOTION EYE)

## Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)が使えない。

**A 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使うソフトウェアを複数同時に使用することはできません。**

そのソフトウェアを終了させて、本機を再起動してください。

それでもカメラが使えない場合は、カメラのドライバを再インストールする必要があります。

次の手順に従って再インストールしてください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]－[デバイス マネージャ]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「デバイス マネージャ」画面が表示されます。

③ [イメージング デバイス]をダブルクリックする。

④ [Sony Visual Communication Camera VGP-XXXX]を右クリックし、[ドライバの更新]をクリックする。

**A 使用するカメラに切り替えてください。**

カメラ使用時に表示される「VAIO カメラユーティリティ」ソフトウェアで前面カメラ(MOTION EYE)と背面カメラ(MOTION EYE)を切り替えてください。(85ページ)

**A 回転モード時は内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用できません。**

通常モードでご使用ください。

## Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)からの映像が表示されない。

**A 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使うソフトウェアを複数同時に使用することはできません。**

そのソフトウェアを終了させてください。

**A 画面モードや色数、その他の使用状況によっては、ビデオメモリが不足するため、カメラからの映像が表示されない場合があります。**

その場合は、解像度を下げたり色数を減らしてください。

**A 上記の操作をしても内蔵カメラ(MOTION EYE)からの映像が表示されない場合は、本機を再起動してください。**

## Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)からの映像が数秒間止まることがある。

**A 次の場合、映像が数秒間止まることがありますが、故障ではありません。**

- Fnキーを使ったキーボードショートカットを行ったとき。
- CPUの負荷が高くなったとき。

## Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)で撮影した画像が粗い。

**A 蛍光灯の下で撮影した画像は光の反射が映ることがあります。**

**A 撮影した画像に暗い部分があるときは、ノイズが発生することがあります。**

**A レンズ前面のプレートが汚れていると、きれいに撮影できません。**

汚れていたらきれいにしてください。(283ページ)

## Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)で撮影した画像に、上下方向に移動する明暗の横縞模様のノイズが発生する。

**A これはフリッカノイズと呼ばれ、蛍光灯等の下で内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用した場合、光の明るさ加減によって、蛍光灯のちらつきと内蔵カメラ(MOTION EYE)のシャッタースピードとの関係により起こる現象です。**

フリッカノイズが気になる場合は、カメラのプロパティの「画像の調整」タブで「Power Line の頻度(ちらつき補正)」の周波数を変更してください。また、本機の向きを変えることでカメラの向きを変えてみたり、カメラのプロパティでカメラ画像の輝度を調節することによりノイズの発生が改善する場合があります。

## Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用中にスリープモードまたは休止状態に移行すると、本機の動作が不安定になる。

**A 内蔵カメラ(MOTION EYE)または外付けUSBカメラの使用中には、スリープまたは休止状態に移行させないでください。**

自動的にスリープまたは休止状態に移行してしまう場合は、省電力動作モードの設定を変更してください。省電力動作モードの設定については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用中にスリープモードに移行すると、本機の動作が不安定になる。

**A 内蔵カメラ(MOTION EYE)または外付けUSBカメラの使用中には、スリープモードに移行させないでください。**

**A 自動的にスリープモードに移行してしまう場合は、設定を変更してください。**

設定について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## ソフトウェア

**Q　ソフトウェアの使いかたがわからない。**

**A 各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。**

**Q　ソフトウェアを終了した、または電源を切ったら、データが消えた。**

**A ソフトウェアを終了したり、電源を切ると、保存していないデータは消えてしまいます。**

万一のアクシデントに備えて、データはこまめに保存（バックアップ）しておくようにしてください。

**Q　ソフトウェアの動作が遅い。**

**A 本機に周辺機器を接続している場合は、いったんそれらの機器を取りはずしてから動作を確認してください。**

**Q　ソフトウェアのインストール方法がわからない。**

**A 本機に付属のソフトウェア以外をインストールする場合、そのインストール方法については、ソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。**

## ワンセグ放送（ワンセグチューナー搭載モデル）

**Q　テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。**

**A アンテナの受信状況が良好か確認してください。**

受信状況が悪い場所では、テレビを視聴することはできません。
窓際や屋上など電波の届きやすい場所で、テレビを視聴してください。

**A 受信しにくい場合は、アンテナの角度や本体の向きを調整すると改善することがあります。**

**A 本機を金属製の机などの上に置くと、受信しにくくなることがあります。**

**A 電波が弱い場合は、コマ落ちしたり急に映らなくなることがあります。**

デジタル放送の場合、アナログ放送のようにノイズが多い映像などが映ることはありません。

**A 視聴する地域に対応したチャンネルリストが必要です。**

視聴する地域でチャンネルリストを作成し直してください。（87ページ）

**Q 見たいチャンネルを選択できない。**

**A 録画中は、録画しているチャンネル以外は視聴できません。**

**Q 録画した映像がコマ落ちしている、または正常に再生できない。**

**A 録画中の負荷が高くなりすぎると、コマ落ちすることがあります。**

録画中は、他のソフトウェアを起動したり使用しないでください。

**A 録画中に電波状況が悪かった場合、コマ落ちすることがあります。**

録画は、電波状況が良好な場所で行ってください。

**Q 予約録画できない。**

**A 本機はバッテリ駆動時には、休止状態からの予約録画に対応していません。**

バッテリ駆動時に予約録画を行う場合は休止状態に移行しないよう設定してください。

また、休止状態から予約録画を行う場合はACアダプタをつないでください。

# インターネット接続

## ADSL

**Q ADSLでインターネットに接続できない。**

**A 接続状態を確認してください。**

- ケーブル類が正しく接続されているか確認する。
  プロバイダから入手した取扱説明書をご覧になり、ケーブルの種類や接続するコネクタの位置を確認してください。ケーブル類は「カチッ」と音がするまでコネクタに差し込んでください。また、予備のケーブルがあれば、ケーブルを交換して試してください。
- ADSLモデムやスプリッタが正しく動作しているか確認する。
  確認方法については、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ADSLモデムの電源を切り、しばらくしてから入れ直す。
  それでも接続できない場合は、ADSLのリンクが切れている可能性がありますのでADSL接続業者にお問い合わせください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**A ADSLモデムの設定を確認してください。**

ADSLモデムの設定については、プロバイダから入手した説明書をご覧ください。

## Q ADSL接続のネットワーク(LAN)コネクタの接続方法がわからない。

**A 付属のディスプレイ/LANアダプタや付属または別売りのポートリプリケーターのLANコネクタにネットワーク(LAN)ケーブルを接続してください。**

ただし、お客様の接続環境によって接続方法が異なる場合がありますので、ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ヒント
- ディスプレイ/LANアダプタは、I/Oロゴのある面を上にしてI/O コネクタに接続してください。
- ディスプレイ/LANアダプタを取りはずすときは、コネクタ部の左右のつまみを押しながらI/O コネクタから引き抜いてください。

# ネットワーク(LAN)

## Q ネットワーク(LAN)が使えない。

**A VAIO 省電力設定を確認してください。**

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオの設定]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

② [電源・バッテリ]ー[電源オプション]をダブルクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。

③ 現在使用しているプランの[プラン設定の変更]をクリックする。

④ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。

⑤ [VAIO 省電力設定]タブの「ネットワーク(LAN)」の設定を「電源オン」にする。
「電源オフ」に設定すると、ネットワーク(LAN)は使えません。
詳しくはVAIO 省電力設定のヘルプをご覧ください。

## Q ネットワーク(LAN)に接続できない。

**A 接続状態を確認してください。**

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**A 設定を確認してください。**

ネットワークに接続するための設定について詳しくは、ADSLモデムや接続している周辺機器の取扱説明書を参照してください。職場などでは、職場のネットワーク管理担当者にご確認ください。

## 携帯電話

### Q 携帯電話を使ってインターネットに接続できない。

**A 携帯電話や接続アダプタの設定を確認してください。**

お使いの携帯電話や接続アダプタに付属の取扱説明書をご覧になり、設定を確認してください。

**A 次の手順で、所在地情報を確認してください。**

① (スタート)ボタン－[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]アイコンをクリックする。

③ [電話とモデムのオプション]アイコンをクリックする。
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

④ 設定されている所在地をクリックして選び、[編集]をクリックする。
「所在地の編集」画面が表示されます。

⑤ [全般]タブの「市外局番」に何も入力されていないときは、「000」など実在しない番号を入力する。

## インターネット閲覧

### Q 接続するが通信速度が遅い。

**A 回線が込み合っている場合や回線の品質が悪い場合は、エラーが発生しないよう自動的に通信速度を落とします。**

### Q ADSL接続中に突然つながらなくなった。

**A いったんADSLモデムの電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直してください。**

ADSLモデムの長時間利用などが原因で接続できなくなる場合があります。詳しくは、ADSLモデムに付属の取扱説明書をご覧ください。

### Q ホームページを見ることができない。

**A Webブラウザの設定を確認してください。**

プロバイダによっては、webブラウザの設定が必要な場合があります。契約したプロバイダから送られてくる資料などをご覧になり、設定を確認してください。

**A 見たいホームページのURLを確認してください。**

アドレスバーに表示されているURLが正しく入力されているか確認します。URLは半角英数字で入力してください。

## Q ホームページが文字化けしている。

**A 正しい表示文字コードを選んでください。**

次の手順で操作してください。

① 「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動後、画面上部の[ページ]をクリックする。
② 表示されるメニューの[エンコード]にポインタをあわせたあと、[自動選択]のチェックをはずす。
③ 再び、画面上部の[表示]をクリックし、表示されるメニューの[エンコード]にポインタをあわせたあと、[日本語(自動選択)]、[その他]-[日本語(シフト JIS)]、[その他]-[日本語(EUC)]のそれぞれをクリックして試す。

**!ご注意**
ホームページによっては、文字化けが直らないことがあります。

## Q ホームページの文字サイズを大きくしたい。

**A 文字サイズを変更してください。**

次の手順で操作してください。

① 「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動後、画面上部の[ページ]をクリックする。
② 表示されるメニューの[文字のサイズ]にポインタをあわせ、[大]または[最大]をクリックする。

## Q ネットワークに接続すると、通知領域に「Smart Networkはネットワークの切換えを感知しました。・・・」というメッセージが表示される。

**A 「Smart Network」ソフトウェアが起動していると、ネットワークへの接続に応じてメッセージが表示されます。**

「Smart Network」ソフトウェアについて詳しくは、「Smart Network」のヘルプをご覧ください。

# 電子メール

## Q 電子メールをやりとりできない。

**A 「Windowsメール」ソフトウェアをお使いの場合は、次の手順で操作し、電子メールソフトウェアの設定を確認してください。**

プロバイダから郵送された資料をご覧になりながら、設定内容が正しいか確認していきます。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windowsメール]をクリックする。
「Windowsメール」ソフトウェアが起動します。
「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、[オフライン作業]をクリックします。

② [ツール]メニューから[アカウント]をクリックする。
「インターネットアカウント」画面が表示されます。

③ お使いのアカウントをクリックして選び、[プロパティ]をクリックする。
「(お使いのアカウント名)のプロパティ」画面が表示されます。

④ タブごとに、各項目が正しく入力されているか確認する。

**！ご注意**
文字は半角文字で入力してください。全角で入力すると、電子メールソフトウェアが正しく設定されません。

**A 「Windowsメール」ソフトウェア以外の電子メールソフトウェアをお使いの場合は、それぞれのソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧になり、プロバイダから郵送された資料の設定項目が正しく入力されているか確認してください。**

**A 電子メールアドレスが間違っていないか確認してください。**

「Outlook」ソフトウェアや「Windowsメール」ソフトウェアで、同じメールを複数の相手に送るときは、メールアドレスを「;」(セミコロン)で区切って入力してください。セミコロンのあとにはスペースなどを入れないでください。

**A プロバイダのメールサーバーの状態によって、一時的にメールの送受信ができない場合があります。プロバイダのホームページなどで確認してください。**

## Q 電子メールが文字化けしている。

**A 受信メールに半角のカタカナや特殊な記号が使われていると、文字化けの原因になります。**

メールの送信元に、半角のカタカナや特殊記号を使っていないか確認してください。

**A 「Windowsメール」ソフトウェアで送ったメールが文字化けしているときは、設定を確認してください。**

購入時には、HTMLメールを送るように設定されているため、送信先の電子メールソフトウェアがHTMLメールに対応していない場合には、文字化けすることなどがあります。

次の手順で、メールの送信形式、エンコード方式の設定を確認してください。

① 「Windowsメール」ソフトウェアの起動後、画面上部の[ツール]をクリックして[オプション]をクリックする。

② [送信]タブをクリックする。

③ 「メール送信の形式」にある[テキスト形式の設定]をクリックする。
「テキスト形式の設定」画面が表示されます。

④ 設定画面で次のように設定し、[OK]をクリックする。
- メッセージ形式:MIME
- エンコード形式:なし
- 8ビットの文字をヘッダーに使用する:チェックなし

⑤ 「ニュース送信の形式」にある[テキスト形式の設定]をクリックする。
「テキスト形式の設定」画面が表示されます。

⑥ 設定画面で次のように設定し、[OK]をクリックする。
- メッセージ形式:MIME
- エンコード形式:なし
- 8ビットの文字をヘッダーに使用する:チェックなし

⑦ [OK]をクリックする。

## Q 電子メールに添付されているファイルが開けない。

**A 電子メールに添付されているファイルは、ファイルを作成したソフトウェアが本機にインストールされていないと開くことはできません。**

例えば、「Microsoft Word」や「Microsoft Excel」で作成したファイルは、各ソフトウェアがインストールされていないと開くことはできません。

**A 「次の添付ファイルは安全でないため･･･」などのメッセージが表示され、受信したメールに添付されたファイルを開けない場合は、次の手順で操作してください。**

**！ご注意**

この操作を行うと、ウイルスに感染している可能性があるファイルも受信されますので、ご注意ください。

① （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Windows メール」をクリックする。
「Windowsメール」ソフトウェアが起動します。

② [ツール]ー[オプション]をクリックする。
「オプション」画面が表示されます。

③ [セキュリティ]タブをクリックし、[ウイルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない]のチェックボックスがチェックされている場合は、チェックをはずします。

④ [OK]をクリックする。

## ワイヤレスLAN

### Q ワイヤレスLANが使えない。

**A ワイヤレススイッチが「ON」になっているか確認してください。**

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**A 本機に内蔵されているワイヤレスLAN機能を使うには、通信するための設定を行う必要があります。**

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**A 本機のワイヤレスLANの設定を確認してください。**

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**A WLAN AutoConfigサービスが開始されているか確認してください。**

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [システムとメンテナンス]をクリックする。

③ [管理ツール]をクリックする。
「管理ツール」画面が表示されます。

④ [サービス]をダブルクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「サービス」画面が表示されます。

⑤ 「WLAN AutoConfig」の項目を確認する。
状態が「開始」、スタートアップの種類が「自動」になっている場合、WLAN AutoConfigサービスは開始されています。

**ヒント**

WLAN AutoConfigサービスが開始されていない場合、次の手順でサービスを開始してください。

1) 「WLAN AutoConfig」を右クリックして[プロパティ]をクリックする。
「WLAN AutoConfig のプロパティ」画面が表示されます。
2) スタートアップの種類を「自動」にし、[適用]をクリックする。
3) [サービスの開始]をクリックし、画面を閉じる。

---

## Q ワイヤレス機能が選択できない。

**A デスクトップ画面右下の通知領域に、またはなどの「ワイヤレススイッチ」アイコンが表示されていることを確認してください。**

アイコンが表示されていないときは、ワイヤレス機能の選択ができません。

次の手順で操作して、アイコンを表示させてください。

① （スタート）ボタン－[コンピュータ]をクリックする。

② [ローカル ディスク（C:）]－[Program Files]－[Sony]－[Wireless Switch Setting Utility]－[Switcher]をダブルクリックする。

**A ワイヤレス機能を無効に設定した後、再起動すると、「ワイヤレス機能の選択」画面にワイヤレス機能の選択表示がされないことがあります。**

次の手順で操作して、ワイヤレス機能の表示がされるようにしてからワイヤレス機能を選択してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]－[ネットワークとインターネット]－[ネットワークと共有センター]をクリックする。
② 画面左側の[ネットワーク接続の管理]をクリックする。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
③ [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックして[有効にする]を選ぶ。
④ 通知領域の 、 または などの「ワイヤレススイッチ」アイコンを右クリックし、[終了]を選ぶ。
⑤ (スタート)ボタン－[コンピュータ]をクリックする。
⑥ [ローカル ディスク (C:)]－[Program Files]－[Sony]－[Wireless Switch Setting Utility]－[Switcher]をダブルクリックする。

---

## Q 本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない(インターネットにアクセスできない)。

**A 上記の「ワイヤレスLANが使えない。」の項目を確認してください。**

**A ワイヤレスLANアクセスポイントの電源が入っているか確認してください。**

**A ワイヤレスLANアクセスポイントの設定を確認してください。**

設定について詳しくは、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書や、契約されているプロバイダの設定方法のしおりなどをご覧ください。

**A 本機とワイヤレスLANアクセスポイントが接続されているか確認してください。**

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**A 通信機器間の通信可能な距離は、実際の通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。**

本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離を近づけてください。

**A 「ネットワークに接続」画面にワイヤレスLANアクセスポイントが表示されているか確認してください。**

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ネットワークとインターネット]アイコンをクリックする。
③ 「ネットワークと共有センター」の[ネットワークへの接続]をクリックする。
「ネットワークに接続」画面が表示されます。
④ ワイヤレスLANアクセスポイントが表示されているか確認する。

**A 入力したセキュリティ キーが間違っていることがあります。**

セキュリティ上、1度設定したセキュリティ キーは「●」で表示され、確認することはできません。再度入力し直してください。

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ネットワークとインターネット]ー[ネットワークと共有センター]をクリックする。

③ 画面左側の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックする。
「ワイヤレス ネットワークの管理」画面が表示されます。

④ 「表示および修正が可能なネットワーク ...」のリストから確認したいものを選んで右クリックし、[プロパティ]をクリックする。
プロパティ画面が表示されます。

⑤ [セキュリティ]タブをクリックする。

⑥ 「ネットワーク セキュリティ キー」を入力し直し、[OK]をクリックする。

**A ワイヤレス機能の設定が、使用しているワイヤレスLANアクセスポイントのワイヤレスLAN機能と同じ設定になっているか確認してください。**

ワイヤレス機能の設定で2.4 GHzワイヤレスLANのみを有効にしている場合は、5 GHzワイヤレスLANのワイヤレスLANアクセスポイントには接続できません。

また、5 GHzワイヤレスLANのみを有効にしている場合は、2.4 GHzワイヤレスLANのワイヤレスLANアクセスポイントには接続できません。

**A インターネットからのアクセスを制限する設定がされている場合は、通信できない場合があります。**

お使いのセキュリティ対策ソフトウェアやWindowsのファイアウォール機能でアクセス制限をかけている場合、接続できないことがあります。設定を確認してください。

**A ワイヤレスアダプタの設定を「最大パフォーマンス」に変更してください。**

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [システムとメンテナンス]ー[電源オプション]をクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。

③ 選択している電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。

④ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。

⑤ [ワイヤレスアダプタの設定]で「省電力モード」を[最大パフォーマンス]に変更する。

## Q ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする。また、通信速度が遅い。

**A 本機の配置を変えたり、ワイヤレスLAN製品に近づけたりして、電波の受信環境を変えてください。**

ワイヤレスLANの通信速度や通信状態は、実際の通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、壁の有無・素材などの周辺の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。

**A ワイヤレスLANアクセスポイントへのアクセスが集中している可能性があります。**

時間をおいてから、もう1度アクセスしてください。

**A アクセスポイントのチャンネル設定を変更してください。帯域干渉による影響が無くなり、通信速度が改善する場合があります。**

ただし、IEEE 802.11gは、IEEE 802.11bと混在する環境下においてはIEEE 802.11bとの互換性を保持するために、自動的に通信速度が遅くなります。

また、IEEE 802.11b間においても、チャンネル帯域の干渉が起こると通信速度が低下することがあります。

**A 他のワイヤレスLANアクセスポイントと混信している場合は、ワイヤレスLANアクセスポイントで無線チャンネルの設定をしてください。**

設定について詳しくは、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

**A 電子レンジを近くで使用していないか確認してください。**

IEEE 802.11b/gで使用する2.4 GHz帯はさまざまな機器が共有して使用する電波帯です。ワイヤレスLANでの通信中に周囲で電子レンジを使用していると、場合によっては通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

**A ワイヤレスアダプタの設定を「最大パフォーマンス」に変更してください。**

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [システムとメンテナンス]－[電源オプション]をクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。

③ 選択している電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。

④ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。

⑤ 「ワイヤレスアダプタの設定」で「省電力モード」を[最大パフォーマンス]に変更する。

## Q ネットワーク上の他のコンピュータが表示されない。

**A Windowsのネットワーク設定を確認してください。**

ネットワーク設定について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

**A 他のコンピュータがワイヤレスLANネットワークの中に存在しない場合は表示されません。**

## Q 内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス（MACアドレス）を確認したい。

**A 本機の内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス（MACアドレス）を確認してください。**

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンド プロンプト］をクリックする。
「コマンド プロンプト」画面が表示されます。

②「ipconfig /all」と入力し、Enterキーを押す。

③「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「物理アドレス」欄で、物理アドレス（MACアドレス）を確認する。

## Q 本機と従来チャンネルのIEEE 802.11aアクセスポイントの接続を行いたい。

**A 本機は、従来チャンネルの5 GHzワイヤレスLANアクセスポイントとの接続を行うことができます。**

新拡張チャンネルの5 GHzワイヤレスLANアクセスポイントとの接続を行うこともできます。

電波法改正後の従来チャンネルのワイヤレスLAN対応機器と新チャンネルのワイヤレスLAN対応機器の互換性については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## Q ワイヤレスLANの通信を終了したい。

**A ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。**

ワイヤレスLAN機能がオフになり、ワイヤレスLANランプが消灯します。

## Bluetooth機能

### Q Bluetooth機能が使えない。

**A Bluetoothランプが点灯していることを確認してください。**

Bluetoothランプが消灯している場合は、Bluetooth機能が使えません。ワイヤレススイッチを「ON」にあわせ、Bluetoothランプをブルーに点灯させてください。

**A Bluetooth機能が利用できる設定になっているか確認してください。**

デスクトップ画面右下の通知領域にある 、 または などの「ワイヤレススイッチ」アイコンをダブルクリックして「ワイヤレス機能の選択」画面を表示し、「Bluetooth機能を利用する」のチェックボックスにチェックが入っているか確認してください。

アイコンが表示されていないときは、次の手順で操作して、アイコンを表示させてください。

① (スタート)ボタンー[コンピュータ]をクリックする。

② [ローカル ディスク (C:)]ー[Program Files]ー[Sony]ー[Wireless Switch Setting Utility]ー[Switcher]をダブルクリックする。

### Q ワイヤレス機能が選択できない。

**A デスクトップ画面右下の通知領域に 、 または などの「ワイヤレススイッチ」アイコンが表示されていることを確認してください。**

アイコンが表示されていないときは、ワイヤレス機能の選択ができません。

次の手順で操作して、アイコンを表示させてください。

① (スタート)ボタンー[コンピュータ]をクリックする。

② [ローカル ディスク (C:)]ー[Program Files]ー[Sony]ー[Wireless Switch Setting Utility]ー[Switcher]をダブルクリックする。

**A ワイヤレス機能を無効に設定した後、再起動すると、「ワイヤレス機能の選択」画面にワイヤレス機能の選択表示がされないことがあります。**

次の手順で操作して、ワイヤレス機能の表示がされるようにしてからワイヤレス機能を選択してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]－[ネットワークとインターネット]－[ネットワークと共有センター]をクリックする。
② 画面左側の[ネットワーク接続の管理]をクリックする。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
③ [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックして[有効にする]を選ぶ。
④ 通知領域の 、 または などの「ワイヤレススイッチ」アイコンを右クリックし、[終了]を選ぶ。
⑤ (スタート)ボタン－[コンピュータ]をクリックする。
⑥ [ローカル ディスク (C:)]－[Program Files]－[Sony]－[Wireless Switch Setting Utility]－[Switcher]をダブルクリックする。

---

## Q Bluetooth機能で通信できない。

**A 下記の「通信相手の機器が表示されない。」の項目を確認してください。**

**A 接続したい機器との認証を確認してください。**

機器によっては、認証されていない機器間の接続を拒否するように設定されています。接続するには、接続する機器との認証が必要になります。

---

## Q 通信相手の機器が表示されない。

**A 通信機器間の距離を10 m以内に近づけてください。**

本機と通信相手の機器間の距離が10 m以上ある場合は通信できません。

本機と通信相手の機器間の距離が10 m以内でも、機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどによって、通信できない場合があります。本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離をさらに近づけてください。

**A 通信先のBluetooth機能がオンになっているか、または通信先の機器が省電力動作モードになっていないか確認してください。**

**A 通信先のBluetooth対応機器が、Bluetooth機能を使用できる状態になっているか確認してください。**

状態の確認方法について詳しくは、通信先のBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

**A 通信相手が他の機器と接続している場合は、通信相手として表示されなかったり、本機と通信できない場合があります。**

## Q データ転送速度が遅い。

**A 本機と通信相手の機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどによって、データ転送速度は変化します。**

本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離を近づけてください。

**A 1台のバイオでBluetooth機能とワイヤレス機能を同時に使用すると、通信速度などに影響を及ぼす場合があります。**

**A 通信相手のBluetooth対応機器の仕様が「Version2.0+EDR」ではない場合、最大速度は721 kbpsになります。**

## Q Bluetooth機能を終了できない。

**A ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせて、Bluetoothランプを消してください。**

Bluetooth通信の終了方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

Bluetoothランプが消えても終了できない場合は、「電源を切る」(48ページ)の手順に従って電源を切ってください。本機の電源が切れない場合は、本機の⏻POWER(パワー)スイッチを上側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにして、電源を切ります。

## Q 通信先のBluetooth対応機器が対応しているサービスで接続できない。

**A 本機が対応しているサービスでのみ接続できます。**

対応しているサービスについて詳しくは、「Bluetooth(TM)ユーティリティ」ソフトウェアのヘルプおよび通信先のBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

## Q 制限付きユーザーアカウント(標準ユーザー)でBluetooth通信できない。

**A 制限付きユーザーアカウント(標準ユーザー)でBluetooth通信を行うと、正常に動作しない場合があります。**

その場合は、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてください。

## Q ユーザーの切り替え先でBluetooth Utilityが使用できない。

**A ログオフせずにユーザー切り替えを行った場合は、切り替え先のユーザーアカウントでBluetooth Utilityは正常に動作しません。**

ログオフしてからユーザー切り替えを行ってください。

**Q IPアドレスを指定してBluetooth通信できない。**

**A PAN(Personal Area Network)サーバー上で固定IPアドレスを指定した場合は、正常に動作しません。**

本機に搭載されているBluetooth Utilityは、DHCPによってIPアドレスが自動的に割り振られます。PANサーバーを使用する場合は、IPアドレスを指定せずに通信を行ってください。

**Q 他のBluetooth機器に接続できない。**

**A 通信相手の機器がPANU(Personal Area Network User)しかサポートしていない場合は、本機との接続はできません。**

**Q Bluetooth Audio機能を使用するとシステムが不安定になる。**

**A Bluetooth Audio機能を使用して音楽や映像の音を聞く場合、音楽や映像の再生ソフトウェアを起動中にBluetooth Audio接続に切り替えるとシステムが不安定になる場合があります。**

Bluetooth Audio機器を接続してから、再生ソフトウェアを起動してください。

## i.LINK／DV機器

**Q i.LINKが使えない。**

**A VAIO 省電力設定を確認してください。**

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオの設定]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

② [電源・バッテリ]－[電源オプション]をダブルクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。

③ 現在使用しているプランの[プラン設定の変更]をクリックする。

④ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。

⑤ [VAIO 省電力設定]タブの「i.LINK ポート」の設定を「電源オン」にする。
詳しくはVAIO 省電力設定のヘルプをご覧ください。

**Q　DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。**

**A　DV機器の電源が入っているか、またはケーブルが正しく接続されているか確認してください。**

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**A　i.LINKでは、複数の機器を接続して動くように設計されていますが、機器との組み合わせによっては、動作が不安定になることがあります。**

接続されている機器すべての電源をいったん切り、なるべく不要な機器を取りはずして、ケーブルの接続を確認した後、再度電源を入れてください。

**Q　本機と接続した i.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。**

**A　i.LINK対応機器の電源を切って、i.LINKケーブルを抜き差しし、i.LINK対応機器の電源を入れて、機器の起動が完了してから接続し直してください。**

接続については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## プリンタ

**Q　プリンタで印刷できない。**

**A　プリンタが正しく設定されているか確認してください。**

プリンタの設定について詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

**A　プリンタの電源が入っているか確認してください。**

詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

**A　本機とプリンタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれ正しく接続されているか確認してください。**

**A　プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされているか確認してください。**

新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

プリンタドライバのセットアップ方法については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

**A 使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」に設定されているか確認してください。**

次の手順で設定を変更してください。

① (スタート)ボタン−[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]の[プリンタ]をクリックする。
「プリンタ」画面が表示されます。

③ 使用したいプリンタのアイコンの右下にチェックがついているか確認する。
チェックがついていない場合には、使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定]をクリックしてください。

**A プリンタのテスト印字ができるか確認してください。**

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にお問い合わせください。

**A プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っているか確認してください。**

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタに付属の取扱説明書をご覧になってケーブルを確認してください。

**A Windows Vista対応でないプリンタドライバではお使いになれません。**

プリンタの製造元からWindows Vistaに対応したドライバを入手してお使いいただくか、プリンタの製造元へお問い合わせください。

**A プリンタがネットワーク(LAN)に接続されているか確認してください。**

プリンタがネットワーク(LAN)に直接接続されている場合は、ルータやハブなどの電源が入っているか確認してください。

プリンタがプリンタサーバに接続されている場合は、プリンタサーバにエラーが表示されていないか確認してください。

**A ソフトウェアに問題がないか確認してください。**

データによっては、ソフトウェアに問題があって、正しく印刷できないものがあります。

ソフトウェアやプリンタの製造元にお問い合わせください。

**A 印刷先のプリンタポートが正しく設定されているか確認してください。**

プリンタポートの設定について詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書をご覧いただくか、プリンタの製造元にお問い合わせください。

**A プリンタが双方向通信機能を持つ場合は、双方向通信機能をオフにすると印刷可能になる場合があります。**

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタンー[コントロールパネル]をクリックする。

② [ハードウェアとサウンド]の[プリンタ]をクリックする。
「プリンタ」画面が表示されます。

③ 印刷したいプリンタを右クリックして、[プロパティ]を選ぶ。

④ [ポート]タブをクリックする。

⑤ [双方向サポートを有効にする]のチェックボックスをクリックし、チェックをはずす。

⑥ [OK]をクリックする。

**！ご注意**
プリンタからデータ転送、ステータスモニタ、リモートパネルなどの双方向通信を利用した機能がご利用になれなくなります。

---

## Q プリンタで印刷できない。（今までできていたのにできなくなった場合）

**A プリンタが用紙切れ、トナー、インク切れになっていないか確認してください。**

プリンタに付属の取扱説明書に従って用紙やトナー、インクを補充してください。

**A プリンタが印刷可能な状態（オンライン）になっているか確認してください。**

プリンタに「印刷可（オンライン）」や「準備完了」と表示されていることを確認してください。また、プリンタに付属の取扱説明書に従って正しく設定されているか確認してください。

**A ソフトウェアに問題がないか確認してください。**

データによっては、ソフトウェアに問題があって、正しく印刷できないものがあります。

ソフトウェアやプリンタの製造元にお問い合わせください。

## ポートリプリケーター

### Q ポートリプリケーターに接続した周辺機器が使用できない。

**A 本機とポートリプリケーターが正しく接続されていない可能性があります。**

ポートリプリケーターから本機を取りはずし、もう1度接続し直してください。
接続については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

**A ポートリプリケーターをお使いになる場合は、ポートリプリケーターの DC IN 16V コネクタにACアダプタを接続してください。**

**A USB機器の取り付け／取りはずしを繰り返し行うと、まれにUSB機器が認識されなくなる場合があります。**

このような場合は、作業中のデータを保存してから、本機を再起動してください。

## カスタマー登録

### Q オンラインでカスタマー登録できない。

**A カスタマー登録するときは、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。**

**A 本機がインターネットに正しく接続されているか確認してください。**

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## エラーメッセージ

表示されたメッセージの回避方法をご案内します。

### Q BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.

**A 「電源／起動」（177ページ）をご覧ください。**

### Q Enter Onetime Password

**A 「電源／起動」（178ページ）をご覧ください。**

**Q** Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

**A** 「電源／起動」(177ページ)をご覧ください。

---

**Q** No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

**A** 「電源／起動」(177ページ)をご覧ください。

---

**Q** Operating System not found

**A** 「電源／起動」(178ページ)をご覧ください。

---

**Q** Press <F1> to resume, <F2> to Setup

**A** 「電源／起動」(178ページ)をご覧ください。

---

**Q** System Disabled

**A** 「電源／起動」(178ページ)をご覧ください。

---

**Q** このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。

**A** 「電源／起動」(177ページ)をご覧ください。

# サービス・サポート

# VAIOの最新情報を自動的に入手する

## 「VAIO Update」とは

「VAIO Update」は、ソニーがご提供するお客様への「重要なお知らせ」やご使用のバイオを最新の状態にできる「アップデートプログラム」などの情報を自動的にお知らせするソフトウェアです。
ソニーがご提供する情報が更新されると、「VAIO Update」はタスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。

**ヒント**
VAIO Updateは、無料でご利用いただけます（インターネットご利用時にかかる通信費はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください）。

**！ご注意**
VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

### VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。

- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号やOSおよびインストールソフトウェアなどの情報、ならびにお客様の個人情報をサーバーに送信しません 。
  お客様の個人情報を送信することなくサービスをご提供しておりますので、安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためで、ここから個人情報への結びつけは行いません。

## 「VAIO Update」の設定を行う

VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。

**1** 「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された際にバルーンをクリックするか、または（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［VAIO Update 3］ー［VAIO Updateの設定］をクリックする。

「VAIO Updateの設定」画面が表示されます。

## 2 「VAIO Updateへようこそ」の内容をスクロールして最後まで読む。

画面表示が下記に変わります。

## 3 「定期的にサーバーと通信を行い、新着情報を確認する」および「タスクバーにアイコンを表示する」のチェックボックスにチェックがあることを確認し、[OK]をクリックする。

# 「VAIO Update」を利用する

## 1 VAIO Updateのバルーン画面をクリックする。

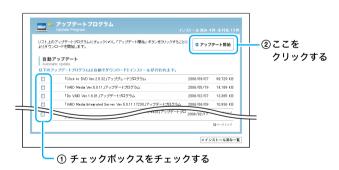
（実際の画面とは異なる場合があります。）

VAIO Updateのバルーン画面は、タスクバーの通知領域に表示されます。

## 2 「重要なお知らせ」の確認を行う。

セキュリティ関連情報などソニーがお客様へご提供する「重要なお知らせ」を確認することができます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

## 3 アップデートを行う。

アップデートプログラムには、自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。
プログラムの左に表示されているチェックボックスにチェック（複数選択可）を入れ、［アップデート開始］をクリックすると、アップデートが開始されます。

- 自動アップデート：ダウンロードとインストールを行います。
- 手動アップデート：ダウンロードまで行いますので、ダウンロード後はプログラムの件名をクリックし、表示される内容に従ってインストールしてください。

  * アップデートを行うには、管理者権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。

**ヒント**

アップデートプログラムは、セキュリティ対策などで重要度の高いものには、プログラム名の横に ! のアイコンが表示されます。
この重要度の高いものについては、アップデートを強くおすすめします。

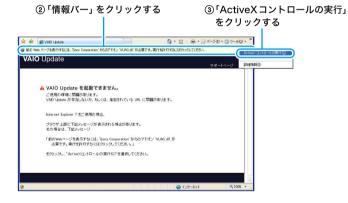
### 「VAIO Update」が起動しないときは

VAIO Updateのバルーン表示をクリックすると、下記の画面が表示される場合があります。
表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください。

①ここをクリックする

（実際の画面とは異なる場合があります。）

画面上部の「情報バー」をクリックし、「ActiveXコントロールの実行」をクリックします。

*　VAIO Updateで使用するActiveXコントロールの実行により、お使いのバイオに影響を及ぼすことはありません。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

VAIO Update画面が表示されます。

# バイオ内の情報を調べる

本機には、「バイオ電子マニュアル」が付属しています。本機の基本的な使いかたやよくあるトラブルの解決方法などが記載されています。この説明書とあわせてご覧ください。
「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。
さらに、「困ったときはどうすればいいの？」（172ページ）や関連する項目をご覧ください。

## 「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」を起動するには、（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［バイオ電子マニュアル］の順にクリックします。

## Windows ヘルプとサポートを見る

（スタート）ボタンー［ヘルプとサポート］をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と検索や各種サポートツールの実行を行うことができます。

## 各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。

**ヒント**

ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

# VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する

## VAIOカスタマーリンクホームページでできること

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンク ホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページでは、バイオに関するトラブル解決やさらに活用するための各種情報、バイオを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供していますので、定期的にご覧ください。
**VAIO**カスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

**！ご注意**
本書内の「サービス・サポート」の内容は、2007年6月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンク ホームページでご確認ください。

### VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには、次の2通りの方法があります。

❑「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを使用する

**1** (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]をクリックする。

**2** 画面上部の (お気に入り)をクリックして、[2.VAIOサポートページ]－[1 サポート(サービス・サポート情報)]をクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

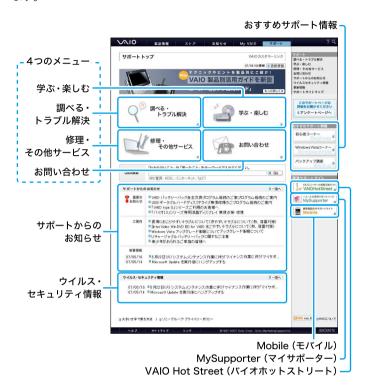
❑「VAIOナビ」ソフトウェアを使用する

**1** デスクトップ画面の (VAIOナビ)をダブルクリックして、「VAIOナビ」ソフトウェアを起動する。

**2** 画面左側の[トラブル解決]をクリックして表示された画面で[VAIO サポートページを見る]ボタンをクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

## VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する

http://vcl.vaio.sony.co.jp/
目的別に絞りこんだ4つのメニューを中心に、シンプルで探しやすいトップページをご用意しています。

## 4つのメインメニュー

### ❏ 学ぶ・楽しむ

バイオをより活用したい、楽しみたい、という方はこちらをご利用ください。
やりたいこと別、ソフトウェア別、初心者の方向け、機種別などさまざまな切り口で、バイオを楽しむための活用方法をわかりやすくご紹介しています。
また、セミナーや個人レッスンもご紹介しています。

### ❏ 調べる・トラブル解決

バイオに関する疑問やトラブルを解決したい方はこちらをご利用ください。
問題を解決するための各種情報をわかりやすくご提供しています。

- 製品別サポート情報
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/pc.html
  お客様のバイオ専用のサポート情報ページをご用意しています。
  ご所有の製品に関連する「お知らせ」、「アップデートプログラム」、「他社製品接続情報」などの最新サポート情報をご提供しております。
  ご所有製品のページを「お気に入り」などに追加することをおすすめします。
  詳しくは、「製品別サポート情報」(237ページ)をご覧ください。

- Q&A検索
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/qa/
  キーワードや文章などを入力してQ&A(VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問とその回答)を検索することができます。
  また、カテゴリー別やエラーメッセージ別などに分類された「よくある質問」から、Q&Aを検索する方法もご用意しています。

- 製品接続情報
  各周辺機器メーカー様からご提供いただいた接続情報、バイオをお使いの皆様からVAIO Hot Streetに投稿していただいた接続情報など、バイオにつながる製品の接続情報をご提供しています。

### ❏ 修理・その他サービス

- 修理関連のご案内
  故障かな?と思ったときの確認方法や修理依頼の手順、概算修理料金、修理進捗情報の確認など、修理関連の情報をご提供しています。

- その他サービス
  バイオの設置・設定、インターネットセキュリティ、ソニー純正メモリーやハードディスクなどでのバイオアップグレード、延長保証、リカバリディスク送付など、各種有料サービスをご案内しています。
  サービス内容について詳しくは、「各種有料サービスのご案内」(258ページ)をご覧ください。

### ❏ お問い合わせ

お電話やメールでのお問い合わせ方法、付属ソフトウェアのお問い合わせ先などをご紹介しています。
ホームページから電話サポートの予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンクからお客様にお電話を差し上げる「VAIOコールバック予約サービス」(240ページ)、オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内する「VAIOリモートサービス」(242ページ)も、こちらからご利用いただけます。

### その他

#### ❑ サポートからのお知らせ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/iforu/

VAIOカスタマーリンクからお客様への重要なお知らせや最新のお知らせを掲載しています。

#### ❑ ウイルス・セキュリティ情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

バイオをご使用になる際のセキュリティ関連の最新情報を掲載しています。
インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃やウイルスによる被害が増えてきています。
バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックし、必要な対策をとられることを強くおすすめします。

#### ❑ おすすめサポート情報

VAIOカスタマーリンクが特におすすめするサポートメニューやコンテンツをご紹介しています。

**!ご注意**

おすすめサポートの内容は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

- 初心者コーナー
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/
  初心者の方が知りたい情報をわかりやすくご紹介しています。
  詳しくは、「初心者コーナー」(238ページ)をご覧ください。
- Windows Vistaコーナー
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/vista/
  Windows Vistaの基本操作や設定方法、便利な活用方法などをわかりやすくご紹介しています。
  詳しくは、「Windows Vistaコーナー」(240ページ)をご覧ください。
- バックアップ講座
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/howto/backup/
  バイオに保存されたデータのバックアップ方法と、その復元方法について解説しています。
  大切なデータの保護にお役立てください。

#### ❑ Mobile(モバイル)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

携帯電話向けのサポートサイトです。
ウイルス・セキュリティ情報などの最新サポート情報や修理見積、修理進捗状況など修理関連情報をご提供しています。
詳しくは、「携帯電話向けVAIOサポートサイト」(245ページ)をご覧ください。

#### ❑ MySupporter(マイサポーター)

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

お客様ひとりひとりに合わせて、ご所有機種に対応したサポート情報を自動表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサイトです。

#### ❑ VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
お客様同士でバイオに関する投稿や質問、回答をやりとりしていただけます。
詳しくは、「VAIOユーザーの情報交換サイト」(244ページ)をご覧ください。

## 代表的なサポートメニュー

VAIOカスタマーリンクの代表的なサポートメニューを紹介します。

### 製品別サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/pc.html

製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページの「調べる・トラブル解決」からアクセスします。

詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」(234ページ)をご覧ください。

## 初心者コーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/

初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすく丁寧にご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページのトップページからアクセスします。

詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」(234ページ)をご覧ください。

## その他のコーナー

初心者コーナーの他に3つのコーナーをご用意しています。

**ヒント**

それぞれのタブをクリックすると各コーナーがご覧いただけます。

## ネットワークコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/network/

ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「接続に困ったら」、「ネットワーク構築にチャレンジ」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

## アプリケーションコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/appl/

アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。

## Windows Vistaコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/vista/

Windows Vistaの基本操作や設定方法、便利な活用方法などをQ&Aや活用集、動画などでわかりやすくご紹介しています。

## VAIOコールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html

ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

**ヒント**

VAIOコールバック予約サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です（VAIOコールバック予約サービスのご利用には、お客様がVAIOカスタマー登録を行なわれていることが必要です）。

**予約受付時間：**

24時間いつでもご予約可能（システムメンテナンス時を除く）

**回答時間：**

平日 10：00～ 21：00

土曜、日曜、祝日 10：00～ 17：00

本サービスは、バイオ本体、バイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせに限らせていただきます。

**！ご注意**

VAIOコールバック予約サービスの内容は予告なしに変更する場合があります。

## 1　VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある[VAIOコールバック予約サービス]をクリックする。

ここをクリックする

## 2　「ログイン」ボタンをクリックし、IDとパスワードを入力する。

ここをクリックする

IDは、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDがご利用いただけます。

## 3　「コールバック予約」ボタンをクリックする。

ここをクリックする

準備する
基本操作
活用する
セキュリティ
バックアップ／リカバリ
困ったときは
サービス・サポート
注意事項

## 4 画面に従って操作する。

**ヒント**
「VAIOリモートサービス」をご利用になる場合は、STEP3「お客様情報」ページにてご指定ください。

## VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内させていただくサービスです。
難しいパソコン用語は不要ですので、これまでに「電話の説明だけではわかりにくい」、「直接画面を見て教えてほしい」と思われた方は、ぜひ一度お試しください。

**！ご注意**

- 本サービスをご利用いただくためには、VAIOカスタマー登録およびインターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、事前にマイサポーターの「VAIOコールバック予約サービス」（240ページ）からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

## 1 「VAIOコールバック予約サービス」で、ご利用になりたい時間を予約する。

詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」（240ページ）をご覧ください。

## 2 指定されたお時間にオペレーターからお客様にお電話をさせていただきます。

## 3 VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある[VAIOリモートサービス]をクリックする。

## 4 ページ内のソフトウェア使用許諾契約書に同意したうえで、専用ソフトウェアをダウンロードする。

## 5 オペレーターが案内する番号の接続ボタンをクリックする。

## 6 オペレーターが案内するパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

## 7 オペレーターがお客様のバイオに接続し、対応を開始します。

## VAIOユーザーの情報交換サイト

### VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

**！ご注意**
投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

## VAIOカスタマーリンク モバイル

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、携帯電話向けのVAIOサポートサイトです。

### ＜主なコンテンツ＞

#### ❑ お知らせ

サポートの最新情報やウイルスの情報および対策手順を掲載しています。
マイクロソフト社が提供するセキュリティ最新情報もご確認いただけます。

#### ❑ Q&A

最近多く寄せられたお問い合わせや新しく作成・更新されたQ&Aなどの一覧を掲載しています。
またQ&Aや用語集の検索もご利用いただけます。

#### ❑ サポート系コンテンツ

- 修理お預かり情報
  VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理に関して、下記のサービスをご提供しています。
  - 修理進捗状況（7段階）の確認
    （受付待ち、故障診断／修理中、見積案内中、修理中、出荷準備中、出荷済み、修理中止）
  - 見積発行時および修理完了時に携帯メールへお知らせ
  - 修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付
  - 返送先の変更

**！ご注意**
見積案内および修理完了案内メールを受信するには、事前に「VAIOカスタマーリンク モバイル」にて、携帯メールアドレスのご登録が必要です。

- VAIO Hot Street モバイル
  バイオをお持ちのお客様による情報交換サイト「VAIO Hot Street」に寄せられた投稿や質問を掲載しています。

### ＜アクセス方法＞

#### ❑ URLからアクセス

下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。
（対応端末：i-mode・EZweb・Yahoo!ケータイ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

#### ❑ QRコードからアクセス

バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、手軽にアクセスできます。

# 電話で問い合わせる

## VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

### お問い合わせ先

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせは
カスタマー専用デスク
**電話番号：(0466)38-1410**
(ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ)
**受付時間：月曜〜金曜日　10時 〜 18時（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）**
http://www.vaio.sony.co.jp/regist

**！ご注意**

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- バイオの使いかたについてのお問い合わせや修理の受付については、「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

## 使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

### 電話でのサポートをご利用の前に

#### ❑ お電話の前にお試しください

「バイオ内の情報を調べる」(232ページ)や「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(233ページ)では、操作方法の調べかたやトラブル解決方法、最新情報の入手方法などをご紹介しております。お電話でのお問い合わせの前に、ぜひお試しください。

#### ❑ 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクにおける電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。
VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)の「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況]をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

**ヒント**

比較的つながりやすい時間帯は下記となります。
平日：12：00 〜 18：00　土曜、日曜、祝日：15：00 〜 17：00
(2007年6月現在)

### ❑ お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① 本機の型名(保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています)

② 本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)

③ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号
(発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。)

④ 本機に接続している**周辺機器名**(メーカー名と型名)

⑤ 表示された**エラーメッセージ**

⑥ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン

⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**

⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか

⑨ その他お気づきの点

### ❑ お電話でのお問い合わせについて

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/regist)をご覧ください。

## お問い合わせ先

使いかたのお問い合わせは
**VAIOカスタマーリンク**
**電話番号:(0466)30-3000**
**受付時間 平日:10:00 〜 21:00　土曜、日曜、祝日:10:00 〜 17:00　(365日年中無休)**
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/technical.html

**!ご注意**
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。

**!ご注意**
- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- 自動音声応答により、担当のオペレーターにおつなぎいたします。
  自動音声に応答できない場合は、そのままお待ちいただきますとオペレーターにつながります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS、ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

- **VAIO**コールバック予約サービス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
  ホームページからお客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
  詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」(240ページ)をご覧ください。
- **VAIO**リモートサービス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
  詳しくは、「VAIOリモートサービス」(242ページ)をご覧ください。

## 付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。
「バイオ電子マニュアル」および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(263ページ)をご覧ください。

## セキュリティに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は
**電話番号:(0466)30-3016**
受付時間:平日　**10:00 ～ 21:00**　土曜、日曜、祝日　**10:00 ～ 17:00**

# メールで問い合わせる

## テクニカルWebサポート

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html
バイオに関する技術的な質問をマイサポーター内の所定フォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです（質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます）。

**ヒント**
このサービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。
カスタマー登録について詳しくは、「カスタマー登録する」（57ページ）をご覧ください。

**1** VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「メールでのお問い合わせ」を選び、「マイサポーターへログインする」ボタンをクリックする。

**2** マイサポーターの「ログイン」ボタンからログインする。

## 3 [メールで相談]を選択し、[新規のお問い合わせ]をクリックする。

**ヒント**

以前のお問い合わせを継続する場合は、[継続のお問い合わせ]を選択します。

## 4 画面の指示に従って操作する。

# 修理を依頼されるときは

## 修理を依頼される前に

修理を依頼される前に「バイオ電子マニュアル」で調べたり（232ページ）、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（233ページ）の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント

- **VAIOカスタマーリンクホームページ「修理関連のご案内」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/
  上記のホームページでは、修理に関するさまざまな情報をご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「故障かな？と思ったら」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part1.html
  故障のような症状でも、VAIO の設定を変更するだけで改善する場合があります。上記のホームページでは、修理を依頼する前の自己診断や解決方法などについてご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/
  製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。
  修理に出される前などにお役立てください。
- **点検サービスも行っております**
  バイオの各機能（キーボード、ハードディスクドライブなど）が正常に動作しているか点検するサービスも行っております（有料）。

## 修理依頼の手順

VAIOカスタマーリンク修理窓口では、お使いのバイオが故障しているかどうかの診断を行います。
修理が必要と診断された場合は、保証期間内かどうかの確認後、引取り修理の受付をいたします。

ヒント

引取り修理とは、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。
（集配および梱包料は、ソニー負担です。）

**！ご注意**

- 修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。
- 保証期間中でも有料になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理対応について
  ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。
- 修理料金のお支払い方法について
  修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。(なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります。)
- 修理用補修部品について
  ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品または代替品を使用することがあります。
  また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。
- 海外でのご使用時の修理対応について
  お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証(無料修理)の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。
  なお、VAIO Overseas Service(海外修理サービス)の用意もございます。
  詳しくは「各種有料サービスのご案内」」(258ページ)をご覧ください。

## 1 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください。

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。
紛失された場合は、VAIOカスタマーリンク ホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part2_s1.html)またはFAX情報サービス(261ページ)より入手してください。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

SONY
VAIOカルテ
このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。
1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合
2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合
修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030
お電話いただく前にお読みください

**ヒント**

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

## 2 VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

**VAIO**カスタマーリンク修理窓口
電話番号：**(0466)30-3030**
受付時間：平日：**10：00 ～ 21：00**　土曜、日曜、祝日：**10：00 ～ 17：00**　（**365**日年中無休）

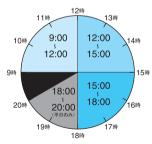
**ヒント**

- 年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。
- 通常、修理受付の場合、平日は17：00まで、土曜、日曜、祝日では15：00までにお電話をいただければ、翌日にお引取りさせていただきます。
  （一部機種・地域を除く。2007年6月現在）

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。電話がつながりましたら、自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/regist)をご覧ください。

## 3 修理が必要と判断させていただいた場合は、引取り修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください(一部機種、一部地域を除く)。

- 9：00 ～ 12：00
- 12：00 ～ 15：00
- 15：00 ～ 18：00
- 18：00 ～ 20：00（平日のみ）

**！ご注意**
上記は2007年6月現在での選択可能な時間帯です。
一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

**ヒント**
受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

## 4 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには次のような方法があります。

- “メモリースティック”にコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。
- 外付けの記憶装置（HDDなど）にコピーする。

それぞれの操作方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」やこの説明書をご覧ください。

**！ご注意**

- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。また、専用のバックアップツールを用意しているソフトウェアの場合は、専用のバックアップツールをご使用ください。
- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW／ CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

## 5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ（本機に付属しています。あらかじめご記入ください。）
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

**ヒント**

梱包材の用意および梱包作業は、ソニー指定の配送業者が行います。修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。

## 6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望された方は、お届けした際に配達業者に修理費用をお支払いください。

**！ご注意**

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行っていただけますようあらかじめご了承ください。

## 「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

VAIOカスタマーリンクホームページおよびVAIOカスタマーリンクモバイル（携帯電話用サポートサイト）では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼された方に、下記のサービスをご提供しております。

**修理／お預かり品状況確認（VAIOカスタマーリンク ホームページ）**
修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。

**修理お預かり情報（VAIOカスタマーリンク モバイル）**
お預かりしている修理品の進捗状況（7段階）ご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、見積発行時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをご提供しています。

**！ご注意**

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。
- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでお客様の携帯メールアドレスご登録が必要です。

### ❏ VAIOカスタマーリンク ホームページで確認する

**1** **VAIOカスタマーリンクホームページの「修理・その他サービス」にアクセスし、「修理関連のご案内」にある[修理／お預かり品状況確認]をクリックする。**

http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/

**2** **ページ下の画面下の[このサービスを利用する]をクリックする。**

**3** **画面に従って操作する。**

❑ VAIOカスタマーリンクモバイルで確認する

**1** 携帯電話でVAIOカスタマーリンクモバイルにアクセスする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

**ヒント**

バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話では、下記のQRコードを読み取ることで、手軽にアクセスできます。

**2** サポート系コンテンツ」から「修理お預かり情報」を選択し、ページ内の“確認のページはこちら”をクリックする。

**3** 画面に従って操作する。

# その他のサービスとサポート

## バイオオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

（2007年2月現在）

### ❑ My VAIO

自分にぴったりのサービス・サポートが見つかります。ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、ログインすると、お客さまの登録製品情報やソニーポイント残高など、バイオでお楽しみいただくための最新情報を確認できます。
各種サービスは、My VAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。

### ❑ My VAIO Pass

VAIOカスタマー登録（57ページ）をしていただくと、「My VAIO Pass」がご利用いただけます。
対象サービスを利用するたびにソニーポイントをためられます。たまったポイントは、別のサービスや、ショッピングに利用できます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/

*　ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

### ❑ My VAIO Passプレミアム

「My VAIO Passプレミアム（有償）」なら、サービス利用ごとに加算されるソニーポイントが「My VAIO Pass」よりもアップ。たまったポイントを使ってさらにおトクにサービスを受けられます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/

*　ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

対象サービスやサービスごとに加算されるソニーポイントなどの詳細については、ホームページをご覧ください。
ソニーポイント：ソニーグループの商品・サービスの購入・利用に使える共通のポイントシステム。獲得したポイントは、ソニーグループの多彩な商品・サービスに利用できます。

## 各種有料サービスのご案内

お客様の「スキル」や「目的」、「状況」に合わせた各種有料サービスメニューを豊富にご用意しました。
必要なときに必要なものを、お客様にご自由に選んでいただけます。
各種サービスは、バイオオーナー向けサイト My VAIOからご覧いただけます(一部サービスを除く)。

**My VAIO**

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

**!ご注意**

2007年6月現在の情報になります。

### ❑ VAIO延長保証サービス

バイオを安心してお使いいただくための3年間保証サービスです。

ベーシック

1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド

ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

**!ご注意**

- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外となります。

#### VAIO延長保証の特徴

- 修理回数無制限 *1
- 故障に関する自己負担金ゼロ *2
- お引取り・お届けの無料サービス
- 修理保証金額はずっと100% *2
- 書類の手続きは不要
- お申込期間が長い

*1 代替品提供の場合を除きます。

*2 代替品提供および偶然な破損事故等は、自己負担金額が生じます。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

### ❑ VAIO Overseas Service(海外修理サービス)

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。
また、その際お電話でのサポートも行います。

**!ご注意**

- 一部の機種はサービス対象外となります。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

### ❑ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。

#### メニュー例

**VAIOはじめてパック【スタンダード】**

VAIOの基本的な設置・設定、プリンターの接続・設定を行い、さらに基本操作を説明します。

**インターネット設定パック**

インターネットの接続・設定（有線・無線）、メール設定を行います。

**VAIOはじめてパック【インターネット設定付き】**

上記の2つがセットになったメニューです。バイオの設置・設定からインターネット、メールの接続・設定、基本操作の説明をします。

**データお引越しパック**

お持ちのPCから新しいバイオへ画像、文書ファイル、住所録などのオリジナルデータを移行します。

**パソコンリカバリーパック**

トラブルによるリカバリーとOSの再インストールを行います。

**OSアップグレード**

新しいOSにアップグレード作業を行います。

**ロケーションフリー設定パック**

ロケーションフリーの設置・設定を行います。

各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。
ホームページ
http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/

デジホームサポートデスク
電話番号：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
電話番号：（03）5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間：10：00 ～ 18：00

### ❑ VAIOインターネットセキュリティ

「Norton Internet Security online」

ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。

「Norton AntiVirus online」

インターネットや電子メールから不正進入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

### ❑ VAIOメール

バイオをお持ちの方に、「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。プロバイダを変更しても、同じメールアドレスをご使用いただけます。ネットワークライフを快適にする豊富な機能（Webメール、データ保管など）も充実しています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

### ❑ VAIOソフトウェアセレクション

VAIOカスタマー登録をいただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

### ❑ セミナー・個人レッスン

セミナー
バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。
個人レッスン
バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

### ❑ 部品の提供について

バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。
購入可能な部品例
キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。
ご注文方法

- ソニーサービスステーション（SS）で、部品をご注文いただく方法（SS窓口でのお受け取りは、部品代のみのお支払いになります。）
- マイサポーター（236ページ）でWebより部品をご注文いただく方法（対象機種のみ）
（部品代＋送料・代引き手数料1,155円（税込）がかかります。）

詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/

**！ご注意**
ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。

### ❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスをご用意しております。1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。（対象機種に限ります。）

#### HDDアップグレードサービス

ハードディスクドライブを大容量のものに交換します。
動画を存分に楽しむためにも活用できます。

#### メモリアップグレードサービス

メモリの増設を行います。メモリーを多く搭載すると動作が安定し処理速度が向上します。

#### キーボード交換サービス

標準キーボードから、かな文字印刷のない、シンプルですっきりとしたデザインの英語配列キーボードに交換します。

各サービスについて詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

### ❑ アップデートCD-ROM送付サービス

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有料で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

### ❑ 訪問修理サービス

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。（対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみとさせていただきます。）
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前に「VAIOカスタマーリンクホームページ内」の訪問修理サービスをご確認ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/

## FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

**FAX情報サービス**

**FAX番号：（0466）30-3040**

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/fax.html

**！ご注意**

一部の機種では提供されません。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

## アフターサービスについて

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

### 修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（251ページ）をご覧ください。

### 部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

# 付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

**ヒント**

本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。
付属のソフトウェアを確認するには、「本機に付属されているソフトウェアを確認する」（270ページ）をご覧になるか、または（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]にポインタをあわせて表示されたメニューをご覧ください。

**！ご注意**

- Windows Vistaは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
  本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
  「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

## OS

❑ Windows Vista(R) Business

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Vista(R) Home Premium

VAIOカスタマーリンク

## AVエンターテインメント

❑ Windows(R) Media Center

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media(R) Player

VAIOカスタマーリンク

## テレビ

❑ VAIO モバイル TV

VAIOカスタマーリンク

## ビデオ再生

❑ WinDVD for VAIO

VAIOカスタマーリンク

## ビデオ編集

❑ VAIO Movie Story

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Content Importer

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Content Exporter

VAIOカスタマーリンク

## DVD作成

❑ Roxio Easy Media Creator

ロキシオ・サポートセンター

電話番号：(03)5441-7460

受付時間：10時～ 12時、13時～ 17時

（土曜、日曜、祝日、年末年始等を除く）

電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。

ホームページ：http://www.roxio.jp/support/

## 音楽

❑ SonicStage CP

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO MusicBox

VAIOカスタマーリンク

## 静止画・写真

❑ Windows(R) フォトギャラリー

VAIOカスタマーリンク

❑ Picasa(TM)

ホームページ：
http://picasa.google.com/support/

## ホームネットワーク

❑ VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

## コミュニケーション

### ❑ VAIO カメラユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

### ❑ VAIO カメラキャプチャーユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

### ❑ Skype

http://www.skype.com/intl/ja/

## インターネット・メール

### ❑ Windows(R) メール

VAIOカスタマーリンク

### ❑ Windows(R) Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

### ❑ Google ツールバー

Google Inc.

ホームページ:
http://www.google.com/support/toolbar/?hl=ja

## セキュリティー

### ❑ Norton Internet Security(TM)

ソニーユーザ様向けサービスページです。
Norton Internet Securityに関するお問い合わせはこちらから！

http://www.symss.jp/jpo-sony-reg/

### ❑ McAfee SiteAdvisor Plus 30日期間限定版

マカフィー株式会社

電話番号:
マカフィー・テクニカルサポートセンター
(SiteAdvisor Plusに関する技術的な問い合わせ)
(0570)060-033(ナビダイヤル)
(03)5428-2279(ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
(SiteAdvisor Plusに関するユーザ登録や登録情報変更などの製品以外に関するお問い合わせ)
(0570)030-088(ナビダイヤル)
(03)5428-1792(ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)

マカフィー・インフォメーションセンター
(SiteAdvisor Plusでのサイト評価に関する問い合わせ)
(0570)010-220(ナビダイヤル)
(03)5428-1899(ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)

受付時間:
マカフィー・テクニカルサポートセンター
9時〜21時(年中無休)

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜〜金曜:9時〜17時(年末年始、祝日を除く)

マカフィー・インフォメーションセンター
月曜〜金曜: 9時〜17時(年末年始、祝日を除く)

電子メール:以下のWebフォームをご利用ください。
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp

マカフィー・インフォメーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp

ホームページ:
SiteAdvisor PlusのFAQ
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/SA/

マカフィー･テクニカルサポートセンターでは
チャットによるサポートもご提供しています。
チャット：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp

## ISP サインアップ

### ❑ So-netのPHS通信サービス「bitWarp」

ソネットエンタテインメント株式会社

So-netインフォメーションデスク

電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS･IP電話から）札幌（011）711-3765
（携帯PHS･IP電話から）仙台（022）256-2221
（携帯PHS･IP電話から）東京（03）3513-6200
（携帯PHS･IP電話から）名古屋（052）819-1300
（携帯PHS･IP電話から）大阪（06）6577-4000
（携帯PHS･IP電話から）広島（082）286-1286
（携帯PHS･IP電話から）福岡（092）624-3910

受付時間：9時～21時（年中無休）

電子メール：info@so-net.ne.jp

ホームページ：
http://www.so-net.ne.jp/support/

### ❑ BIGLOBEで光ブロードバンド

BIGLOBEカスタマーサポート　インフォメーションデスク

電話番号：
（0120）86-0962（通話料無料）

（03）3947-0962（携帯電話、PHS、CATV電話の場合）

受付時間：9時～21時（365日受付）

ホームページ：
https://my.sso.biglobe.ne.jp/support/

### ❑ ホットスポット

ホットスポットインフォメーションデスク

電話番号：（0120）815244

受付時間：月曜～金曜：10時～18時
（年末年始、祝日を除く）

電子メール：hotspot@ntt.com

ホームページ：http://www.hotspot.ne.jp/

## 実用ツール

### ❑ 乗換案内

乗換案内ユーザーサポート

電話番号：（03）5369-4055

受付時間：
月曜～金曜：10時～17時
（年末年始、祝日を除く）

ファックス番号：（03）5369-4064

電子メール：norikae@jorudan.co.jp

ホームページ：http://norikae.jorudan.co.jp

### ❑ プロアトラスSV3 for VAIO

株式会社アルプス社　カスタマーサポート

電話番号：（052）789-1510

受付時間：10時～12時、13時～17時
（土曜、日曜、祝日、休業日を除く）

ファックス番号：（052）789-1570（24時間受付）

電子メール（質問フォーム）：
https://secure.proatlas.net/cgi-bin/support/contact.cgi

ホームページ：
http://www.alpsmap.co.jp/support/index.html

### ❑ Adobe(R) Reader(R)

Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/

### ❑ ebi.BookReader

株式会社イーブック イニシアティブ ジャパン

電子メール：support@ebookjapan.co.jp

ホームページ：
http://www.ebookjapan.jp/shop/support/index.asp
回転モード時にこのソフトウェアを起動すると、正しく起動できない場合があります。
通常モードにしてから起動するようにしてください。

### ❑ ACCUSYNC for VAIO

メガソフト株式会社
ACCUSYNCサポートセンター

ファックス番号:(06)6386-9983

電子メール:accusync@megasoft.co.jp

ホームページ:http://www.megasoft.co.jp/

**!ご注意**

このソフトウェアを使用するには、インストールを行う必要があります。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[ACCUSYNC for VAIOのインストーラ]－[ACCUSYNC for VAIO インストールの手順]をクリックして表示された手順に従ってインストールを行ってください。

### ❑ NextText

VAIOカスタマーリンク

### ❑ PenPlus for VAIO

有限会社プラスソフト

ファックス番号:(048)290-6141

電子メール:penplus@plussoft.co.jp

ホームページ:http://www.plussoft.co.jp/

## ゲーム・学習

### ❑ 脳力トレーナー

株式会社インターチャネル・ホロン
お客様サポートセンター

電話番号:
(0570)070-030(ナビダイヤル)
(045)326-0474(PHS・IP電話)

受付時間:月曜～金曜、10時～17時30分
(土曜、日曜、祝日および株式会社インターチャネル・ホロンお客様サポートセンター休業日を除く)

電子メール:
u-support@icholon.co.jp

ホームページ:
http://www.icholon.co.jp/

## FeliCa(フェリカ)

### ❑ かざそうFeliCa

VAIOカスタマーリンク

### ❑ Edy Viewer

Edy救急ダイヤル

電話番号:
(0570)081-999(ナビダイヤル)
(03)6420-5699

受付時間:
平日:9時30分～19時
土曜、日曜、祝日:10時～18時
(1/1～1/3と毎年2月第1日曜日を除く)

ホームページ:http://www.edy.jp/

### ❑ SFCard Viewer

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号:東京:(03)5412-3980／
大阪:(06)6886-7160

受付時間:月曜～金曜:10時～19時、
土曜、日曜、祝日:10時～17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

**!ご注意**

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ:http://support.justsystem.co.jp/

### ❑ スクリーンセーバーロック2

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：東京：(03)5412-3980／
大阪：(06)6886-7160

受付時間：月曜～金曜：10時～19時、
土曜、日曜、祝日：10時～17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

**！ご注意**
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

### ❑ かんたん登録2

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：東京：(03)5412-3980／
大阪：(06)6886-7160

受付時間：月曜～金曜：10時～19時、
土曜、日曜、祝日：10時～17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

**！ご注意**
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

### ❑ かざしてログオン

VAIOカスタマーリンク

### ❑ かざポン for VAIO

VAIOカスタマーリンク

### ❑ パーソナルシェルター

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：東京：(03)5412-3980／
大阪：(06)6886-7160

受付時間：月曜～金曜：10時～19時、
土曜、日曜、祝日：10時～17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

**！ご注意**
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

### ❑ NFRMPCViewer

NFRM公式Webサイト
http://sony.nfrm.jp/

### ❑ FeliCaブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：東京：(03)5412-3980／
大阪：(06)6886-7160

受付時間：月曜～金曜：10時～19時、
土曜、日曜、祝日：10時～17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

**！ご注意**
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

## 設定・ユーティリティ

### ❑ バイオの設定
VAIOカスタマーリンク

### ❑ VAIO タッチランチャー
VAIOカスタマーリンク

### ❑ VAIO Video Download Manager
VAIOカスタマーリンク

### ❑ Smart Network
VAIOカスタマーリンク

### ❑「ホットスポット」自動ログインツール
ホットスポットインフォメーションデスク

電話番号：(0120)815244

受付時間：月曜〜金曜：10時〜18時
(年末年始、祝日を除く)

電子メール：hotspot@ntt.com

ホームページ：http://www.hotspot.ne.jp/

### ❑ ホットスポット自動セットアップ
ホットスポットインフォメーションデスク

電話番号：(0120)815244

受付時間：月曜〜金曜：10時〜18時
(年末年始、祝日を除く)

電子メール：hotspot@ntt.com

ホームページ：http://www.hotspot.ne.jp/

## サポート・ヘルプ

### ❑ VAIO ハードウェア診断ツール
VAIOカスタマーリンク

### ❑ VAIO Update
VAIOカスタマーリンク

### ❑ VAIO リカバリセンター
VAIOカスタマーリンク

### ❑ VAIO データリストアツール
VAIOカスタマーリンク

### ❑ VAIO データレスキューツール
VAIOカスタマーリンク

### ❑ VAIO データ消去ツール
VAIOカスタマーリンク

### ❑ VAIO ハードディスク プロテクション
VAIOカスタマーリンク

## その他

### ❑ VAIOオンラインカスタマー登録
ソニーマーケティング株式会社
カスタマー専用デスク

電話番号：(0466)38-1410
ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ

受付時間：月曜〜金曜：10時〜18時
(土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)

# 本機に付属されているソフトウェアを確認する

ご使用いただいている機種によって、付属されているソフトウェアが異なります。
次の表をご覧いただき、ご使用いただいている機種に付属されているソフトウェアをご確認ください。

## 表の見かた

○：ご使用の機種に付属されています。
□：ご使用の機種にインストーラーが付属されておりますので、ソフトウェアをお使いいただくときに個別にインストールしてください。
ー：ご使用の機種には付属されておりません。

| | VGN-UX92S | VGN-UX92NS | VGN-UX72 |
|---|---|---|---|
| **OS** | | | |
| Windows Vista(R) Business | – | ○ | – |
| Windows Vista(R) Home Premium | ○ | – | ○ |
| **AVエンターテインメント** | | | |
| Windows(R) Media Center | ○ | – | ○ |
| Windows Media(R) Player 11 | ○ | ○ | ○ |
| **テレビ** | | | |
| VAIO モバイルTV | ○／ー* | ○／ー* | ○ |
| **ビデオ再生** | | | |
| WinDVD for VAIO | ○ | ○ | ○ |
| **ビデオ編集** | | | |
| VAIO Movie Story | ○ | ○ | ○ |
| VAIO Content Importer | ○ | ○ | ○ |
| VAIO Content Exporter | ○ | ○ | ○ |
| **DVD作成** | | | |
| Roxio Easy Media Creator | ○ | ○ | ○ |
| **音楽** | | | |
| SonicStage CP | ○ | ○ | ○ |
| VAIO MusicBox | ○ | ○ | ○ |
| **静止画・写真** | | | |
| Windows(R) フォトギャラリー | ○ | ○ | ○ |
| Picasa(TM) | ○ | ○ | ○ |
| **ホームネットワーク** | | | |
| VAIO Media | ○ | ○ | ○ |
| VAIO Media Integrated Server | ○ | ○ | ○ |
| **コミュニケーション** | | | |
| VAIO カメラユーティリティ | ○ | ○ | ○ |
| VAIO カメラキャプチャーユーティリティ | ○ | ○ | ○ |
| Skype | ○ | ○ | ○ |
| **インターネット・メール** | | | |
| Windows(R) メール | ○ | ○ | ○ |
| Windows(R) Internet Explorer 7 | ○ | ○ | ○ |
| Google ツールバー | ○ | ○ | ○ |

| | VGN-UX92S | VGN-UX92NS | VGN-UX72 |
|---|---|---|---|
| **セキュリティー** | | | |
| Norton Internet Security(TM) 2007 | ○ | ○ | ○ |
| McAfee SiteAdvisor Plus 30日期間限定版 | ○ | ○ | ○ |
| **ISP サインアップ** | | | |
| So-netのPHS通信サービス「bitWarp」 | ○ | ○ | ○ |
| BIGLOBEで光ブロードバンド Ver3.01 | ○ | ○ | ○ |
| ホットスポット | ○ | ○ | ○ |
| **実用ツール** | | | |
| 乗換案内VER.5 | ○ | ○ | ○ |
| プロアトラスSV3 for VAIO | ○ | ○ | ○ |
| Adobe(R) Reader(R) 8.1 | ○ | ○ | ○ |
| ebi.BookReader Version3.0J | ○ | ○ | ○ |
| ACCUSYNC for VAIO | □ | □ | □ |
| NextText | ○ | ○ | ○ |
| PenPlus for VAIO | ○ | ○ | ○ |
| **ゲーム・学習** | | | |
| 脳力トレーナー | ○ | ○ | ○ |
| **FeliCa (フェリカ)** | | | |
| かざそうFeliCa | ○ | ○ | ○ |
| Edy Viewer V2.1 | ○ | ○ | ○ |
| SFCard Viewer | ○ | ○ | ○ |
| スクリーンセーバーロック2 | ○ | ○ | ○ |
| かんたん登録2 | ○ | ○ | ○ |
| かざしてログオン | ○ | ○ | ○ |
| かざポン for VAIO | ○ | ○ | ○ |
| パーソナルシェルター | ○ | ○ | ○ |
| NFRMPCViewer | ○ | ○ | ○ |
| FeliCa ブラウザエクステンション | □ | □ | □ |
| **設定・ユーティリティ** | | | |
| バイオの設定 | ○ | ○ | ○ |
| VAIO タッチランチャー | ○ | ○ | ○ |
| VAIO Video Download Manager | ○ | ○ | ○ |
| Smart Network | ○ | ○ | ○ |
| 「ホットスポット」自動ログインツール | ○ | ○ | ○ |
| ホットスポット自動セットアップ | ○ | ○ | ○ |
| **サポート・ヘルプ** | | | |
| VAIO ハードウェア診断ツール | ○ | ○ | ○ |
| VAIO Update Ver.3.0 | ○ | ○ | ○ |
| VAIO リカバリセンター | ○ | ○ | ○ |
| VAIO データリストアツール | ○ | ○ | ○ |
| VAIO データレスキューツール | ○ | ○ | ○ |
| VAIO データ消去ツール | ○ | ○ | ○ |
| VAIO ハードディスク プロテクション | ○/−* | ○/−* | ○ |
| **その他** | | | |
| VAIOオンラインカスタマー登録 | ○ | ○ | ○ |

* ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

## ソフトウェア使用許諾契約について

**！ご注意**

この度は弊社パーソナルコンピュータ製品（以下本製品とします）をお買い上げいただきありがとうございます。本製品にはソフトウェア製品が同梱又はプリインストールされていますが、当該ソフトウェアをご使用いただく前に、必ず各々のソフトウェア使用許諾契約書をあらかじめお読み下さい。ソフトウェア製品の中には、①各製品の権利者が定めるソフトウェア使用許諾契約書を伴うものと、②そのような個別のソフトウェア使用許諾契約を伴わないものがあります。個別のソフトウェア使用許諾契約書を伴わない各々のソフトウェア（以下許諾ソフトウェアとし、コンピュータソフトウェア、媒体、マニュアルなどの関連書類及び電子文書を含みます）に関しては、下記のソフトウェア使用許諾契約書をお読み下さい。お客様による許諾ソフトウェアの使用開始をもって、下記のソフトウェア使用許諾契約書にご同意いただいたものとします。なお、許諾ソフトウェア以外のソフトウェアのご使用は、各ソフトウェアの権利者の定める使用許諾条件に従っていただくものとします。

### ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（以下お客様とします）とソニー株式会社（以下ソニーとします）との間での許諾ソフトウェアの使用権の許諾に関する条件を定めるものです。

#### 第1条（総則）

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利及びこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法令によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーからお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権はお客様に移転いたしません。

#### 第2条（使用権）

1. ソニーは、許諾ソフトウェアの非独占的な使用権をお客様に許諾します。

2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、許諾ソフトウェアが同梱又はプリインストールされる本製品においてのみ、お客様が許諾ソフトウェア1部を使用する権利をいいます。

3. お客様は、許諾ソフトウェアの全部又は一部を複製、複写したり、これに対する修正、追加等の改変をすることができません。本製品に同梱されているシステムリカバリメディア又はアプリケーションリカバリメディア（以下併せてリカバリメディアとします）は、本製品に同梱されお客様がインストールした、又は本製品にプリインストールされていた許諾ソフトウェアが何らかの理由で使用不能となった場合に、本製品から当該許諾ソフトウェアを削除の上、許諾ソフトウェアを本製品に再インストールするためにのみ使用することができるものとします。

#### 第3条（権利の制限）

1. お客様は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。

2. 各許諾ソフトウェアはそれぞれ1つの製品として、本製品における使用を条件に許諾されています。お客様は別途ソニーが付属ドキュメント等で定める場合を除き許諾ソフトウェアの一部又はその構成部分を許諾ソフトウェアから分離して使用しないものとします。

3. 許諾ソフトウェアを用いて、ソニー又は第三者の著作権等の権利を侵害する行為を行ってはならないものとします。

4. お客様は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

5. お客様は、本契約に基づいて、本製品と一体としてのみお客様の許諾ソフトウェアに関する権利の全てを譲渡することができます。但しその場合、お客様は許諾ソフトウェアの複製物を保有することはできず、許諾ソフトウェアの一切（全ての構成部分、媒体、マニュアルなどの関連書類、電子文書、リカバリメディア及び本契約書を含みます）を譲渡し、かつ譲受人が本契約の条項に同意することを条件とします。

6. 許諾ソフトウェアの使用に伴い、許諾ソフトウェアが自動的に許諾ソフトウェアで用いるためのデータファイルを作成する場合があります。この場合、当該データファイルは許諾ソフトウェアと看做されるものとします。

### 第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、ソニー又はソニーが本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利をソニーに認めた原権利者（以下原権利者とします）に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

### 第5条（責任の範囲）

1. ソニー及び原権利者は、許諾ソフトウェアにエラー、バグ等の不具合がないこと、若しくは許諾ソフトウェアが中断なく稼動すること又は許諾ソフトウェアの使用がお客様及び第三者に損害を与えないことを保証しません。但し、ソニー及び原権利者は、当該エラー、バグ等の不具合に対応するため、許諾ソフトウェアの一部を書き換えるソフトウェア若しくはバージョンアップの提供による許諾ソフトウェアの修補、許諾ソフトウェアの郵送による交換又は許諾ソフトウェア中の他社製ソフトウェアについての問い合わせ先の通知を行うことがあります。本項に定めるソフトウェア及びバージョンアップの提供方法はソニーまたは原権利者がその裁量により定めるものとします。また、ソニー及び原権利者は、許諾ソフトウェアが第三者の知的財産権を侵害していないことを保証いたしません。

2. 許諾ソフトウェアの稼動が依存する、許諾ソフトウェア以外の製品、ソフトウェア又はネットワークサービス（当該製品、ソフトウェア又はサービスは第三者が提供する場合に限られず、ソニー又は原権利者が提供する場合も含みます）は、当該ソフトウェア又はネットワークサービスの提供者の判断で中止又は中断する場合があります。ソニー及び原権利者は、許諾ソフトウェアの稼動が依存するこれらの製品、ソフトウェア又はネットワークサービスが中断なく正常に作動すること及び将来に亘って正常に稼動することを保証いたしません。

3. 許諾ソフトウェアにはソニー又はソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際に許諾ソフトウェアが自動的にアップデートされる機能を有するものがあります。お客様が、この自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、又は、アップデートをするか否かを問い合わせる設定にした場合で且つお客様がアップデートの実行を拒否した場合、お客様による許諾ソフトウェアの使用に関してソニーは何等の責任を負わないものとします。

4. お客様に対するソニー及び原権利者の損害賠償責任は、当該損害がソニー又は原権利者の故意又は重過失による場合を除きいかなる場合にも、お客様に直接且つ現実に生じた通常の損害に限定され且つお客様が証明する本製品の購入代金を上限とします。

## 第6条（著作権保護及び自動アップデート）

1. お客様は、許諾ソフトウェアの使用に際し、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利及びこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法令に従うものとします。又、許諾ソフトウェアのうち、著作物の複製、保存及び復元等を伴う機能の使用に際して、ソニーが必要と判断した場合、ソニーが、当該著作物の著作権保護のため、かかる許諾ソフトウェアによる複製、保存、復元等の頻度の記録をとり、状態を監視し、さらに複製、保存及び復元の拒否、本契約の解約を含む、あらゆる措置をとる権利を留保することに同意するものとします。

2. お客様は、お客様がソニー又はソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際、(A)許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜自動的にアップデートされること、(B)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更又は削除されることがあること、及び(C)アップデートされた許諾ソフトウェアについても本ソフトウェア使用許諾契約書の各条項が適用されることに同意するものとします。

## 第7条（契約の解約）

1. ソニーは、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約することができるものとします。

2. 前項の規定により本契約が終了した場合、お客様は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、ソニーに対して返還するものとします。お客様が許諾ソフトウェアを廃棄した場合、直ちにその旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

3. 本条1項の規定により本契約が終了した場合といえども、第4条、第5条、第7条第2項及び第3項並びに第8条第1項及び第3項乃至第5項の規定は有効に存続するものとします。

## 第8条（その他）

1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。

2. お客様は、許諾ソフトウェアを日本国外に持ち出して使用する場合、適用ある輸出管理規制、法律、命令に従うものとします。

3. 本契約は、消費者契約法を含む消費者保護法規によるお客様の権利を不利益に変更するものではありません。

4. 本契約の一部条項が法令によって無効となった場合でも、当該条項は法令で有効と認められる範囲で依然として有効に存続するものとします。

5. 本契約に定めなき事項又は本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様及びソニーは誠意をもって協議し、解決するものとします。

# 注意事項

# 使用上のご注意

**本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。**

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。

「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。

まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

## 本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- キーボードの上に物を置いたり落としたりしないでください。また、キートップを故意にはずさないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 液晶ディスプレイ保護のため、持ち運ぶときは本機を付属の保護ポーチに入れてください。
  - 保護ポーチは防水加工されていません。水に濡れた場合はすぐに拭き取ってください。
  - 保護ポーチに対してベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 本機を手に持って操作するときは、必ず付属のストラップを取り付けてください。取り付けたストラップを手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。また、取り付けた付属のストラップは、首にかけないでください。
- 取り付けた付属のストラップ部分を持って、本機を移動させないでください。衝撃を加えたり、落としたりすると本機の故障の原因となります。
- CF（コンパクトフラッシュ）スロットの中に異物を入れないようにしてください。コンパクトフラッシュを取り出したあとは、スロットを保護するために必ずCF（コンパクトフラッシュ）スロットにCF（コンパクトフラッシュ）用プロテクタを挿入してください。

## 有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品を指します。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

## 液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です。)また、見る角度によってすじ状の色むらや下辺に明るさのむらが見える場合や、液晶画面にある特定の画像を表示した際にまれにちらつきが発生する場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに重い物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- タッチパネルを操作する場合は、必ず付属のスタイラスを使用してください。ボールペンなどを使用すると、本機の画面が傷つくおそれがあります。

### 「Tablet PC 設定」について

ご使用の機種によっては、「Tablet PC 設定」画面で画面の向きを変更できるものがありますが、この機能を使って画面の向きを変更しないでください。

本機のシステムが不安定になることがあります。

この操作を行った場合の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

## 結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。

本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。

そのままご使用になると故障の原因となります。

結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。

管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。

全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

## ハードディスクの取り扱いについて (ハードディスクドライブ搭載モデル)

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- ハードディスクドライブを取りはずさないでください。

## バックアップについて

本機は非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、本機に保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

データのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。

データの損失については、一切責任を負いかねます。

## CDやDVDなどのディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面（再生面）に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

## “メモリースティック デュオ”についてのご注意

- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 次の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリースティック デュオ アクセスランプが点灯中に“メモリースティック デュオ”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。

- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、"メモリースティック デュオ"を付属の収納ケースに入れてください。

### "メモリースティック デュオ"使用上のご注意

- "メモリースティック デュオ"のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力をかけないようご注意ください。
- "メモリースティック デュオ"の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。

### "メモリースティック マイクロ"使用上のご注意

- "メモリースティック マイクロ"を本機でお使いの場合は、必ず"メモリースティック マイクロ"をメモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターに入れてから本機に挿入してください。
メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターに装着されていない状態で挿入すると、"メモリースティック マイクロ"が取り出せなくなる可能性があります。
- "メモリースティック マイクロ"、メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

## フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。
フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

## メモリーカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器（デジタルスチルカメラやオーディオ機器など）で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめメモリーカードをフォーマット（初期化）してからご使用ください。

お使いの機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリーカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でメモリーカードをフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。

詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

## 内蔵カメラ（MOTION EYE）についてのご注意

- カメラのレンズ前面のプレートに触らないでください。
- プレートが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
- i S400（i.LINK）コネクタにi.LINK対応機器をつなぎ、動画や静止画を撮影するときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）から撮影することはできません。

## ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

## バッテリについてのご注意

### バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

### はじめてバッテリをお使いになるときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。

### バッテリの充電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。

使用前には、再度、充電することをおすすめします。

また、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。

このため、充分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

この場合には、新しいバッテリをお買い求めください。

### バッテリの交換について

バッテリは消耗品です。バッテリ駆動時間が短くなってきた場合には、弊社指定の新しいバッテリと交換をしてください。バッテリの交換に関しご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

### 省電力動作モードでお使いのときは

スリープモード時にバッテリが消耗すると、自動的に休止状態に移行します。

休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

### バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

長時間席をはずされるときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

## ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Vista用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

## ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

## CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機での再生は保証できません。

## DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

ただし、音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）の規格には準拠していないため、本機での再生は保証できません。

## 録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は録画できません。また、表示もできない場合があります。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

## アンテナの取り扱いについて（ワンセグチューナー搭載モデル）

- 本機をカバンやキャリングケースなどの中に入れる場合は、アンテナを元に戻してから入れてください。
- アンテナに無理に力を加えたり、故意に取りはずしたりしないでください。
- 本機のアンテナは、損傷防止のため、過度な力が加わると、本体からはずれるようになっています。アンテナがはずれた場合は、アンテナの回転部を本体に差し込んでください。
- アンテナの先端部分で目などを突かないようご注意ください。
- 雷が鳴り出したら、アンテナを本体に戻してください。
- ワンセグ視聴後、アンテナを元に戻すときはツメが引っかかるように戻してください。

## 個人情報の取り扱いなど（ワンセグチューナー搭載モデル）

- 「VAIO モバイル TV」ソフトウェアは、チャンネルリストやデータ放送の情報やテレビリンクの情報などを記録します。
- データ放送による通信サービスを利用される際に、データ放送の画面上でお客様が放送事業者の要求に基づき入力する個人情報やデータ放送のポイントなど、当該通信サービスに関連する情報が本機に記録され、放送事業者に通知されることがあります。
- 上記に従い、本機に記録される個人情報を含む各種情報は、お客様により削除することが可能です。
  削除の方法については、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアのヘルプ（「設定を変更する」－「その他」）をご覧ください。

本機に保存された録画データ、チャンネルリスト、データ放送の情報、テレビリンクの情報などは保証の対象外です。

# お手入れ

## 本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプタとバッテリを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

## レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ(MOTION EYE)のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。

汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

## 液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

## CDやDVDなどのディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

# 廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要**となります。

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータを完全に消去する（167ページ）
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOカスタマーリンク ホームページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.html
  をご覧ください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを破壊する
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

# 主な仕様

**VGN-UX92S・UX92NSをご購入のお客様へ**
お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

| シリーズ | | | type U |
|---|---|---|---|
| モデル | | | VGN-UX72 |
| OS | | | Windows Vista® Home Premium 正規版 |
| プロセッサー[*1 *2] | テクノロジー | | インテル® Centrino®プロセッサー・テクノロジー |
| | 名称 | | インテル® Core™ 2 Solo プロセッサー U2100（拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載） |
| チップセット | | | インテル® 945GMS Express チップセット |
| メインメモリー | 標準/最大 | | 1 GB（オンボード）/1 GB（ビデオメモリー共有） |
| | メモリーバス | | DDR2 SDRAM、DDR2 400対応（400 MHz動作） |
| 表示機能 | グラフィックアクセラレーター | | インテル® グラフィックス・メディア・アクセラレーター 950（チップセットに内蔵） |
| | 液晶表示装置 | | 4.5型ワイドTFTカラー液晶［クリアブラックLE液晶］<br>解像度：WSVGA 1024×600ドット |
| テレビ機能 | デジタルチューナー | | ワンセグチューナー×1 |
| 記憶装置 | ハードディスクドライブ[*3] | ドライブ | 約40 GB |
| | | ハードディスク保護機能 | VAIO ハードディスク プロテクション |
| | DVD/CDドライブ | ドライブ | 別売VGP-DDRW4 |
| ワイヤレス通信[*4] | ワイヤレスLAN[*5] | | 内蔵（IEEE 802.11a/b/g準拠[*6 *7 *8 *9]、WPA2対応、Wi-Fi適合） |
| | Bluetooth | | 内蔵（Bluetooth 2.0+EDR準拠）[*10] |
| メモリースティックスロット[*11] | | | メモリースティック Duo 専用<br>（メモリースティック PRO Duo対応、高速データ転送対応、マジックゲート対応）×1 |
| PCカードスロット | | | コンパクトフラッシュ（Type II）×1 |
| 指紋センサー | | | 搭載 |
| カメラ | | | Webカメラ《MOTION EYE》×2（有効画素数31万画素×1、有効画素数131万画素×1） |
| 電源[*12] | | | リチウムイオンバッテリーまたはACアダプター（AC100～240 V、50/60 Hz）<br>（付属電源コードはAC100 V用） |
| 消費電力 | 通常時 | | 約7 W[*13] |
| | スリープ時 | | 約1.7 W |
| 温湿度条件 | | | 動作時：5～35 ℃、20～80 %（ただし結露しないこと） |
| 外形寸法（突起物含まず） | | | 約 幅150.2 mm×高さ32.2～38.2 mm×奥行95 mm（最大突起部100.5 mm） |
| 質量 | | | 約532 g（バッテリーパック装着時） |

## 付属ポートリプリケーターの主な仕様（type U）

| FeliCaポート（非接触ICカードリーダー/ライター） | | 搭載 |
|---|---|---|
| 外部接続端子 | USB | Hi-Speed USB（USB 2.0）×3 |
| | i.LINK（IEEE 1394） | 4ピン（S400）×1 |
| | ネットワーク（LAN） | 100BASE-TX/10BASE-T×1 |
| | 外部ディスプレイ出力 | ミニD-sub15ピン×1 |
| | AV入出力[*14] | 出力×1 |
| | DC IN（電源供給） | 1 |
| 外形寸法 | | 約 幅150.2 mm × 高さ71.9 mm×奥行114.7 mm |
| 質量 | | 約280 g |

## ワンセグチューナーの主な仕様

| ワンセグチューナー | • ワンセグ受信機能（データ放送も含む）<br>• ワンセグ録画・再生機能（著作権保護機能）<br>• HDD録画容量[*15]：約184.4 MB/1 時間[*16] |
|---|---|

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
注釈1～16については次ページをご覧ください。

*1 プロセッサーの処理能力は、使用状況により変化します。

*2 VAIOは、インテル® バーチャライゼーション・テクノロジーには対応していません。

*3 1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1 GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。ファイルシステムはNTFSです。

*4 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波状況により通信が切断される場合があります。通信速度の規格値は、無線規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*5 IEEE 802.11gは、IEEE 802.11bとの混在環境では相互に干渉の恐れがあり、通信速度が低下する場合があります。

*6 通信速度は、IEEE 802.11b：規格値11 Mbps、IEEE 802.11a/g：規格値54 Mbps。

*7 IEEE 802.11b/gについては、1～13チャンネルに対応しています。

*8 IEEE 802.11aについては、J52/W52/W53に対応（JEITAによる改正 IEEE 802.11a規格ガイドラインに基づく周波数表示）。

*9 IEEE 802.11a（5 GHz）ワイヤレスLAN機器の屋外使用は法令により禁止されています。

*10 通信速度は、Bluetooth 2.0+EDR:規格値2.1 Mbps。

*11 機器により使用できるメモリースティックの容量に制限があります。
使用する機器の取扱説明書、あるいはソニードライブの「メモリースティック対応表（www.sony.co.jp/mstaiou）」をご確認ください。

*12 その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。

*13 OSを起動させた省エネ法に基づくアイドル状態での測定値です（2007年9月より）。周辺機器の接続なし、ACアダプター接続、バッテリー充電含まず。

*14 ビデオ出力を行うには、AVケーブルVMC-20FR（別売）などをご利用ください。

*15 HDD録画容量は、録画1時間あたりのHDD使用量のめやすです。

*16 放送のビットレートが416 kbpsの場合。

# 索引

## 【ハ行】



## 【マ行】



## 【ヤ行】



## 【ラ行】



## 【ワ行】



## 【A】



## 【B】

## 商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"マジックゲート メモリースティック"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。

  i.LINKとi.LINKロゴ" "はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- 「テレビ王国」はソネットエンタテインメント株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAI の登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号 はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- CompactFlash(TM)およびコンパクトフラッシュ(TM)は、米国SanDisk社の商標です。

- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Mutlichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc. Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では（TM）、（R）マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

# ソニーが提供する情報一覧

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

## 困ったときは

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

バイオをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。

## VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とバイオの各種サービスをご覧いただけます。

## バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

## 電話でのお問い合わせ

### 使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
**(0466) 30-3000**

**受付時間**
平日：10時～21時
土、日、祝日：10時～17時

本機の型名をご確認ください。(保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています。)
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発およびサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報お取り扱いについては、My VAIOの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer2) をご覧ください。

### カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
**(0466) 38-1410**
ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ

**受付時間**
平日：10時～18時
(年末年始は除く)

## 有料サービス

My VAIO (http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/) では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

### ■ VAIO延長保証サービス

1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

### ■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート (初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など) を行うサービスです。

### ■ VAIO Overseas Service (海外修理サポートサービス)

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料で現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

### ■ VAIOインターネットセキュリティ

インターネットライフをより安心・快適に。あなたのVAIOをウイルス対策やファイアウォール機能などで守ります。

### ■ VAIOソフトウェアセレクション

おすすめのアプリケーションから楽しいゲームまで、ここだけでしか手にはいらない限定品が手に入るソフトウェアダウンロードショップ。

※詳細は、My VAIOメニューの各種サービスからご確認いただけます。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0466）30-3000

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/



3-274-835-**01** (1)